

取扱説明書

はじめの準備



電源の準備



電源を入れる/切る



ペダルを使う

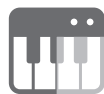


ヘッドホンを使う

鍵盤で演奏する



音色を選ぶ

2つの音色を重ねる
(レイヤー)鍵盤を左右に分けて使う
(スプリット)

メトロノームを使う

音に効果をかける

サウンドモード
(ホールシミュレーター/
リバーブとサラウンド)
を使う

コーラスをかける

アコースティックピアノ
の音の特徴を調整する
(アコースティック
シミュレーター)

音の高さを調節する

半音単位で変える
(トランスポーズ)

演奏を録音する

MIDIレコーダーで
演奏を録音するオーディオレコーダーで
演奏を録音する

演奏を音で確認する

演奏をすぐに聴き返す
(インスタント
リプレイヤー)

スマートデバイスと接続する



専用アプリを使う

目次

本機の概要	6
各部の名称とはたらき	6
弾くまでの準備	8
電源の準備	8
鍵盤カバーについて	9
鍵盤カバーを開ける	9
鍵盤カバーを閉める	10
電源を入れる/切る	11
電源を入れる	11
電源を切る	12
音量を調節する	12
付属のワイヤレスMIDI & AUDIOアダプターを使う	13
ヘッドホンを使う	14
譜面立てを使う	15
最初に必ずお読みください(基本操作や設定方法)	16
本書での表記の仕方	16
タッチボタンの操作	17
タッチボタン単独の操作	18
タッチボタンと鍵盤の組み合わせ操作	18
通知音	21
通知音のタイプ	21
各種設定中のビジュアルインフォメーションバー表示	22
デモ演奏を聴く	24
デモ演奏を再生する	24
デモ演奏中にできる操作	24
デモ演奏を終了する	25
演奏する	26
音色を選ぶ	26
音色を1つ選ぶ	28
2つの音色を重ねる(レイヤー)	29
鍵盤を左右に分けて使う(スプリット)	31
鍵盤を左右に分けて2人で弾く(デュエット)	32
デュエットとは	32
デュエット機能を使う	33
音域を変える	34
ペダルを使う	35
メトロノームを使う	36
メトロノームのオン/オフ	36
拍子を設定する	36
テンポを設定する	37
音量を調節する	38

音に効果をかける	39
サウンドモード(ホールシミュレーター/リバーブとサラウンド)を使う	39
ホールシミュレーター/リバーブとサラウンドのオン/オフを切り替える	39
ホールシミュレーター/リバーブのタイプを選ぶ	40
ホールシミュレーター/リバーブのかかり方を調節する	41
サラウンドのタイプを選ぶ	41
コーラスをかける	42
ブリリアンスを調節する	42
アコースティックピアノの音の特徴を調整する(アコースティックシミュレーター)	43
ストリングレゾナンスを設定する	43
ダンパーレゾナンスを設定する	44
ダンパーノイズを設定する	45
キーオンアクションノイズを設定する	46
キーオフアクションノイズを設定する	47
鍵盤のタッチを調節する	48
鍵盤を押す強弱で音量を変える(タッチレスポンス)	48
タッチレスポンスの感度を変える	48
押鍵から音が鳴るまでのタイミングを調節する(ハンマーレスポンス)	49
ハンマーレスポンスを調節する	49
離鍵中の消音タイミングを調節する(キーオフレスポンス)	50
キーオフレスポンスを調節する	50
音の高さを調節する	51
半音単位で変える(トランスポーズ)	51
トランスポーズする	51
微調整する(A音のチューニング)	52
チューニングする	52
オクターブ単位で変える(オクターブシフト)	53
アップパー1パートをオクターブシフトする	53
アップパー2パートをオクターブシフトする	53
鍵盤の音律を変える(スケールチューニング)	54
音律(スケールチューニング)を変える	54
音律(スケールチューニング)の基音を設定する	55
ストレッチチューニングのオン/オフ	55
曲を聴く	56
再生できるデータの種類	56
MIDIデータを再生する	56
MIDIレコーダーに切り替える	57
ミュージックライブラリーの曲を選んで再生する	57
MIDIレコーダー曲を選んで再生する	58
USBメモリー曲を選んで再生する	58
テンポを変える	59
再生パートを選ぶ	60

オーディオデータ (WAV、MP3) を再生する	61
再生できるデータ	61
オーディオレコーダーに切り替える	61
曲を選んで再生する	62
演奏を録音する	63
MIDIレコーダーとオーディオレコーダーの特長	63
録音の特長	63
再生の特長	65
MIDIレコーダーで演奏を録音する	66
MIDIレコーダーで記録される主な内容	66
MIDIレコーダー使用前の準備	67
録音する	67
各トラックの録音内容を消去する	70
オーディオレコーダーで演奏を録音する	71
オーディオレコーダー使用前の準備	71
オーディオレコーダー曲 (WAV) をUSBメモリーに直接録音する	71
MIDIレコーダーに録音したデータを再生しながらオーディオレコーダーに録音する	72
録音したファイルを削除する	74
演奏をすぐに聴き返す (インスタントリプレイヤー)	75
インスタントリプレイヤーについて	75
インスタントリプレイヤーの特長	75
インスタントリプレイヤー機能を使う準備	75
簡単な使い方	76
マークを利用して聴き返す	77
マークとは	77
演奏する	77
演奏時に好きなタイミングでマークを付ける	77
マークからリプレイする	77
戻す秒数を指定して聴き返す	79
USBメモリーを使う	80
市販のUSBメモリーを使って本機でできること	80
USBメモリーの準備	80
使用可能なUSBメモリー	80
本機で扱えるデータの種類	81
USBメモリーを本機に装着する/取り外す	83
USBメモリーをフォーマットする	84
USBメモリーの各種操作	86
MIDIレコーダー曲をUSBメモリーに保存する	86
USBメモリーのファイルを本機に読み込む	87
USBメモリーのファイルを消去する	88
MIDIの曲データをパソコンでUSBメモリーにコピーする	89
オーディオデータ (WAV、MP3) をパソコンでUSBメモリーにコピーする	89

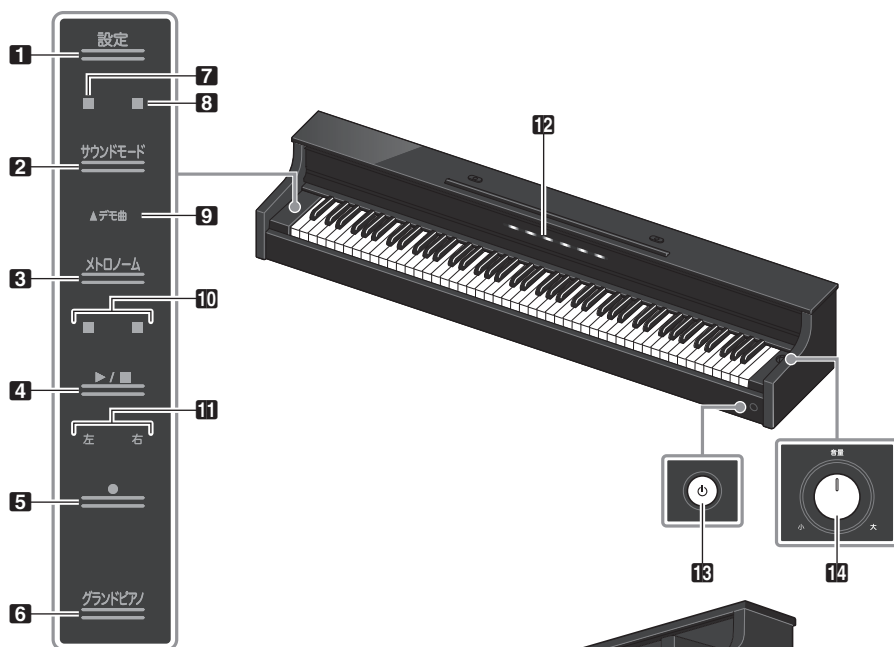
ワイヤレス接続する	90
本機と外部機器をワイヤレスで接続する	90
ワイヤレス (Bluetooth) 接続の設定	90
ワイヤレス機能のオン/オフ	90
ワイヤレス接続時・切断時の通知音の音量を調節する	91
Bluetooth Low Energy MIDI接続	92
Bluetoothオーディオ接続	93
Bluetoothオーディオペアリング	93
ペアリング登録の消去	94
ワイヤレスオーディオ再生音量を調節する	95
専用アプリを使う	96
スマートデバイス用アプリ (CASIO MUSIC SPACE) をダウンロードする	96
外部機器とケーブル接続して使う	98
パソコンやスマートデバイスと接続してMIDIを使う	98
パソコンの動作環境	98
パソコンとの接続方法	99
スマートデバイスの動作環境	100
スマートデバイスとUSB MIDI接続する	100
本機の音をアンプやオーディオ機器に出力する	101
オーディオ機器と接続する	101
楽器用アンプと接続する	101
設定を変更する	102
アップパー1パートの設定を変える	102
アップパー1パートの音量を調節する	102
アップパー2パートの設定を変える	103
アップパー2パートの音量を調節する	103
アップパー2パートのチューニングを微調整する (アップパー2 デチューン)	103
アップパー2パートのダンパーペダルの効果のオン/オフ	104
ロワーパートの設定を変える	105
ロワーパートの音量を調節する	105
ロワーパートのチューニングを微調整する (ロワー デチューン)	105
ロワーパートのダンパーペダルの効果のオン/オフ	106
楽器の設定を保存する (オートレジューム)	106
工場出荷時の状態に戻す (ファクトリーリセット)	107
音量のバランスを調節する	108
鍵盤音の音量	108
MIDI曲の音量	108
オーディオ曲の再生音量	109
ワイヤレスオーディオ再生音量	109
センターキャンセル機能	110

MIDI設定を変える	111
ローカルコントロール	111
送信チャンネル	111
ハイレゾベロシティのMIDI出力	112
ビジュアルインフォメーションバーの表示を設定する	113
表示設定を変更する	113
明るさの設定と消灯	115
本体設定	116
電源切り忘れお知らせ機能	116
オートパワーオフ機能	116
タッチボタンの明るさ	117
左パネルタッチボタンの感度	117
操作のロック	118
パネル消灯設定の切り替え	118
通知音の音量	119
通知音セットの切り替え	119
ボリュームシンクイコライザー	120
スピーカーアウト	120
ヘッドホンモード	121
困ったときは	122
エラー表示一覧	124
各種情報	128
製品仕様	128
最新のサポート情報	130
本書の内容について	130
商標、登録商標について	130
ご使用上の注意	131
各種リスト	133
音色リスト	133
デモ曲リスト	134
ミュージックライブラリーリスト	134
鍵盤機能一覧	136
MIDIインプリメンテーション・チャート	143

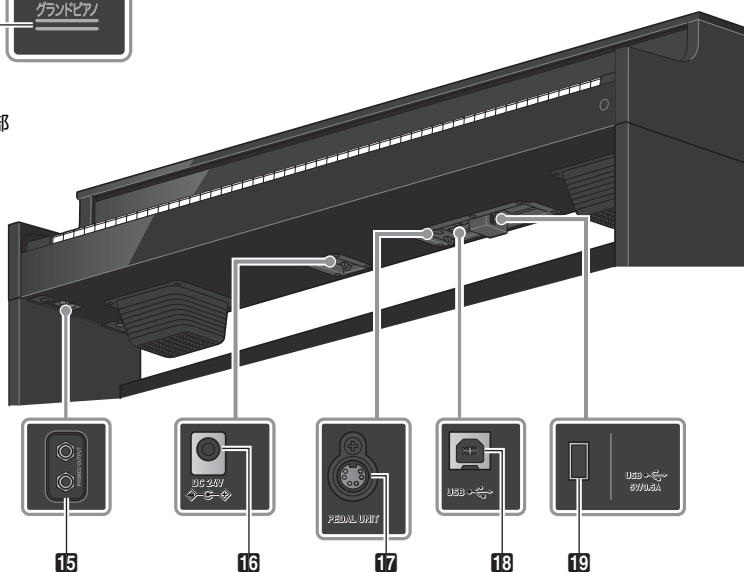
本機の概要

各部の名称とはたらき

タッチボタン



底面部



1 設定ボタン

基本設定などをするときに使います。

2 サウンドモードボタン

[サウンドモード]などの設定を変えるときに使います。

3 メトロノームボタン

メトロノームをオン/オフするときに使います。

4 スタート/ストップ ▶/■ ボタン

曲を再生・停止するときに使います。

5 ● (録音) ボタン

演奏を録音するときに使います。

6 グランドピアノボタン

<グランドピアノ 1 コンサート>の音色にします。

7 ホールシミュレーター /リバーブインジケーター

[ホールシミュレーター/リバーブ]が<オン>のとき点灯します。

8 サラウンドインジケーター

[サラウンド]が<オン>のとき点灯します。

9 デモ曲インジケーター

デモ曲の再生中のとき点灯します。

10 ビートインジケーター

曲再生時などの拍子に合わせて、1拍目に左側、残りの拍は右側が点滅します。

11 トラックインジケーター

録音/再生時に左手パート・トラックが指定されると「左」、右手パート・トラックが指定されると「右」が点灯します。

12 ビジュアルインフォメーションバー

光でさまざまな情報をお知らせします。

13 〽 (電源) ボタン

主電源のオン/オフをします。ボタンの外周はBluetooth®接続状態を光の色でお知らせします。

14 音量つまみ

本機の音量を調整します。

15 ホンズ / アウトプット PHONES/OUTPUT端子

16 電源端子 (DC 24V)

17 ペダルユニット PEDAL UNIT端子

18 ユーエスピータイプB USB Type B端子

19 ユーエスピータイプA USB Type A端子

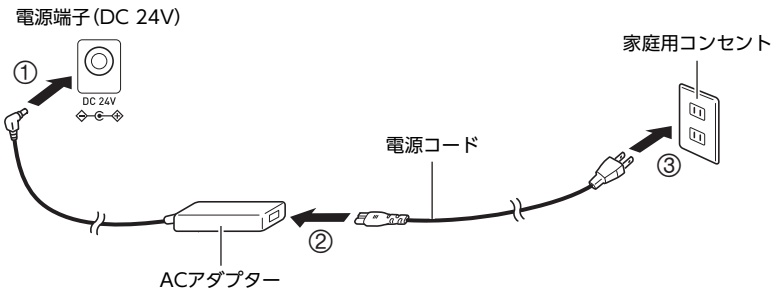
弾くまでの準備

電源の準備

本機付属のACアダプター（JEITA規格・極性統一形プラグ付き）を使用してください。他のACアダプターを使用すると発煙や故障の原因になることがあります。

本機付属のACアダプターの型式: AD-E24250LW

付属の電源コードを使って、①～③の順番で接続してください。



本ACアダプターは、修理することができません。

本ACアダプターの使用環境: 温度0～40℃、湿度10%～90%RH

出力形式:

重要

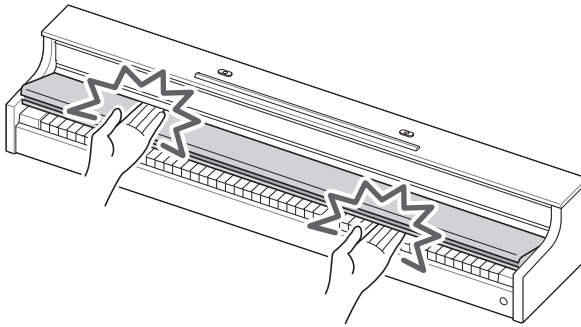
- 本機付属のACアダプターおよび電源コードは、他の機器には絶対に接続しないでください。故障の原因となります。
- ACアダプター本体を抜き差しするときは、必ず電源を切ってから行ってください。
- ACアダプターは長時間使用すると、若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- 本機を長い間使用しないときには、ACアダプターをコンセントから外してください。

鍵盤カバーについて

演奏するときには、必ず本機の鍵盤カバーを完全に開けるようにしてください。

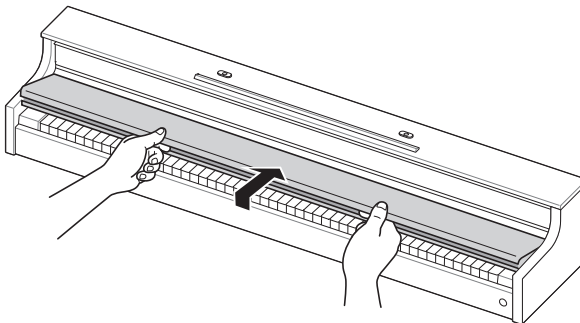
❗ 重要

- 鍵盤カバーを開け閉めする際、ご自身や周囲の方(特にお子様)が鍵盤カバーに手や指をはさまないようにご注意ください。
- 開け閉めの途中で鍵盤カバーから手や指を離さないでください。
- 閉めるときに鍵盤カバーの上から手で押さないでください(鍵盤カバーのすき間に手がはさまることがあります)。
- 鍵盤カバーの上に物を置かないでください。鍵盤カバーを開ける際に物が製品内部に入り込んでしまうおそれがあります。
- 鍵盤カバーを不完全に開けたままで演奏しないでください。



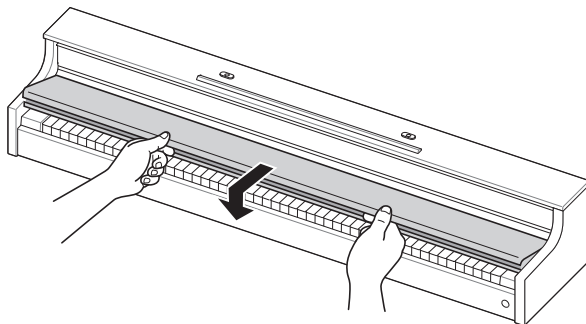
鍵盤カバーを開ける

鍵盤カバーのくぼみに両手をかけて、少し持ち上げて奥に押し込みます。



鍵盤カバーを閉める

鍵盤カバーのくぼみに両手をかけて、完全に閉まるまでゆっくりと手前に引きます。



電源を入れる/切る

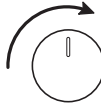
電源を入れる

1. 「 (電源)」ボタンを押して、本機の電源を入れます。



- 電源が入ると、本機の起動中は各タッチボタンが点滅します。すべてのタッチボタンが点灯したら、本機が使用できる状態になります。
- 「 (電源)」ボタンを軽く押しても電源が入らないことがありますが、故障ではありません。そのときは、「 (電源)」ボタンをしっかりと押し直してください。
- 電源オン/オフ時にポップノイズ(プツッ音)が出る場合がありますが故障ではありません。
- 本機は、ワイヤレスMIDI & AUDIOアダプターを装着せずに電源を入ると、「 (電源)」ボタンの外周が青く点滅してワイヤレスMIDI & AUDIOアダプターが装着されていないことをお知らせします。

2. 電源が入ったら、音量つまみを使って音量を調節します。



■オートパワーオフ機能について

何も操作せずに約4時間が経過すると、無駄な電力消費を防ぐため自動的に電源が切れます。コンサートなどで演奏の合間に電源が切れないようにするには、[オートパワーオフ機能] を<オフ>にして使用します。

詳しくは、「[オートパワーオフ機能](#)」をご参照ください。

■電源切り忘れお知らせ機能について

何も操作せずに約6時間が経過すると、タッチボタンやビジュアルインフォメーションバーの表示が自動で切り替わりながら、電源が入ったままになっていることをお知らせします。ボタンにタッチしたり鍵盤を押したりするなど、何らかの操作をすると、通常の状態(すべてのボタンが点灯)に復帰します。[電源切り忘れお知らせ機能] が働くか、働かないかを切り替えることができます。

詳しくは、「[電源切り忘れお知らせ機能](#)」をご参照ください。

電源を切る

「**⏻ (電源)**」ボタンを約2秒間押し続けます。



参考

- ・「**⏻ (電源)**」ボタンで電源を切った後も、微電流が流れているスタンバイ状態になっています。本機を長時間使用しないとき、あるいは落雷のおそれがあるときは、必ずACアダプターをコンセントから外してください。

■電源を切っても設定状態を保存する(オートレジューム)

本機の電源を切ると、音色番号などの各種設定が初期化されます。[オートレジューム]を<オン>にしておくと、電源を切ってもほとんどの設定が保持されます。

詳しくは、「[楽器の設定を保存する\(オートレジューム\)](#)」をご参照ください。

音量を調節する

本機全体の音量は、音量つまみで調節します。



■音量の大小に応じて自動的に音質を補正する(ボリュームシンクイコライザー)

本機のスピーカーから出力される音量の大小に応じて、自動的に音質を補正します。小さい音量でも低音や高音がしっかりと聞こえるようになります。

詳しくは、「[ボリュームシンクイコライザー](#)」をご参照ください。

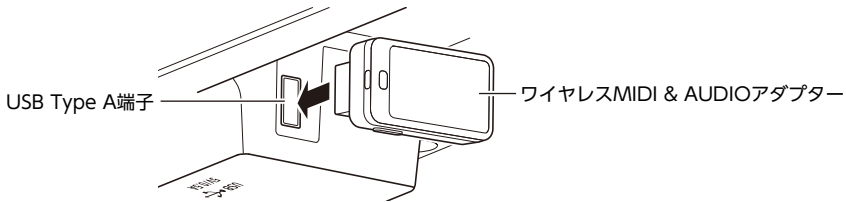
■本機のスピーカーからの音を消す(スピーカーアウト)

[スピーカーアウト]の設定を<オフ>にすると、スピーカーから音が出ません。

詳しくは、「[スピーカーアウト](#)」をご参照ください。

付属のワイヤレスMIDI & AUDIOアダプターを使う

本機とBluetooth®無線技術に対応した外部機器を接続して使うには、ワイヤレスMIDI & AUDIOアダプターをUSB Type A端子に装着してください。



■Bluetoothオーディオ対応機器と接続する

本機とスマートデバイスをBluetoothオーディオ接続することで、スマートデバイスの再生音を本機で鳴らすことができます。

詳しくは、「[Bluetoothオーディオ接続](#)」をご参照ください。

■Bluetooth Low Energy MIDI対応機器と接続する

本機とスマートデバイスをBluetooth Low Energy MIDI接続※することで、専用アプリを使ったさまざまな操作が可能になります。

※ カシオの専用アプリ以外での使用は、動作保証外となります。

詳しくは、「[Bluetooth Low Energy MIDI接続](#)」をご参照ください。

■専用アプリ (CASIO MUSIC SPACE) を使う

スマートデバイスを本機と接続して、カシオの専用アプリを使います。

詳しくは、「[専用アプリを使う](#)」をご参照ください。

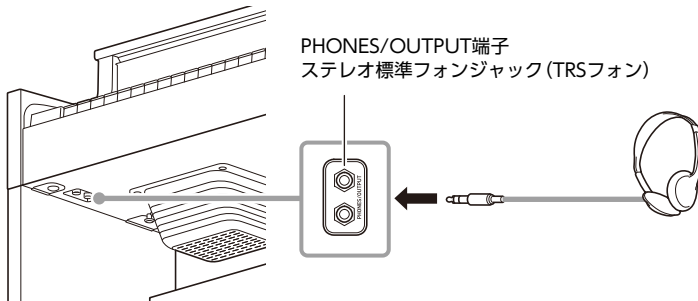


重要

- ワイヤレスMIDI & AUDIOアダプターを取り外すときは、本機の電源を切ってください。

ヘッドホンを使う

ヘッドホンを使用すると夜間でも周囲に気兼ねなく演奏が楽しめます。本機の音量を絞ってから、ヘッドホンを接続してください。



❗ 重要

- 大きな音量で長時間ヘッドホンを使用しないでください。聴覚障害になる恐れがあります。
- ヘッドホンのプラグの形状が端子に合わない場合は、市販の変換プラグをご使用ください。
- ヘッドホンのコードを本機から抜くときは、変換プラグだけを本機に残さないようにご注意ください。プラグが残っていると演奏をしても、音が出ない場合があります。
- 以下の条件に適合するヘッドホン(市販品)をご使用ください。

最大入力: 150mW以上

インピーダンス: 32Ω以上

■ヘッドホンモードについて

ヘッドホンを使用しているときに、アコースティックピアノを弾いているとき耳に届くような自然な音の広がり方を再現します。

詳しくは、「[ヘッドホンモード](#)」をご参照ください。

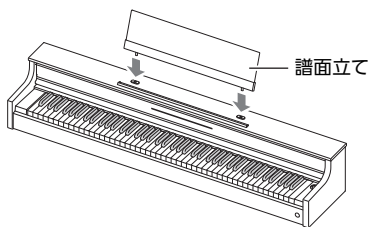
■ヘッドホン接続中にスピーカーから音を出す

[スピーカーアウト]の設定を<オン>にすると、PHONES/OUTPUT端子にプラグが差し込まれていてもスピーカーから音が出るようになります。

詳しくは、「[スピーカーアウト](#)」をご参照ください。

譜面立てを使う

本体の上面にある2つの穴に、譜面立ての脚を差し込みます。



最初に必ずお読みください(基本操作や設定方法)

本書での表記の仕方

■機能名とその設定選択肢の表記について

この取扱説明書では、本機に搭載しているさまざまな機能の設定方法の説明をしていますが、説明文中に出て来る機能名と、その機能の設定選択肢の部分を判別しやすいように、機能名を[], その機能の設定選択肢を< >でくくって表記しています。

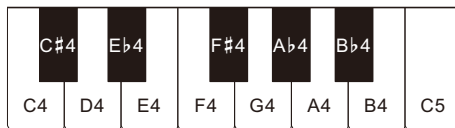
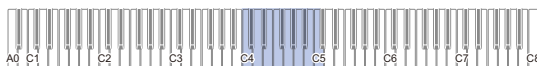
例:

[リプレイヤー/レコーダー]の設定を<インスタントリプレイヤー>に切り替えます。

- リプレイヤー/レコーダー:機能名
- インスタントリプレイヤー:リプレイヤー/レコーダー機能の選択肢の1つ

■鍵盤の音名と音高の表記について

鍵盤の音名と音高を国際式(中央ド=「C4」)で表記しており、一番低いドの鍵盤を「C1」、一番高いドの鍵盤を「C8」と呼びます。

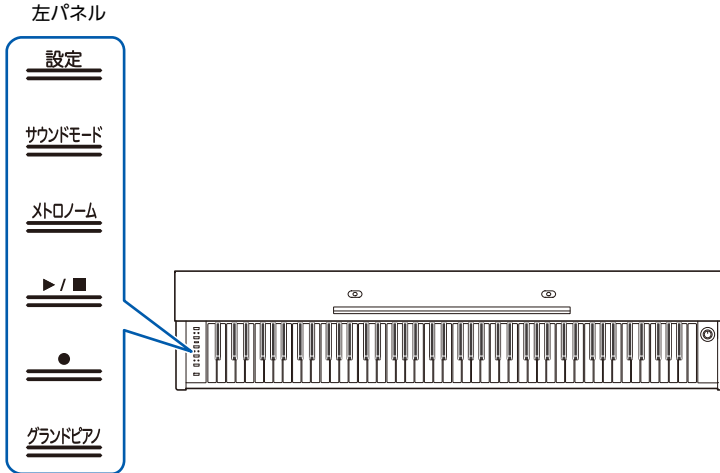


タッチボタンの操作

本機の電源を入れると、左パネルにあるタッチボタンが点灯します。何も操作せずに15秒経過すると左パネルが消灯します。消灯したときは、左パネルに触れるとタッチボタンが点灯します。

左パネルの消灯までの秒数を変えたり、消灯しないように設定できます。

詳しくは、「[パネル消灯設定の切り替え](#)」をご参照ください。



❗ 重要

- タッチボタンを操作するときは、素手の指でしっかりタッチしてください。手袋をした指には反応しません。
- タッチボタンは、そのときに有効なボタンだけが点灯します。

■タッチボタンが反応しないときは

1. 本機の電源を切ります。
2. C8鍵盤(右端の鍵盤)を押しながら、「⏻(電源)」ボタンを押します。
 - C8鍵盤は、本機の電源が入り、タッチボタンが点滅し始めるまで離さないでください。「⏻(電源)」ボタンは離して構いません。
 - タッチボタンの感度が高めに設定されます。

タッチボタン単独の操作

ボタンにタッチする(指先でしっかりタッチしてすぐに離す)と、そのボタンの機能が実行されます。

ボタン	機能
サウンドモード	[ホールシミュレーター/リバーブ]と[サラウンド]の<オン>と<オフ>が切り替わります。
メトロノーム	メトロノームが鳴り始めます(または停止します)。
▶/■	曲や録音内容の再生/停止ができます。
●(録音)	演奏を録音するときに使います。
グランドピアノ	<グランドピアノ 1 コンサート>音色が選ばれます。

- ・「設定」ボタンは、鍵盤や「サウンドモード」ボタンと組み合わせて操作するため、「設定」ボタンだけタッチしても機能は実行されません。

タッチボタンと鍵盤の組み合わせ操作

タッチボタン(「●(録音)」ボタンを除く)と鍵盤を同時に使うことで、さまざまな設定を変えることができます。

- ・押さえるタッチボタンにより、設定する項目は異なります。
- ・設定する項目によって、鍵盤操作のタイプが異なります。
- ・設定値に合わせてビジュアルインフォメーションバーが点滅します。
- ・操作タイプには以下の5種類があります。

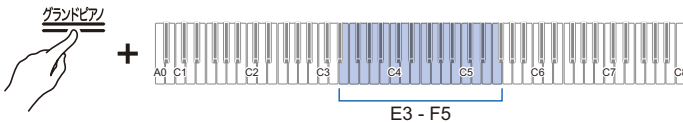
■設定値を直接選ぶ(操作タイプA)

- ・鍵盤に割り当てられた設定値を選びます。

例:音色を選ぶ

「グランドピアノ」ボタンを押さえたまま、E3～F5鍵盤(音色選択)のいずれか1つを押します。

- ・各鍵盤で選べる音色は、「[音色リスト](#)」をご参照ください。



- ・ビジュアルインフォメーションバーは、選んだ値の目安の位置が点滅します。



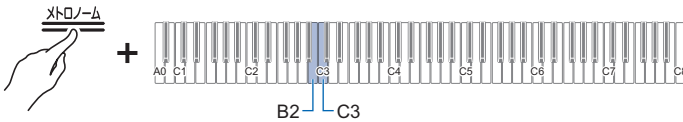
■+/-鍵盤で、設定値を1ずつ上下させる(操作タイプB)

- 鍵盤を押し続けると、設定値が連続して変化します。
- 2つの鍵盤を一緒に押すと、最初の設定(初期値)に戻ります。

例:テンポを設定する

「メトロノーム」ボタンを押さえたまま、B2鍵盤(テンポ-)/C3鍵盤(テンポ+)を押します。

- テンポの設定値を1ずつ上げ下げします。



- ビジュアルインフォメーションバーは、選んだ値の目次の位置が点滅します。(左端:最小値、右端:最大値)



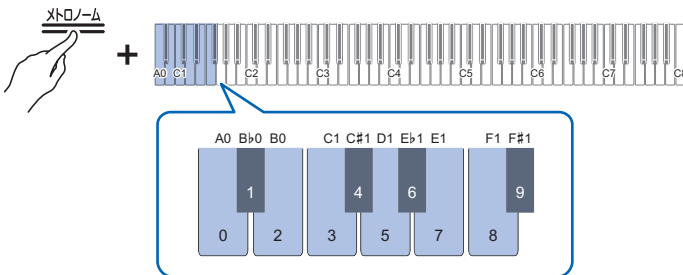
■0~9鍵盤で設定値を入力する(操作タイプC)

- 設定値が「2」ならば「2」、「20」ならば「2」→「0」と入力します。

例:テンポを数値で設定する

「メトロノーム」ボタンを押さえたまま、A0~F#1鍵盤(テンポ数値設定)を押します。

- テンポを20~255(拍/分)の範囲で設定します。



- ビジュアルインフォメーションバーは、選んだ値の目次の位置が点滅します。(左端:最小値、右端:最大値)

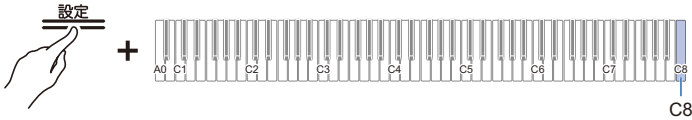


■1つの鍵盤でオン/オフの切り替えや、設定値を変更する(操作タイプD)

- 鍵盤を押すたびに設定が切り替わります。
- 鍵盤を押すと、設定値に応じて音が鳴ります。

例: ボタン操作をロックする

「設定」ボタンを押さえたまま、C8鍵盤(操作のロック)を押します。



- ビジュアルインフォメーションバーは、選んだ値の位置が点滅します。(左: オフ、中: オン、右: オート)

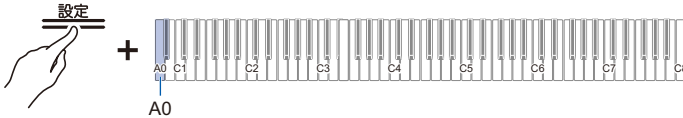


- 詳しくは、「[操作のロック](#)」をご参照ください。

■待機状態にしてから、次の押鍵で実行する(操作タイプE)

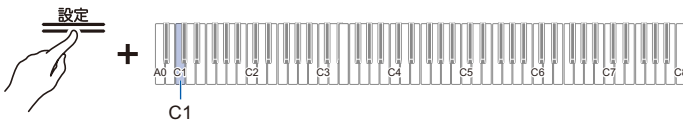
例: ファクトリーリセットを実行する

1. 「設定」ボタンを押さえたまま、A0鍵盤(ファクトリーリセット)を押して、待機状態になります。



- 処理を実行する場合は、タッチボタンは離さず、手順2の操作をしてください。
- 待機状態でタッチボタンを離すと、実行されません(操作はキャンセルされます)。

2. 「設定」ボタンを押さえたまま、C1鍵盤(実行)を押すと、処理が実行されます。



- 手順2の操作をしたら、タッチボタンを離します。
- 処理に時間がかかる場合があります。その場合は、完了するまでお待ちください。

参考

- タッチボタンと鍵盤を組み合わせて操作すると、操作結果を知らせる通知音が鳴り、ビジュアルインフォメーションバーが表示されます。
- 詳しくは、「[通知音](#)」、「[各種設定中のビジュアルインフォメーションバー表示](#)」をご参照ください。

通知音

タッチボタンと鍵盤を組み合わせて操作すると、操作結果を知らせる通知音が鍵盤を押したときに鳴ります。

通知音のタイプ

通知音タイプ	通知する内容
受付音	鍵盤操作を受け付けたときに鳴る音です。オン/オフの間で切り替わる設定項目では、設定がオンになったときに鳴ります。
無効音	誤った鍵盤を押したときに鳴る音です。この音が鳴ったときの鍵盤操作は無効です。
上限下限音	設定値の上限または下限を超えたときに鳴る音です。この音が鳴ったときの鍵盤操作は無効です。
初期値音	設定が初期値に戻ったときに鳴る音です。+ 鍵盤と - 鍵盤を同時に押したときなどに鳴ります。
番号通知音	1つの鍵盤を続けて押して異なる設定値に切り替えるときに、現在の設定値を通知音が鳴る回数で示します。
オフ音	設定がオフに切り替わったときに鳴る音です。
区切り音	+ 鍵盤や - 鍵盤を使って設定値を増減させているときに、区切りのよい数字になると鳴る音です。整数のみの設定値では、10の倍数になったときに通知音が鳴ります。小数値がある設定値 (440.2 など) のとき、設定値が整数 (440 や 441 など) になると通知音が鳴ります。
完了音	複数の鍵盤を押して設定する場合、最後の鍵盤を押したときに、設定が完了したことを知らせる通知音です。例えば、テンポの設定値 (3桁) の入力では、3桁目の鍵盤を押したときに通知音が鳴ります。

■通知音の設定を変える

3種類の異なる通知音セットから1つを選んだり、通知音の音量を調節することができます。

詳しくは、「[通知音セットの切り替え](#)」、「[通知音の音量](#)」をご参照ください。

各種設定中のビジュアルインフォメーションバー表示

タッチボタンを押さえたまま、1つの鍵盤を続けて押して異なる設定値に切り替えるとき、現在の設定値に合わせてビジュアルインフォメーションバーが点滅します。設定値を示す点滅は、左端から右に移動します。

設定値	表示パターン
2項目	
3項目	
4項目	
5項目	
6項目	
7項目以上	左端(最小値)と右端(最大値)が点灯して、設定値の目安の位置が点滅します。初期値が選ばれたときは、高速点滅します。 

■点灯例(設定値が2項目ある場合)

設定値例		ビジュアルインフォメーションバー表示
オフ		
オン		

■点灯例(設定値が3項目ある場合)

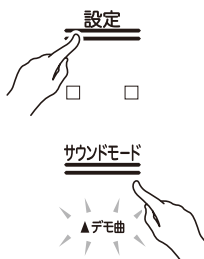
設定値例	ビジュアルインフォメーションバー表示
値1 	
値2 	
値3 	

デモ演奏を聴く

デモ演奏を再生する

「設定」ボタンを押さえたまま、「サウンドモード」ボタンを押します。

- デモ曲(4曲)の再生が開始されます。曲目は、「[デモ曲リスト](#)」をご参照ください。
- デモ曲が終了すると、5曲目以降はミュージックライブラリーの曲が連続再生されます。曲目は、「[ミュージックライブラリーリスト](#)」をご参照ください。



参考

- [オートパワーオフ機能]が<オン>のときは、デモ演奏中でも一定時間で電源が切れます。

デモ演奏中にできる操作

デモ演奏中に曲や[サウンドモード]を変えることができます。

■前/後の曲にスキップ

「▶/■」ボタンを押さえたまま、B2鍵盤(曲選択-)/C3鍵盤(曲選択+)を押します。

[+/-](#)鍵盤で、設定値を1ずつ上下させる(操作タイプB)

■特定の曲にスキップ

「▶/■」ボタンを押さえたまま、A0～C1鍵盤(デモ曲)またはC#3～C8鍵盤(ミュージックライブラリー内蔵曲)のいずれか1つを押します。

[設定値を直接選ぶ\(操作タイプA\)](#)

■サウンドモードの設定を変える

[ホールシミュレーター/リバーブ]と[サラウンド]の<オン>/<オフ>を切り替えることができます。

[サウンドモード\(ホールシミュレーター/リバーブとサラウンド\)を使う](#)

デモ演奏を終了する

「▶/■」ボタンにタッチします。

- 消灯していたボタンが点灯に戻ります。



■ピアノコレクション音色の特徴

さまざまなバリエーションのピアノ音色をピアノコレクション音色と呼びます。それぞれ下記のような特徴があります。

音色名	特徴
コンサートエチュードグランド	煌びやかで華やかな響きの中で、明快さを持った音です。コンサートで演奏される様な聴き映えのある音楽を演奏するのに適しています。
エチュードグランド	安定した粒立ちで聴き取りやすい音質と、しっかりした強弱表現を兼ね備えた音です。普段の練習に最適なピアノ音色です。
ソナタグランド	柔らかな弱打から力強い強打まで、しなやかな強弱変化を持った音です。ピアノソナタの様な劇的な音楽を演奏するのに適しています。
パルティータグランド	粒立ちがよく、適度な響きの中で軽快なタッチ表現を持った音です。バロック時代の鍵盤楽器用音楽の様な作品を演奏するのに適しています。
リトルピースアップライト	素朴で懐かしさと暖かみを感じるアップライトピアノの音です。子どもの頃を思い出させる様な小品を演奏するのに適しています。

参考

- コン서트エチュードグランド、エチュードグランド、ソナタグランド、パルティータグランド、リトルピースアップライトの5音色は、ピアノ曲の様式・ジャンルごとのニュアンスや特性を分析して作り出された、特別な音色です。

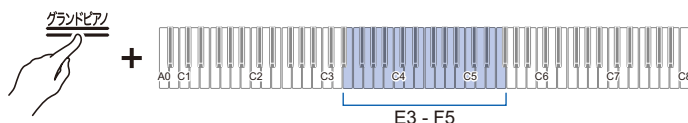
音色を1つ選ぶ

■鍵盤を使って音色を選ぶ

「グランドピアノ」ボタンを押さえたまま、E3～F5鍵盤のいずれか1つを押します。

設定値を直接選ぶ (操作タイプA)

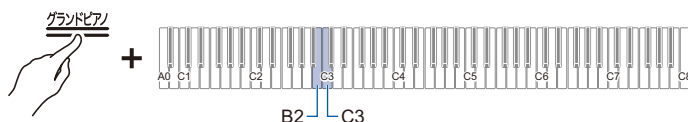
- 各鍵盤で選べる音色は、「[音色リスト](#)」をご参照ください。



音色リストの順番で音色を選ぶ

「グランドピアノ」ボタンを押さえたまま、B2またはC3鍵盤を押します。

+/- 鍵盤で、設定値を1ずつ上下させる (操作タイプB)



鍵盤	設定
B2	前の音色に切り替える (-)
C3	次の音色に切り替える (+)

■タッチボタンで音色を選ぶ

「グランドピアノ」ボタンにタッチします。

- グランドピアノ 1 コンサートの音色が選ばれます。

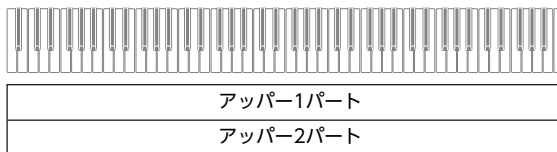


参考

- 「[レイヤー]」が<オン>のときに、この操作で音色を選べると、「[レイヤー]」は<オフ>になります。

2つの音色を重ねる(レイヤー)

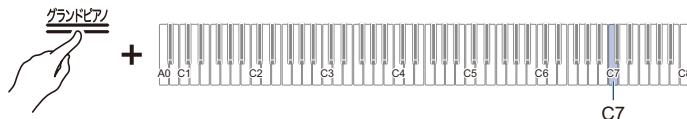
鍵盤演奏時に2つの音色を同時に鳴らすことができます。音色を重ねることから、この使い方をレイヤーと呼びます。先に選んだ音色をアップパー 1 パートの音色、次に選んだ音色をアップパー 2 パートの音色と呼びます。[レイヤー]を<オン>にすると、アップパー 1 とアップパー 2 両方のパートの音が同時に鳴ります。



■レイヤーをオン/オフにする

「グランドピアノ」ボタンを押さえたまま、C7鍵盤(レイヤー)を押します。

1つの鍵盤でオン/オフの切り替えや、設定値を変更する(操作タイプD)



- 初期値: オフ

設定値	設定内容
オフ	レイヤーをオフにします。
オン	レイヤーをオンにします。

参考

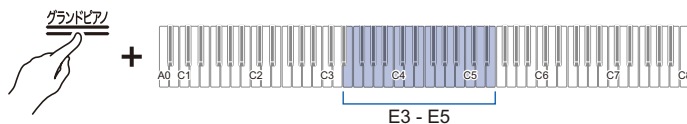
- 「グランドピアノ」ボタンにタッチして[レイヤー]を<オフ>にすることもできます。

■アップパー2パート音色を選ぶ

[レイヤー]が<オン>のときに、アップパー2パート音色を選ぶことができます。

1. [レイヤー]を<オン>にする。
2. 「グランドピアノ」ボタンを押さえたまま、E3～E5鍵盤のいずれか1つを押して、アップパー2パートの音色を選びます。

設定値を直接選ぶ(操作タイプA)



参考

- アップパー1パートの音色は、[レイヤー]が<オフ>のときに選ぶことができます。

■アップパー1パートの設定を変える

アップパー1パートの音量調節やオクターブシフトができます。

詳しくは、「[アップパー1パートの設定を変える](#)」、「[アップパー1パートをオクターブシフトする](#)」をご参照ください。

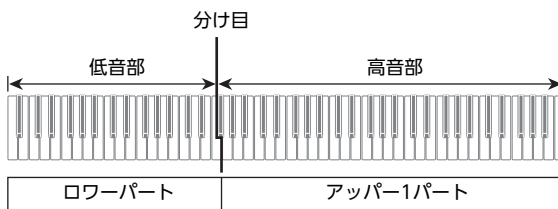
■アップパー2パートの設定を変える

アップパー2パートの音量調節やオクターブシフトができます。

詳しくは、「[アップパー2パートの設定を変える](#)」、「[アップパー2パートをオクターブシフトする](#)」をご参照ください。

鍵盤を左右に分けて使う(スプリット)

低音部専用の音色<ベース(低音部)>を選ぶと、鍵盤の低音部でベースの音を鳴らすことができます。鍵盤全体を左右に分けることから、この使い方をスプリットと呼びます。低音部の音色をローワーパートの音色、高音部の音色をアッパー 1 パートの音色と呼びます。



■低音部専用の音色を選ぶ

「グランドピアノ」ボタンを押さえたまま、F5鍵盤(ベース)を押します。

設定値を直接選ぶ(操作タイプA)



- 低音部(左側)の鍵盤だけがベース音色になり、高音部(右側)の鍵盤はそれまで選んでいた音色がそのまま残ります。

■ローワーパートの設定を変える

ローワーパートの音量調節などの設定を変えることができます。

詳しくは、「[ローワーパートの設定を変える](#)」をご参照ください。

■アッパー 1 パートの設定を変える

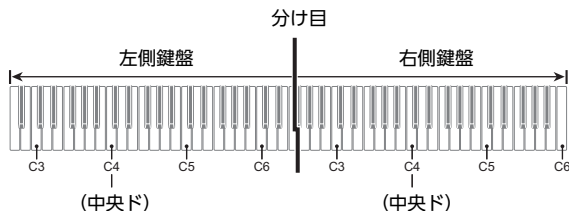
アッパー 1 パートの音量調節やオクターブシフトができます。

詳しくは、「[アッパー1パートの設定を変える](#)」、「[アッパー 1 パートをオクターブシフトする](#)」をご参照ください。

鍵盤を左右に分けて2人で弾く(デュエット)

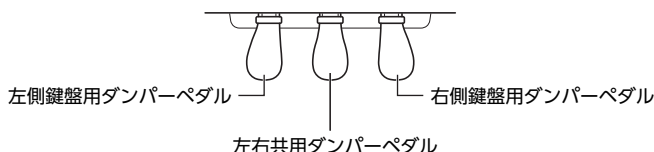
デュエットとは

鍵盤の中央から右側と左側で同じ音域にすることができます。左側で先生がお手本演奏をして、右側で生徒さんが同じメロディーを弾く、といった活用ができます。また、左右の鍵盤それぞれの音域は、オクターブ単位で変えることができます。



■デュエット(オン/パン)のペダル操作について

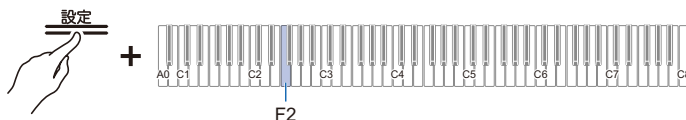
両端のペダルがそれぞれ左側鍵盤用と右側鍵盤用のダンパーペダル、中央のペダルが左右共用のダンパーペダルになります。



デュエット機能を使う

「設定」ボタンを押さえたまま、F2鍵盤(モード切替)を押します。

1つの鍵盤でオン/オフの切り替えや、設定値を変更する(操作タイプD)



- 初期値: オフ

設定値	通知音	設定内容
オフ	オフ音	デュエットをオフにします。
オン	番号通知音1回	デュエットをオンにします。
パン	番号通知音2回	左側鍵盤の音は左スピーカーからのみ、右側鍵盤の音は右スピーカーからのみ出力されます。

参考

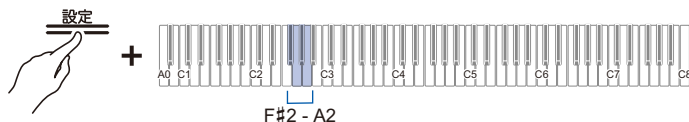
- [デュエット]機能の使用中は、一部の設定が変更できなくなります。
- [デュエット]機能の設定が<パン>の場合、[アコースティックシミュレーター]、[ホールシミュレーター/リバーブ]、[サラウンド]、[コーラス]は利用できません。

音域を変える

左右の鍵盤ごとに、-2～+2オクターブの範囲で音域を変えることができます。

「設定」ボタンを押さえたまま、対応する鍵盤を押します。

+/- 鍵盤で、設定値を1ずつ上下させる (操作タイプB)



左側鍵盤の設定

- 設定値：-2オクターブ～+2オクターブ
- 初期値：0

鍵盤	設定
F#2	音域を1オクターブ下げる (-)
G2	音域を1オクターブ上げる (+)
F#2+G2	音域を初期設定に戻す

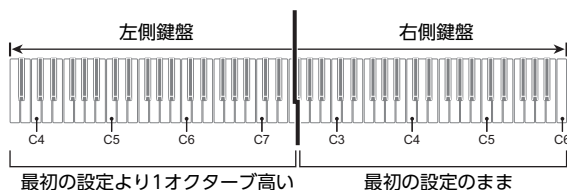
右側鍵盤の設定

- 設定値：-2オクターブ～+2オクターブ
- 初期値：0

鍵盤	設定
A♭2	音域を1オクターブ下げる (-)
A2	音域を1オクターブ上げる (+)
A♭2+A2	音域を初期設定に戻す

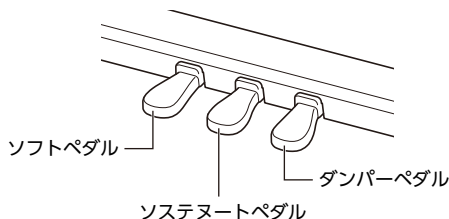
■音域の設定例

G2鍵盤を1回押した場合



ペダルを使う

ダンパー、ソフト、サステヌートの3つのペダルがあります。よりグランドピアノに近い、表現力豊かなペダル演奏が楽しめます。



■ダンパーペダル

演奏中にこのペダルを踏むと、鍵盤を離してもその音の余韻が残ります。

グランドピアノ音色を選んでいる場合、実際のグランドピアノでダンパーペダルを使用しているときのような共鳴効果(ダンパーレゾナンス)も生み出せます。ペダルの効果は、踏み込む深さに応じて連続的に変化します。

■ソフトペダル

演奏中にこのペダルを踏むと、ペダルを踏んでから鍵盤で弾いた音が弱まるだけでなく、音色が柔らかく聞こえる効果が得られます。

■サステヌートペダル

このペダルを踏んだ時点で押さえている鍵盤の音だけ、鍵盤を離してもペダルを離すまでその音の余韻が残ります。

メトロノームを使う

メトロノームのオン/オフ

メトロノームは一定の間隔で拍子を刻みます。メトロノームを使うことで、一定のテンポを保つ練習ができます。メトロノームのスタートと同時に、ビートインジケーターとビジュアルインフォメーションバーが拍子やテンポに合わせて点灯します。

1. 「メトロノーム」ボタンにタッチします。メトロノームがスタートします。

- メトロノームの拍子に合わせて、ビートインジケーターが点灯します (1拍目は左側、残りの拍は右側)。

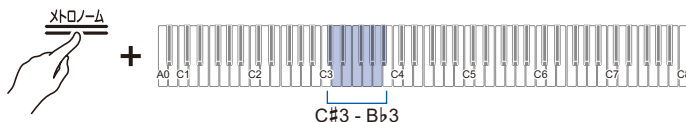


2. メトロノームを止めるには、もう一度「メトロノーム」ボタンにタッチします。

拍子を設定する

「メトロノーム」ボタンを押さえたまま、C#3～B♭3鍵盤のいずれか1つを押します。

[設定値を直接選ぶ \(操作タイプA\)](#)



- 初期値: 4

鍵盤	設定値	設定内容
C#3	オフ	すべての拍でクリック音だけが鳴ります。
D3	1	すべての拍でベル音が鳴ります。
E♭3	2	2拍子～9拍子に設定します。1拍目にベル音が鳴り、残りの拍はクリック音が鳴ります。
E3	3	
F3	4	
F#3	5	
G3	6	
A♭3	7	
A3	8	
B♭3	9	

テンポを設定する

■テンポを数値で入力する

メトロノームや曲を再生するときのテンポを、20～255 (拍/分) の範囲で設定します。
「メトロノーム」ボタンを押さえたまま、A0～F#1鍵盤 (テンポ数値設定) を使ってテンポの設定値を入力します。

0～9鍵盤で設定値を入力する (操作タイプC)

■テンポの数値を1ずつ上げ下げする

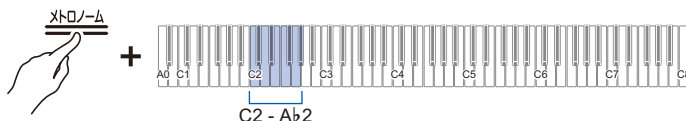
「メトロノーム」ボタンを押さえたまま、B2鍵盤 (テンポ-) / C3鍵盤 (テンポ+) を押します。

+/- 鍵盤で、設定値を1ずつ上下させる (操作タイプB)

■テンポを速度標語で設定する

アンダンテ (Andante) やアレグロ (Allegro) などの速度標語から選んで設定します。
「メトロノーム」ボタンを押さえたまま、C2～Ab2鍵盤 (テンポ速度標語設定) のいずれか1つを押します。

設定値を直接選ぶ (操作タイプA)

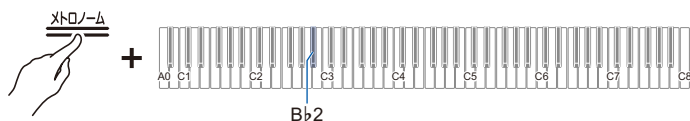


鍵盤	設定値	テンポ (拍/分)
C2	ラルゴ (Largo)	46
C#2	レント (Lento)	52
D2	アダージョ (Adagio)	56
Eb2	アンダンテ (Andante)	72
E2	モデラート (Moderato)	96
F2	アレグレット (Allegretto)	108
F#2	アレグロ (Allegro)	132
G2	ビバーチェ (Vivace)	160
Ab2	プレスト (Presto)	184

■鍵盤で拍子をとってテンポを設定する(タップテンポ)

「メトロノーム」ボタンを押さえたまま、B♭2鍵盤(タップテンポ)を2回以上続けて押します。

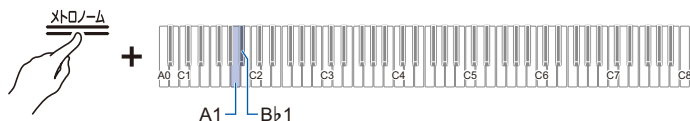
- 鍵盤を押した間隔に応じたテンポになります。



音量を調節する

「メトロノーム」ボタンを押さえたまま、A1またはB♭1鍵盤を押します。

+/- 鍵盤で、設定値を1ずつ上下させる(操作タイプB)



- 設定値: 0 (無音) ~ 42 (最大音量)
設定値が10の倍数になると区切り音が鳴ります。
- 初期値: 25

鍵盤	設定
A1	音量を1レベル下げる (-)
B♭1	音量を1レベル上げる (+)
A1 + B♭1	音量を初期設定に戻す

音に効果をかける

サウンドモード(ホールシミュレーター/リバーブとサラウンド)を使う

「サウンドモード」ボタンにタッチするたびに、それぞれの効果のオンとオフが順に切り替わります。

■ホールシミュレーター/リバーブ

音に残響を付加する効果です。

ホールシミュレーター

透明感のある端正な響きや、伸びやかで華やかな響きなど、世界的に有名なコンサートホールや建築物内の、それぞれに異なる音響特性をシミュレートします。

リバーブ

部屋の中、あるいはホール内といった、空間の残響を再現します。

■サラウンド

本機のスピーカーからの出力音にサラウンド効果(拡がり効果)がかかります。

ホールシミュレーター/リバーブとサラウンドのオン/オフを切り替える

「サウンドモード」ボタンにタッチします。

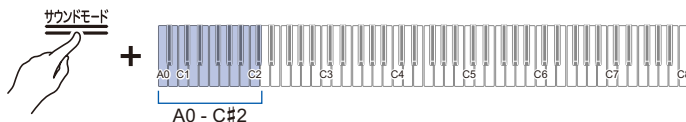
- タッチするたびに、インジケーターの点灯状態が下記のように切り替わります。

			
<u>サウンドモード</u>	<u>サウンドモード</u>	<u>サウンドモード</u>	<u>サウンドモード</u>
ホールシミュレーター/ リバーブ	ホールシミュレーター/ リバーブ	ホールシミュレーター/ リバーブ	ホールシミュレーター/ リバーブ
<オン>	<オフ>	<オン>	<オフ>
サラウンド	サラウンド	サラウンド	サラウンド
<オフ>	<オン>	<オン>	<オフ>

ホールシミュレーター/リバーブのタイプを選ぶ

「サウンドモード」ボタンを押さえたまま、A0～C#2鍵盤のいずれか1つを押します。

設定値を直接選ぶ(操作タイプA)



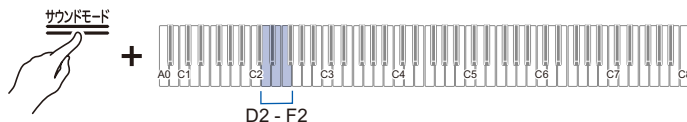
- 初期値: トーン

鍵盤	設定値	設定内容
A0	トーン	現在の音色に合ったホールシミュレーター/リバーブのタイプが自動的に設定されます。
Bb0	ニューヨーククラブ	さまざまなタイプのホールシミュレーターです。例えば「ニューヨーククラブ」はマンハッタンのミュージッククラブ、「ベルリンホール」はベルリンのアリーナ形式クラシックコンサートホールの音響をシミュレートします。
B0	オペラホール	
C1	ベルリンホール	
C#1	ブリティッシュスタジアム	
D1	サロン	
Eb1	スコアリングステージ	
E1	ヴィエナホール	
F1	L.A.ホール	
F#1	ルーム1	室内の残響感を与えるリバーブです。
G1	ルーム2	
Ab1	ルーム3	
A1	ラージルーム	
Bb1	ホール1	小規模ホールの残響感を与えるリバーブです。
B1	ホール2	
C2	ホール3	
C#2	スタジアム	スタジアムの残響感を与えるリバーブです。

ホールシミュレーター/リバーブのかかり方を調節する

「サウンドモード」ボタンを押さえたまま、対応する鍵盤を押します。

+/- 鍵盤で、設定値を1ずつ上下させる (操作タイプB)



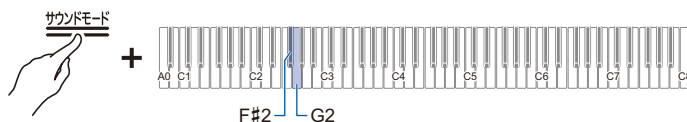
- 設定値: 0 (効果なし) ~ 42 (最大の深さ)
設定値が10の倍数になると区切り音が鳴ります。

鍵盤	設定
D2	内蔵音源に対する効果の深さを1レベル下げる (-)
E♭2	内蔵音源に対する効果の深さを1レベル上げる (+)
D2 + E♭2	内蔵音源に対する効果の深さを初期設定に戻す (初期値: 21)
E2	ワイヤレスオーディオインに対する効果の深さを1レベル下げる (-)
F2	ワイヤレスオーディオインに対する効果の深さを1レベル上げる (+)
E2 + F2	ワイヤレスオーディオインに対する効果の深さを初期設定に戻す (初期値: 0)

サラウンドのタイプを選ぶ

「サウンドモード」ボタンを押さえたまま、F#2またはG2鍵盤を押します。

設定値を直接選ぶ (操作タイプA)



- 初期値: サラウンドタイプ1

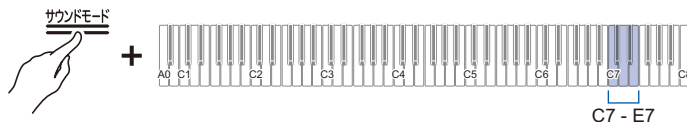
鍵盤	設定値	設定内容
F#2	サラウンドタイプ 1	標準的な拡がり
G2	サラウンドタイプ 2	拡がり強調

コーラスをかける

[コーラス]は、音を重ねて厚みを増す効果です。

「サウンドモード」ボタンを押さえたまま、C7～E7鍵盤のいずれか1つを押します。

設定値を直接選ぶ(操作タイプA)



- 初期値: トーン

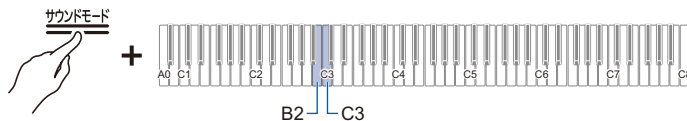
鍵盤	設定値	設定内容
C7	トーン	現在の音色に合ったコーラスのタイプが自動的に設定されます。
C#7	ライトコーラス	薄めのコーラス効果がかかります。
D7	コーラス	中位のコーラス効果がかかります。
E $\flat$ 7	ディープコーラス	深めのコーラス効果がかかります。
E7	フランジャー	フランジャー(音にうねりを与える効果)がかかります。

ブリリアンスを調節する

[ブリリアンス]を使うと、音の明るさを調節することができます。

「サウンドモード」ボタンを押さえたまま、B2またはC3鍵盤を押します。

+/- 鍵盤で、設定値を1ずつ上下させる(操作タイプB)



- 設定値: -12～+12
+1以上のときは音が明るい感じになり、-1以下のときはまろやかな感じになります。
- 初期値: 0

鍵盤	設定
B2	ブリリアンスの設定値を1下げる(-)
C3	ブリリアンスの設定値を1上げる(+)
B2+C3	ブリリアンスを初期設定に戻す

アコースティックピアノの音の特徴を調整する(アコースティックシミュレーター)

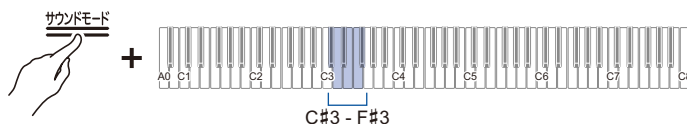
本機のピアノ音色は、アコースティックピアノの響きを特徴付ける要素を内蔵しています。音の特徴をそれぞれ調整できます。

ストリングレゾナンスを設定する

アコースティックピアノを弾くと、弾いた鍵盤の倍音となる弦が共鳴します。[ストリングレゾナンス]を設定して、共鳴の具合を調整します。

「サウンドモード」ボタンを押さえたまま、C#3～F#3鍵盤のいずれか1つを押します。

[設定値を直接選ぶ\(操作タイプA\)](#)



• 初期値: トーン

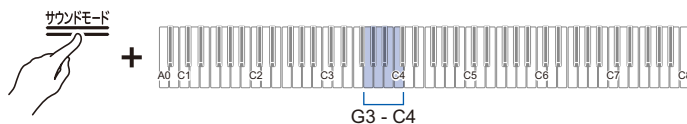
鍵盤	設定値	設定内容
C#3	トーン	現在の音色に合った値が自動的に設定されます。
D3	オフ	ストリングレゾナンスを無効にします。
Eb3	1	数値が大きいほど、ストリングレゾナンスによる共鳴が強くなります。
E3	2	
F3	3	
F#3	4	

ダンパーレゾナンスを設定する

アコースティックピアノでダンパーペダルを踏んだとき、88鍵盤の弦がすべて開放されるため、弾いた鍵盤の倍音となる弦がすべて共鳴します。[ダンパーレゾナンス]を設定して、共鳴の具合を調整します。

「サウンドモード」ボタンを押さえたまま、G3～C4鍵盤のいずれか1つを押します。

設定値を直接選ぶ(操作タイプA)



• 初期値: トーン

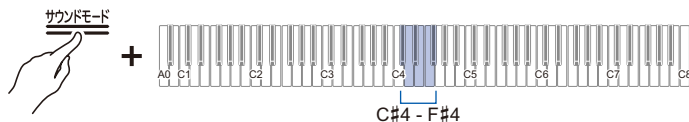
鍵盤	設定値	設定内容
G3	トーン	現在の音色に合った値が自動的に設定されます。
A♭3	オフ	ダンパーレゾナンスを無効にします。
A3	1	数値が大きいほど、ダンパーレゾナンスによる共鳴が強くなります。
B♭3	2	
B3	3	
C4	4	

ダンパーノイズを設定する

アコースティックピアノでダンパーペダルを踏むと、ダンパーがピアノ線から離れるときに小さく「シャーン」というノイズが出ます。[ダンパーノイズ]を設定して、ノイズの音量を設定します。

「サウンドモード」ボタンを押さえたまま、C#4～F#4鍵盤のいずれか1つを押します。

設定値を直接選ぶ(操作タイプA)



• 初期値: トーン

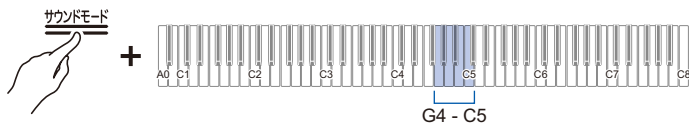
鍵盤	設定値	設定内容
C#4	トーン	現在の音色に合った値が自動的に設定されます。
D4	オフ	ダンパーノイズを鳴らしません。
E $\flat$ 4	1	数値が大きいほど、ノイズの音量が大きくなります。
E4	2	
F4	3	
F#4	4	

キーオンアクションノイズを設定する

アコースティックピアノで非常に弱く鍵盤を弾くと、ハンマーが弦に届かずにピアノの機構的な動作音(ノイズ)だけが聞こえます。[キーオンアクションノイズ]を設定して、ノイズの音量を調整します。

「サウンドモード」ボタンを押さえたまま、G4～C5鍵盤のいずれか1つを押します。

設定値を直接選ぶ(操作タイプA)



• 初期値: トーン

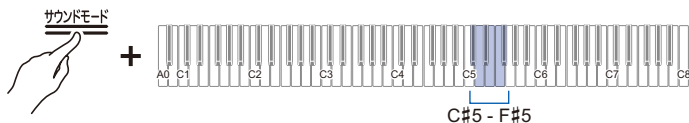
鍵盤	設定値	設定内容
G4	トーン	現在の音色に合った値が自動的に設定されます。
A♭4	オフ	キーオンアクションノイズを鳴らしません。
A4	1	数値が大きいほど、ノイズの音量が大きくなります。
B♭4	2	
B4	3	
C5	4	

キーオフアクションノイズを設定する

アコースティックピアノの鍵盤から指を離したとき、ピアノの機構的な動作音（ノイズ）が発生します。
[キーオフアクションノイズ]を設定して、ノイズの音量を調整します。

「サウンドモード」ボタンを押さえたまま、C#5～F#5鍵盤のいずれか1つを押します。

設定値を直接選ぶ(操作タイプA)



• 初期値: トーン

鍵盤	設定値	設定内容
C#5	トーン	現在の音色に合った値が自動的に設定されます。
D5	オフ	キーオフアクションノイズを鳴らしません。
E♭5	1	数値が大きいほど、ノイズの音量が大きくなります。
E5	2	
F5	3	
F#5	4	

鍵盤のタッチを調節する

鍵盤を押す強弱で音量を変える(タッチレスポンス)

[タッチレスポンス]機能とは、鍵盤を押す強さ(速さ)で音量を変化させる機能です。[タッチレスポンス]機能を使うとアコースティックピアノのように鍵盤を押す強さ(速さ)で音量や音質が変化し、演奏の表現が豊かになります。



すばやく押すと大きな音が出ます



ゆっくり押すと小さな音が出ます



強く押しすぎないようにしましょう

タッチレスポンスの感度を変える

「グランドピアノ」ボタンを押さえたまま、E♭1～A♭1鍵盤のいずれか1つを押します。

設定値を直接選ぶ(操作タイプA)



・ 初期値:3

鍵盤	設定値	設定内容
E♭1	オフ	タッチレスポンスを解除します。鍵盤を押す速度が変化しても音量は一定のままです。
E1	1(軽い)	大きな音を出しやすい設定になり、「普通」よりもタッチが軽く感じられます。
F1	2(やや軽い)	
F#1	3(普通)	標準的な設定です。
G1	4(やや重い)	大きな音を出しにくい設定になり、「普通」よりもタッチが重く感じられます。
A♭1	5(重い)	

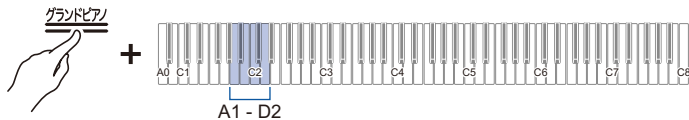
押鍵から音が鳴るまでのタイミングを調節する(ハンマーレスポンス)

アコースティックピアノは鍵域ごとに弦をたたくハンマーの大きさが違うため、発音のタイミングが鍵域により異なります。鍵盤を押してから音が鳴るまでのタイミングを調節します。

ハンマーレスポンスを調節する

「グランドピアノ」ボタンを押さえたまま、A1～D2鍵盤のいずれか1つを押します。

設定値を直接選ぶ(操作タイプA)



・ 初期値: トーン

鍵盤	設定値	設定内容
A1	トーン	現在の音色に最適な値が設定されます。
B $\flat$ 1	オフ	鍵域にかかわらず全鍵域で最も速く反応します。
B1	早い	鍵盤を押してから音が鳴るまでのタイミングが早くなります。
C2	やや早い	
C $\sharp$ 2	やや遅い	
D2	遅い	

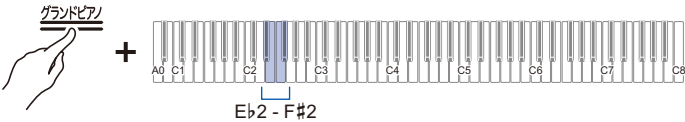
離鍵中の消音タイミングを調節する(キーオフレスポンス)

グランドピアノでは鍵盤を離すと弦にダンパーが降りて音が鳴り止みます。離鍵中の鍵盤の動きをもとに、音が鳴り止むタイミングをデジタル的にシミュレートするのが、[キーオフレスポンス]機能です。この機能によって、グランドピアノのように同音連打の際に鍵盤を戻しきらなくても次の音がしっかりと発音され、音と音のつなぎ方や切り方などの細かなタッチ表現を可能にし、自然な感覚で演奏できます。鍵盤を離してから消音までのタイミングを調節します。

キーオフレスポンスを調節する

「グランドピアノ」ボタンを押さえたまま、Eb2～F#2鍵盤のいずれかが1つを押します。

設定値を直接選ぶ(操作タイプA)



・ 初期値: トーン

鍵盤	設定値	設定内容
E♭2	トーン	現在の音色に最適な値が設定されます。
E2	早い	鍵盤を離してから消音までのタイミングが早くなります。
F2	普通	標準的な設定です。
F#2	遅い	鍵盤を離してから消音までのタイミングが遅くなります。

音の高さを調節する

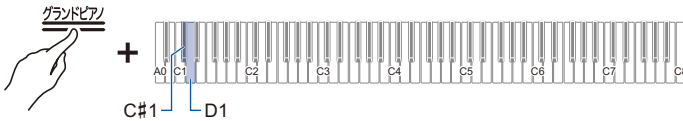
半音単位で変える(トランスポーズ)

音の高さを半音単位で全体的に上げたり下げたりします。難しい調(キー)を弾き慣れた調で弾きたい場合や、歌う人の声の高さに合わせて伴奏の調を上げ下げしたいときなどに便利です。

トランスポーズする

「グランドピアノ」ボタンを押さえたまま、C#1またはD1鍵盤を押します。

+/- 鍵盤で、設定値を1ずつ上下させる(操作タイプB)



- 設定値: -12~+12半音
- 初期値: 0

鍵盤	設定
C#1	音の高さを半音下げる(-)
D1	音の高さを半音上げる(+)
C#1+D1	音の高さを初期設定に戻す

微調整する (A音のチューニング)

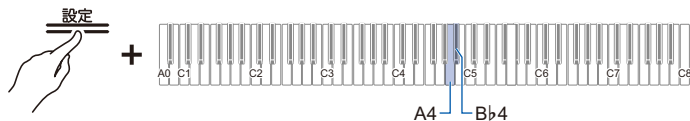
楽器の音の高さを、全体的に少しでもずらしします。A4の音の周波数を415.5～465.9Hz (初期値 440.0Hz) の範囲で設定します。

チューニングする

■440.0Hzまたは442.0Hzを選ぶ

「設定」ボタンを押さえたまま、A4またはB♭4鍵盤を押します。

設定値を直接選ぶ (操作タイプA)



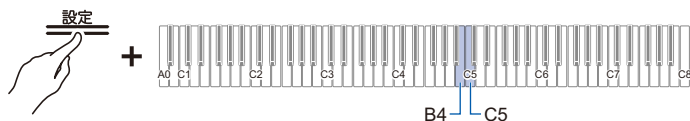
- 初期値: 440.0Hz

鍵盤	設定
A4	A4の音の周波数を440.0Hzにする
B♭4	A4の音の周波数を442.0Hzにする

■0.1Hz単位で変える

「設定」ボタンを押さえたまま、B4またはC5鍵盤を押します。

+/- 鍵盤で、設定値を1ずつ上下させる (操作タイプB)



- 設定値: 415.5～465.9Hz
周波数が整数 (440や441など) になると区切り音が鳴ります。
- 初期値: 440.0Hz

鍵盤	設定
B4	A4の音の周波数を0.1Hz下げる (-)
C5	A4の音の周波数を0.1Hz上げる (+)

オクターブ単位で変える(オクターブシフト)

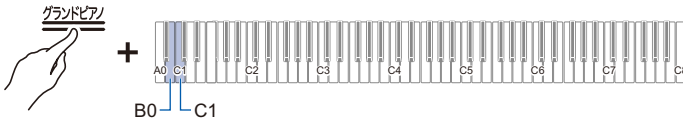
音の高さを、オクターブ単位で上げたり下げたりすることができます。

[レイヤー]を使ったときの各パート(アッパー 1、アッパー 2)を個別に設定することが可能です。
レイヤーや各パートについては、「[2つの音色を重ねる\(レイヤー\)](#)」をご参照ください。

アッパー 1 パートをオクターブシフトする

「グランドピアノ」ボタンを押さえたまま、B0またはC1鍵盤を押します。

+/- 鍵盤で、設定値を1ずつ上下させる(操作タイプB)



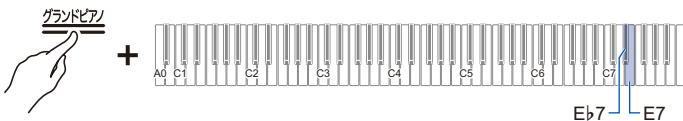
- 設定値: -2~+2オクターブ
- 初期値: 0

鍵盤	設定
B0	アッパー 1 パートの音の高さを1オクターブ下げる (-)
C1	アッパー 1 パートの音の高さを1オクターブ上げる (+)
B0+C1	アッパー 1 パートの音の高さを初期設定に戻す

アッパー 2 パートをオクターブシフトする

「グランドピアノ」ボタンを押さえたまま、Eb7またはE7鍵盤を押します。

+/- 鍵盤で、設定値を1ずつ上下させる(操作タイプB)



- 設定値: -2~+2オクターブ
- 初期値: 0

鍵盤	設定
Eb7	アッパー 2 パートの音の高さを1オクターブ下げる (-)
E7	アッパー 2 パートの音の高さを1オクターブ上げる (+)
Eb7+E7	アッパー 2 パートの音の高さを初期設定に戻す

鍵盤の音律を変える(スケールチューニング)

鍵盤の音律を設定して通常の音律(12平均律)以外の音律を使う音楽(インド音楽、アラビア音楽、クラシック音楽など)の演奏ができます。17種類のプリセットの音律から好きな音律を選べます。

音律(スケールチューニング)を変える

「設定」ボタンを押さえたまま、F4鍵盤(音律(スケールチューニング)選択)を押します。

1つの鍵盤でオン/オフの切り替えや、設定値を変更する(操作タイプD)



- 設定値が0になると初期値音が鳴り、設定値が10になると区切り音が鳴ります。
- 初期値:0

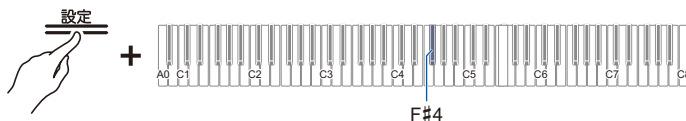
設定値	音律名
0	平均律(Equal)
1	純正律長調(Pure Major)
2	純正律短調(Pure Minor)
3	ピタゴラス音律(Pythagorean)
4	キルンベルガー第III法(Kirnberger 3)
5	ヴェルクマイスター第1技法第3法(Werckmeister)
6	ミーントーン(Mean-Tone)
7	ラスト(Rast)
8	バヤティ(Bayati)
9	ヒジャーズ(Hijaz)
10	サバ(Saba)
11	ダシュティ(Dashti)
12	チャハルガー(Chahargah)
13	セガー(Segah)
14	グジャリ・トーディ(Gurjari Todi)
15	チャンドラコونس(Chandrakauns)
16	チャルケシ(Charukeshi)

音律(スケールチューニング)の基音を設定する

1. 「設定」ボタンを押さえたまま、F#4鍵盤(音律(スケールチューニング)の基音)を押します。

待機状態してから、次の押鍵で実行する(操作タイプE)

- 次の操作が終わるまで「設定」ボタンは離さないでください。



2. 「設定」ボタンを押さえたまま、設定したい基音(C~B)を鍵盤で指定します。

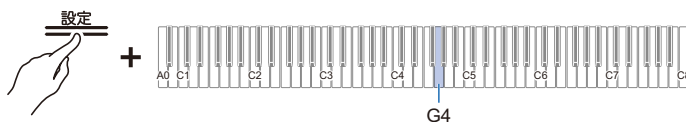
- 基音は88鍵盤のどれか1つを押して指定します。

ストレッチチューニングのオン/オフ

一般的にピアノでは高音はより高めに、低音はより低めに調律します。この調律をストレッチチューニングといいます。

「設定」ボタンを押さえたまま、G4鍵盤(ストレッチチューニング)を押します。

1つの鍵盤でオン/オフの切り替えや、設定値を変更する(操作タイプD)



- 初期値: オン

設定値	設定内容
オフ	ストレッチチューニングをオフにします。
オン	ストレッチチューニングをオンにします。

曲を聴く

再生できるデータの種類

本機はMIDIデータ(内蔵曲を含む)とオーディオデータの再生機能を備えています。

■MIDIデータ

本機の内蔵メモリーまたはUSBメモリーに保存されているMIDIデータを再生できます。

詳しくは、「[MIDIデータを再生する](#)」をご参照ください。

■オーディオデータ

USBメモリーに保存されているオーディオデータを再生できます。

詳しくは、「[オーディオデータ\(WAV、MP3\)を再生する](#)」をご参照ください。



- ・再生したいデータのタイプに応じて、[リプレイヤー/レコーダー]の設定を、<MIDIレコーダー>と<オーディオレコーダー>で切り替える必要があります。

MIDIデータを再生する

■ミュージックライブラリー

ミュージックライブラリーを使って、ピアノの名曲の鑑賞と練習ができます。

内蔵曲

本機に内蔵されている60曲(ミュージックライブラリーの1～60番)です。

曲目は、「[ミュージックライブラリーリスト](#)」をご参照ください。

ユーザー曲

外部から本機内蔵メモリーに保存した10曲(ミュージックライブラリーの61～70番)です。ユーザー曲の保存は、本機と接続したスマートデバイスやUSBメモリーを使って実行します。

詳しくは、「[専用アプリを使う](#)」、「[USBメモリーのファイルを本機に読み込む](#)」をご参照ください。

■MIDIレコーダー曲

本機のみMIDIレコーダーで録音した曲です。

詳しくは、「[MIDIレコーダーで演奏を録音する](#)」をご参照ください。

■USBメモリー曲

USBメモリーに保存されている標準MIDIファイル(SMFフォーマット0/1)またはカシオMIDIファイル(CMF形式)の曲です。本機に読み込まなくても簡単に再生することができます。

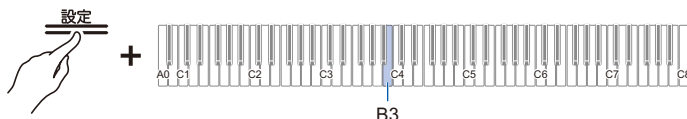
本機で再生可能なMIDIデータをUSBメモリーに保存する操作は、「[MIDIの曲データをパソコンでUSBメモリーにコピーする](#)」をご参照ください。

MIDIレコーダーに切り替える

本機の[リプレイヤー/レコーダー]の初期設定は、<MIDIレコーダー>です。

「設定」ボタンを押さえたまま、B3鍵盤 (MIDIレコーダー) を押します。

設定値を直接選ぶ (操作タイプA)



- ビジュアルインフォメーションバーは、左から2番目が点滅します。

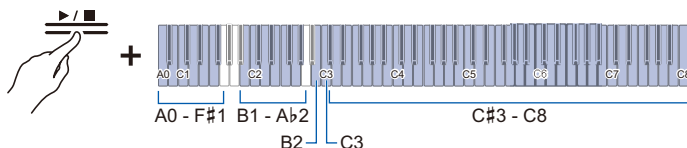
ミュージックライブラリーの曲を選んで再生する

<MIDIレコーダー>で操作してください。

MIDIレコーダーに切り替える

1. 「▶/■」ボタンを押さえたまま、対応する鍵盤で曲を選びます。選んだら「▶/■」ボタンを離します。

- ・曲目は、[ミュージックライブラリーリスト]をご参照ください。



- ・鍵盤に割り当てられた曲 (内蔵曲: C#3～C8鍵盤、ユーザー曲: B1～Ab2鍵盤) を指定する
設定値を直接選ぶ (操作タイプA)
- ・A0～F#1鍵盤を使って、曲番号 (内蔵曲: 1～60、ユーザー曲: 61～70) を指定する
0～9鍵盤で設定値を入力する (操作タイプC)
- ・B2/C3鍵盤 (曲選択－/曲選択＋) を使って、前の曲/後の曲 (内蔵曲、ユーザー曲、MIDIレコーダー曲) を指定する
＋/－鍵盤で、設定値を1ずつ上下させる (操作タイプB)

2. 再生を開始するには、「▶/■」ボタンにタッチします。

- ・曲の途中で再生を止めるには、もう一度「▶/■」ボタンにタッチします。
- ・曲の拍子に合わせて、ビートインジケーターが点灯します (1拍目は左側、残りの拍は右側)。
- ・曲の終わりまで到達すると、再生は終了します。



参考

- ・選曲操作をした場合は、選んだ曲に適した設定が自動的に反映されます。また、再生パートの設定は初期状態に戻ります。

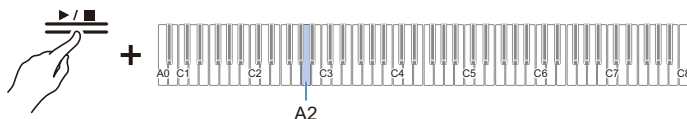
MIDIレコーダー曲を選んで再生する

<MIDIレコーダー>で操作してください。

MIDIレコーダーに切り替える

1. 「▶/■」ボタンを押さえたまま、A2鍵盤(MIDIレコーダー曲)を押します。

設定値を直接選ぶ(操作タイプA)



2. 曲の再生を開始するには、「▶/■」ボタンにタッチします。

- 曲の途中で再生を止めるには、もう一度「▶/■」ボタンにタッチします。
- 曲の終わりまで到達すると、再生は終了します。

USBメモリー曲を選んで再生する

曲が保存されたUSBメモリーを、本機のUSB Type A端子に装着します。

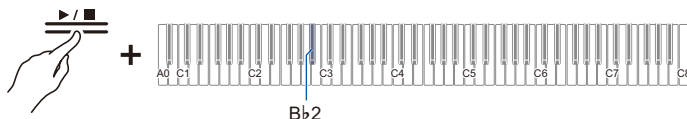
USBメモリーの取り扱いについては、「[USBメモリーを本機に装着する/取り外す](#)」をご参照ください。

<MIDIレコーダー>で操作してください。

MIDIレコーダーに切り替える

1. 「▶/■」ボタンを押さえたまま、B♭2鍵盤(USBメモリー曲)を押します。

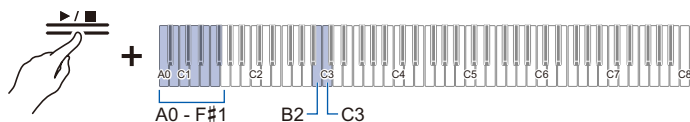
1つの鍵盤でオン/オフの切り替えや、設定値を変更する(操作タイプD)



- 初期値:オフ

設定値	設定内容
オフ	本体に保存された曲(ミュージックライブラリーの曲、MIDIレコーダー曲)が選曲対象
オン	USBメモリーに保存された曲(USBメモリー曲)が選曲対象

2. 「▶/■」ボタンを押さえたまま、対応する鍵盤で曲を選びます。曲を選んだら「▶/■」ボタンを離します。



- A0～F#1鍵盤を使って、曲番号0～99を指定する(0～99の番号は、各ファイルにファイル名の昇順で自動的に割り当てられます。)

0～9鍵盤で設定値を入力する(操作タイプC)

- B2/C3鍵盤(曲選択－/曲選択＋)を使って、前の曲番号/後の曲番号を指定する

＋／－鍵盤で、設定値を1ずつ上下させる(操作タイプB)

3. 再生を開始するには、「▶/■」ボタンにタッチします。

- 曲の途中で再生を止めるには、もう一度「▶/■」ボタンにタッチします。
- 曲の拍子に合わせて、ビートインジケーターが点灯します(1拍目は左側、残りの拍は右側)。
- 曲の終わりまで到達すると、再生は終了します。

参考

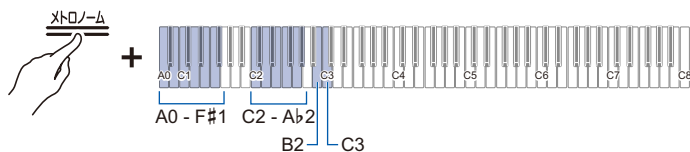
- 指定した曲番号のファイルが存在しないときは、無効音が鳴ります。

テンポを変える

再生する曲を選んでから操作してください。

1. 「メトロノーム」ボタンを押さえたまま、対応する鍵盤を押します。

- 20～255(拍/分)の範囲で設定します。



テンポを数値で入力する

テンポの数値を1ずつ上げ下げする

テンポを速度標語で設定する

2. 再生を開始するには、「▶/■」ボタンにタッチします。

参考

- 再生中でも、テンポ設定を変えることができます。
- 曲によっては、演奏表現のために途中でテンポが変化するものがあります。

再生パートを選ぶ

曲の右手パートまたは左手パートの音を消して、自分で弾く練習ができます。

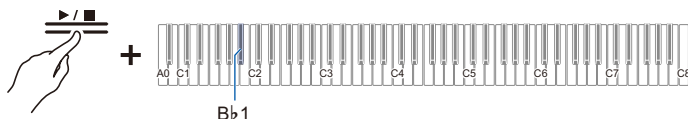
- 再生する曲を選んでから操作してください。
- 必要に応じてテンポを設定してください。

詳しくは、「[テンポを変える](#)」をご参照ください。

1. 「▶/■」ボタンを押さえたまま、B♭1鍵盤(再生パート選択)を押します。

1つの鍵盤でオン/オフの切り替えや、設定値を変更する(操作タイプD)

- トラックインジケータの「左」と「右」がそれぞれ点灯します。



トラックインジケータ	設定内容
左のみ点灯	左手パートを再生し、右手パートを消します。
右のみ点灯	右手パートを再生し、左手パートを消します。
左右ともに点灯	左右パートともに再生します。

2. 再生を開始するには、「▶/■」ボタンにタッチします。



参考

- 標準MIDIファイル(SMF形式)を再生する場合、3chが左手パート、4chが右手パートとなります。

オーディオデータ(WAV、MP3)を再生する

再生できるデータ

USBメモリーに保存されているAUDIORECフォルダ内のオーディオデータを再生できます。

- WAVファイル(リニアPCM、16bit、44.1kHz、ステレオ、拡張子: .WAV)、ファイル名 "TAKE**.WAV" (**は01~99)
- MP3ファイル(MPEG-1 Audio Layer3、44.1kHz/48kHz、ビットレート32~320kbps/可変ビットレート(VBR)対応、モノラル/ステレオ、拡張子: .MP3)、ファイル名 "TAKE**.MP3" (**は01~99)

参考

- 本機で再生可能なオーディオデータをUSBメモリーに保存する操作は、「[オーディオデータ\(WAV、MP3\)をパソコンでUSBメモリーにコピーする](#)」をご参照ください。

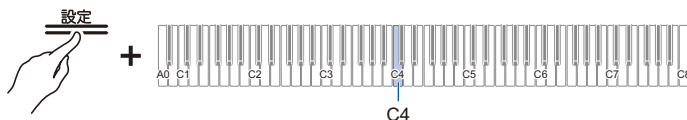
オーディオレコーダーに切り替える

曲が保存されたUSBメモリーを、本機のUSB Type A端子に装着します。

USBメモリーの取り扱いについては、「[USBメモリーを本機に装着する/取り外す](#)」をご参照ください。

「設定」ボタンを押さえたまま、C4鍵盤(オーディオレコーダー)を押します。

[設定値を直接選ぶ\(操作タイプA\)](#)



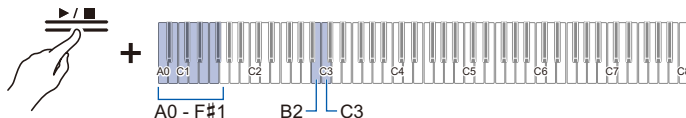
- ビジュアルインフォメーションバーは、左から3番目が点滅します。

曲を選んで再生する

<オーディオレコーダー>で操作してください。

オーディオレコーダーに切り替える

1. 「▶/■」ボタンを押さえたまま、対応する鍵盤で曲を選びます。曲を選んだら「▶/■」ボタンを離します。



- A0～F#1鍵盤を使って、TAKE**.WAV/TAKE**.MP3 (** = 01～99)の番号を指定する
0～9鍵盤で設定値を入力する (操作タイプC)
- B2/C3鍵盤 (曲選択－/曲選択＋) を使って、前の曲番号/後の曲番号を指定する
＋/－鍵盤で、設定値を1ずつ上下させる (操作タイプB)

2. 再生を開始するには、「▶/■」ボタンにタッチします。曲の途中で再生を止めるには、もう一度「▶/■」ボタンにタッチします。
 - 曲の終わりまで到達すると、再生は終了します。

参考

- 指定した曲番号のファイルが存在しないときは、無効音が鳴ります。
- WAVファイル名“TAKE**.WAV” (**は01～99) とMP3ファイル名“TAKE**.MP3” (**は01～99) が同じ場合、WAVファイルが再生されます。

演奏を録音する

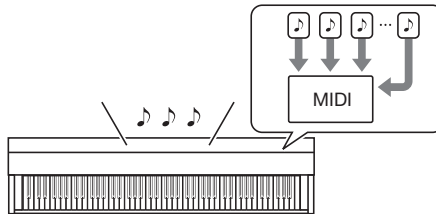
MIDIレコーダーとオーディオレコーダーの特長

本機はMIDIレコーダーとオーディオレコーダー、2つの録音機能を備えています。録音または再生したいデータのタイプに応じて、[リプレイヤー/レコーダー]の設定を、<MIDIレコーダー>と<オーディオレコーダー>で切り替える必要があります。

録音の特長

■MIDIレコーダー

演奏をMIDIデータ※にして、内蔵メモリーにある2つのトラック（演奏が記録されるデータ領域）へ録音します。



- 鍵盤の演奏情報（鍵盤の押鍵や離鍵、タッチの強さなど）をMIDIデータとして記録します。
- MIDIデータは、オーディオデータと比較すると極めてデータサイズが小さく、コンピューターなどで後から編集することができるという利点があります。
- 録音可能な曲数は1曲です。新しく録音した時点で、前の録音内容は消去されます。
- 1曲に記録できる最大音符数は、2トラックの合計で約30,000音符です。

※ MIDIについて

MIDI（ミディ）とは、Musical Instrument Digital Interfaceの略で、メーカーを問わず、電子楽器同士あるいは電子楽器とコンピューター機器との間で演奏情報（鍵盤の押鍵や離鍵、タッチの強さなど）をやり取りできるように定めた統一規格のことです。やり取りする演奏情報をMIDIデータと呼びます。

こんなこともできます

左手パート・トラックを再生しながら、右手パート・トラックに録音

左手パート・トラック

鍵盤演奏

再生しながら

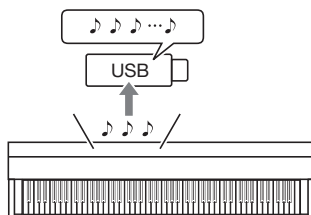
右手パート・トラック

鍵盤演奏



■オーディオレコーダー

演奏をオーディオデータ※にして、USBメモリーへ録音します。



- 携帯音楽プレーヤーやテープレコーダーで録音するのと同様に、音そのものをオーディオデータとして記録します。
- オーディオデータのファイルは、MIDIデータと比較するとサイズが極めて大きいです。しかし、パソコンや携帯音楽プレーヤーなどで簡単に聴けるという利点があります。
- USBメモリーには最長約25分、最大99ファイルまで録音可能です。

※ オーディオデータについて

本機で録音したオーディオデータは、WAVファイル(リニアPCM、16bit、44.1kHz、ステレオ)の形式で保存されます。

こんなこともできます

MIDIレコーダーに録音した曲を再生しながら、演奏を録音

MIDIレコーダー曲を再生



鍵盤演奏

参考

- 本機で扱うことのできるデータのファイル形式については、「[本機で扱えるデータの種類](#)」をご参照ください。
- 本機に録音したデータは、USBメモリーに保存できます。「[MIDIレコーダー曲をUSBメモリーに保存する](#)」をご参照ください。

再生の特長

■MIDIレコーダー

左手パート・トラックと右手パート・トラック (両方またはどちらか) を再生します。

- MIDIレコーダーは、MIDIデータとして記録されている演奏情報に従って、本機の内蔵音源を自動演奏することで再生しています。

こんなこともできます

左手パート・トラックや右手パート・トラックの再生に合わせて鍵盤演奏

左手パート・トラック

再生しながら

右手パート・トラック

再生しながら

鍵盤演奏

録音した後、テンポを変える

例えば、遅いテンポで録音しておいて、速いテンポで再生できます。

- 右手パート・トラックには、左手パート・トラックで設定したテンポが適用されます。

■オーディオレコーダー

USBメモリーのオーディオデータを再生します。

- オーディオレコーダーは、オーディオデータとして記録されている音の波形そのものを再生しています。

こんなこともできます

オーディオデータを再生しながら、鍵盤演奏

USBメモリー内の曲を再生



鍵盤演奏



参考

- 本機で扱うことのできるデータのファイル形式については、「[本機で扱えるデータの種類](#)」をご参照ください。

MIDIレコーダーで演奏を録音する

鍵盤演奏やペダル操作などをMIDIデータとして記録します。

❗ 重要

- 本機の故障、修理などによる録音内容の消去により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

MIDIレコーダーで記録される主な内容

MIDIレコーダーを使った録音では、下記の操作や設定が本機の内蔵メモリーに記録されます。

- 鍵盤演奏およびペダル操作
- 音色
- テンポ*
- 拍子*
- 鍵盤音量*
- レイヤー設定(左手パート・トラックのみ)
- スプリット設定(左手パート・トラックのみ)
- デュエット(左手パート・トラックのみ)
- サウンドモード(ホールシミュレーター/リバーブタイプ、内蔵音源に対するホールシミュレーター/リバーブデプス、サラウンドタイプ)、コーラス、ブリリアンス*
- アコースティックシミュレーターの設定*
- 音律*
- ストレッチチューニング*

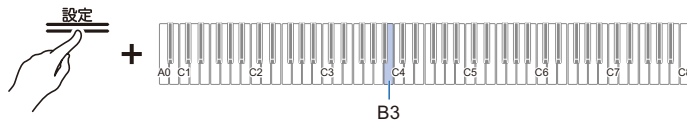
※ 左手パート・トラックのみ。ただし、再生時は右手パート・トラックにもその設定が適用されます。

MIDIレコーダー使用前の準備

[リプレイヤー/レコーダー]の設定を、<MIDIレコーダー>に切り替えます。
本機の[リプレイヤー/レコーダー]の初期設定は、<MIDIレコーダー>です。

「設定」ボタンを押さえたまま、B3鍵盤 (MIDIレコーダー) を押します。

設定値を直接選ぶ (操作タイプA)



- ビジュアルインフォメーションバーは、左から2番目が点滅します。

参考

- 本機の[リプレイヤー/レコーダー]機能には、MIDIレコーダー、オーディオレコーダー、インスタントリプレイヤーといった、異なる動作があります。本機では、これらから選んだいずれか1つだけが動作します。

録音する

■MIDIレコーダーの簡単な使い方

1. 「●(録音)」ボタン (白色で点灯中) にタッチします。
 - 「●(録音)」ボタンが赤色の点滅に切り替わり、録音開始待ちを示します。
2. 演奏を開始すると、自動的に録音を始めます。
 - 「●(録音)」ボタンが赤色の点滅から点灯に切り替わり、録音中を示します。
3. 録音を終了するには、「●(録音)」ボタンにタッチします。
 - 「●(録音)」ボタンが白色点灯に戻ります。
4. 今の録音を再生するには、「▶/■」ボタンにタッチします。
 - 再生を停止するには、もう一度「▶/■」ボタンにタッチします。

■左手パート・トラックに録音する

[リプレイヤー/レコーダー]の設定を、<MIDIレコーダー>に設定して操作してください。

MIDIレコーダー使用前の準備

1. 必要に応じて、録音時の音色やエフェクト、テンポなどの設定をします。
 - ・拍子やテンポの設定は、「[拍子を設定する](#)」、「[テンポを設定する](#)」をご参照ください。
 - ・トラックごとの記録内容は、「[MIDIレコーダーで記録される主な内容](#)」をご参照ください。
2. 「●(録音)」ボタン(白色で点灯)にタッチします。
 - ・録音待ちの状態になり、「●(録音)」ボタンが赤色で点滅します。
 - ・トラックインジケーターの「左」が点滅します。
 - ・録音の操作をやめるには、もう一度「●(録音)」ボタンにタッチします。



3. 録音中にメトロノームを鳴らすには、「メトロノーム」ボタンにタッチします。
4. 演奏を始めると録音が始まります。
 - ・「●(録音)」ボタンを押さえたまま、「▶/■」ボタンにタッチして録音を開始することもできます。
 - ・「●(録音)」ボタンが点滅から点灯に切り替わり、「▶/■」ボタンが消灯します。
 - ・録音をやり直したいときは、「[録音中に最初から弾き直したいときは](#)」をご参照ください。



5. 録音を終了するには、「●(録音)」ボタンにタッチします。
 - ・「●(録音)」ボタンが白色の点灯に戻り、「▶/■」ボタンが点灯します。
 - ・録音内容をすぐに再生するには、「▶/■」ボタンにタッチします。

録音中に最初から弾き直したいときは

演奏ミスなどで録音をやり直したいときは、録音中に「●(録音)」ボタンが点滅するまで押さえ続けてください。録音していたデータが破棄され、録音待ちの状態に戻ります。

■重ねて録音する(左手パート・トラックの録音内容に重ねて右手パート・トラックに録音する)

「[左手パート・トラックに録音する](#)」で録音待ちの状態にしてから操作してください。

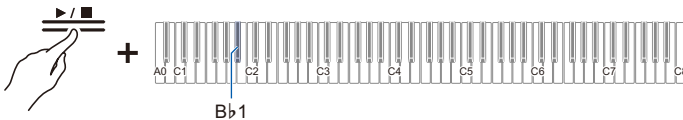
1. トラックインジケータの「右」が点滅するまで、「●(録音)」ボタンを押さえ続けます。
 - 右手パート・トラックが録音対象になります。
 - トラックインジケータの「左」が点滅から点灯に切り替わります。



2. 録音中に左手パート・トラックを再生しないときは、「▶/■」ボタンを押さえたまま、B♭1鍵盤(再生パート選択)を押します。

1つの鍵盤でオン/オフの切り替えや、設定値を変更する(操作タイプD)

- トラックインジケータの「左」が消灯します。
- B♭1鍵盤を押すたびに、トラックインジケータの「左」が点灯(再生する)と消灯(再生しない)が切り替わります。



3. この後は、「[左手パート・トラックに録音する](#)」の手順4から操作してください。

参考

- 拍子とテンポを含む一部設定は、左手パート・トラック録音時の設定が、右手パート・トラック録音時にも適用されます。

各トラックの録音内容を消去する

<MIDIレコーダー>で操作してください。

MIDIレコーダー使用前の準備

1. 「●(録音)」ボタン(白色で点灯)にタッチします。
 - 録音待ちの状態になり、「●(録音)」ボタンが赤色で点滅します。
 - トラックインジケーターの「左」が点滅して、左手パート・トラックが消去対象になります。



2. 右手パート・トラックを消去するときは、トラックインジケーターの「右」が点滅するまで、「●(録音)」ボタンを押さえ続けます。
3. 「●(録音)」ボタンを押しながら、「▶/■」ボタンにタッチします。
 - 「●(録音)」ボタンが点滅から点灯に切り替わります。
4. 「●(録音)」ボタンが点滅するまで押さえ続けます。
 - 指定したトラックの録音内容が消去されます。
5. 「●(録音)」ボタンにタッチして、録音待ちの状態から抜けます。

オーディオレコーダーで演奏を録音する

鍵盤演奏やペダル操作などをオーディオデータとして録音します。記録内容は、WAVファイル(リニアPCM、16bit、44.1kHz、ステレオ)の形式で、USB Type A端子に接続したUSBメモリーに保存されます。

❗ 重要

- オーディオレコーダーで録音中あるいは再生中は、USBメモリーを取り外さないでください。USBメモリーのデータが壊れたり、USB Type A端子が故障したりする場合があります。
- USBメモリーの取り扱いについては、「[USBメモリーを使う](#)」をご参照ください。
- 対応しているUSBメモリーのフォーマットについては、「[使用可能なUSBメモリー](#)」をご参照ください。

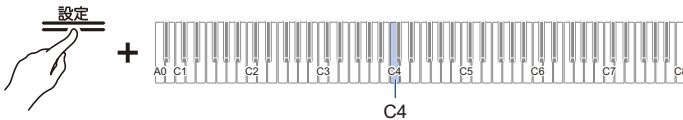
オーディオレコーダー使用前の準備

USBメモリーを、本機のUSB Type A端子に装着します。

USBメモリーの取り扱いについては、「[USBメモリーを本機に装着する/取り外す](#)」をご参照ください。
[リプレイヤー/レコーダー]の設定を<オーディオレコーダー>に切り替えます。

「設定」ボタンを押さえたまま、C4鍵盤(オーディオレコーダー)を押します。

[設定値を直接選ぶ\(操作タイプA\)](#)



- ビジュアルインフォメーションバーは、左から3番目が点滅します。

🔍 参考

- 本機の[リプレイヤー/レコーダー]機能には、MIDIレコーダー、オーディオレコーダー、インスタントリプレイヤーといった、異なる動作があります。本機では、これらから選んだいずれか1つだけが動作します。

オーディオレコーダー曲(WAV)をUSBメモリーに直接録音する

<オーディオレコーダー>で操作してください。

[オーディオレコーダー使用前の準備](#)

1. 「●(録音)」ボタン(白色で点灯)にタッチします。

- 録音待ちの状態になり、「●(録音)」ボタンが赤色で点滅します。
- 録音の操作をやめるには、もう一度「●(録音)」ボタンにタッチします。



2. 演奏を始めると録音が始まります。

- ・「●(録音)」ボタンを押さえたまま、「▶/■」ボタンにタッチして録音を開始することもできます。
- ・「●(録音)」ボタンが点滅から点灯に切り替わり、「▶/■」ボタンが消灯します。

3. 録音を終了するには、「●(録音)」ボタンにタッチします。

- ・「●(録音)」ボタンが白色の点灯に戻り、「▶/■」ボタンが点灯します。

4. 録音内容を再生するには、「▶/■」ボタンにタッチします。

参考

- ・録音可能な時間は最長約25分で、この時間が経過すると録音は自動的に終了します。録音可能な時間が残りわずかになると「●(録音)」ボタンが点滅を始めます。
- ・録音内容は、USBメモリーにWAVファイルとして保存されます。録音した順番に“TAKE01.WAV”から“TAKE99.WAV”までのファイル名で保存されます。
- ・録音したファイルは、WAVファイルまたはMP3ファイルどちらか最後の番号に1を加えた番号で保存されます。

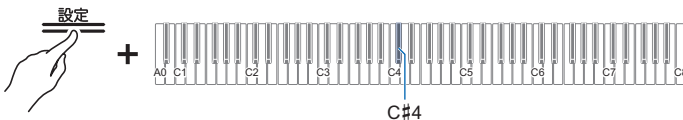
■録音中に最初から弾き直したいときは

演奏ミスなどで録音をやり直したい場合は、録音中に「●(録音)」ボタンが点滅するまで押さえ続けてください。録音していたデータが破棄され、録音待ちの状態に戻ります。

MIDIレコーダーに録音したデータを再生しながらオーディオレコーダーに録音する

1. 「設定」ボタンを押さえたまま、C#4鍵盤(MIDI再生しながらオーディオ録音)を押します。

設定値を直接選ぶ(操作タイプA)



- ・ビジュアルインフォメーションバーは、右端が点滅します。

2. USBメモリーを、USB Type A端子に装着します。

3. 「●(録音)」ボタン(白色で点灯)にタッチします。

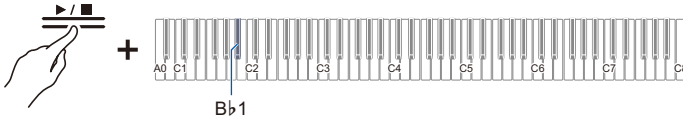
- ・録音待ちの状態になり、「●(録音)」ボタンが赤色で点滅します。
- ・MIDIレコーダーで録音されているパートのトラックインジケーターが点灯します。



4. 再生パートの設定をするときは、「▶/■」ボタンを押さえたまま、B♭1鍵盤(再生パート選択)を押して、再生パートの設定をします。

1つの鍵盤でオン/オフの切り替えや、設定値を変更する(操作タイプD)

- ・トラックインジケータの「左」と「右」がそれぞれ点灯します。



トラックインジケータ	設定内容
左のみ点灯	左手パートを再生し、右手パートを消します。
右のみ点灯	右手パートを再生し、左手パートを消します。
左右ともに点灯	左右パートともに再生します。

5. 演奏を始めると録音が始まります。

- ・録音開始と共に、MIDIレコーダー曲が再生されます。
- ・「●(録音)」ボタンを押さえたまま、「▶/■」ボタンにタッチして録音を開始することもできます。
- ・ビートインジケータが拍子に合わせて点灯します。
- ・録音をやり直したいときは、「録音中に最初から弾き直したいときは」をご参照ください。

6. 録音を終了するには、「●(録音)」ボタンにタッチします。

- ・「●(録音)」ボタンが白色の点灯に戻り、「▶/■」ボタンが点灯します。
- ・録音内容をすぐに再生するには、「▶/■」ボタンにタッチします。

参考

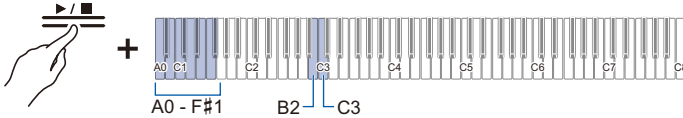
- ・録音可能な時間は最長約25分で、この時間が経過すると録音は自動的に終了します。録音可能な時間が残りわずになると「●(録音)」ボタンが点滅を始めます。
- ・録音内容は、USBメモリーにWAVファイルとして保存されます。録音した順番に“TAKE01.WAV”から“TAKE99.WAV”までのファイル名で保存されます。
- ・録音したファイルは、WAVファイルまたはMP3ファイルどちらか最後の番号に1を加えた番号で保存されます。

録音したファイルを削除する

<オーディオレコーダー>で操作してください。

オーディオレコーダー使用前の準備

1. 「▶/■」ボタンを押さえたまま、対応する鍵盤で削除するファイルを選びます。

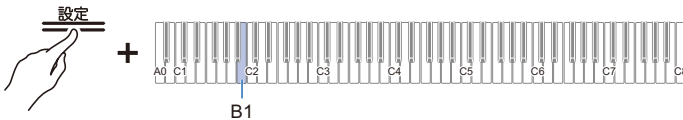


- A0～F#1鍵盤を使って、TAKE**.WAV(**は01～99)の番号を指定する
0～9鍵盤で設定値を入力する(操作タイプC)
- B2/C3鍵盤(曲選択- / 曲選択+)を使って、前の曲番号/後の曲番号を指定する
+/-鍵盤で、設定値を1ずつ上下させる(操作タイプB)

2. 「設定」ボタンを押さえたまま、B1鍵盤(デリート SMF/MRF/Audio)を押します。

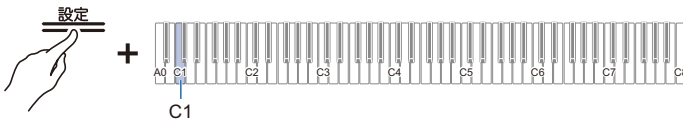
待機状態にしてから、次の押鍵で実行する(操作タイプE)

- 次の操作が終わるまで「設定」ボタンは離さないでください。



3. 「設定」ボタンを押さえたまま、C1鍵盤(実行)を押します。

- 削除が実行されます。



参考

- WAVファイル名“TAKE**.WAV”(**は01～99)とMP3ファイル名“TAKE**.MP3”(**は01～99)が同じ場合、ファイルの削除を実行すると、WAVファイルとMP3ファイル両方のファイルが削除されます。

演奏をすぐに聴き返す(インスタントリプレイヤー)

インスタントリプレイヤーについて

鍵盤演奏の練習をするときは、楽譜を見たり正しい鍵盤を押すことに集中してしまい、自分の演奏を音で確認しながら演奏するのは難しいものです。

インスタントリプレイヤー機能を使うと、たった今の演奏の録音を簡単に聴き返す(リプレイする)ことができますので、自分の演奏を音で確認することが容易にできます。

インスタントリプレイヤーの特長

演奏が自動的に録音されます。

- ・ リプレイ操作をするだけで簡単に演奏を聴き返せます。
- ・ 最大270秒前の演奏に戻してリプレイすることができます。
- ・ 戻す秒数を指定してリプレイすることができます。
- ・ 演奏時にマークを付けると、マークの位置からリプレイを開始することができます。

❗ 重要

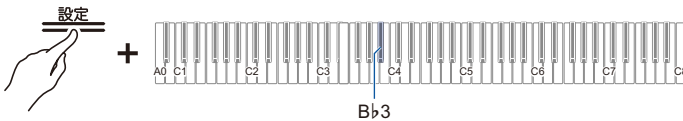
- ・ [リプレイヤー/レコーダー]機能には、ここで説明する「インスタントリプレイヤー」のほかに、「[MIDIレコーダー]」、「オーディオレコーダー」という、それぞれに特長のある録音機能があります。これら録音機能の中から1つを選んで使うことができます(一度に動作するのは、選んだ機能だけです)。
- ・ インスタントリプレイヤーの録音は、メトロノーム設定以外の変更をしたり、本機の電源を切ると消去されます。
- ・ インスタントリプレイヤーには、鍵盤操作やペダル操作、メトロノーム発音が記録されます。

インスタントリプレイヤー機能を使う準備

[リプレイヤー/レコーダー]の設定を<インスタントリプレイヤー>に切り替えます。

「設定」ボタンを押さえたまま、B♭3鍵盤(インスタントリプレイヤー)を押します。

設定値を直接選ぶ(操作タイプA)



- ・ ビジュアルインフォメーションバーは、左端が点滅します。

❗ 重要

- ・ [リプレイヤー/レコーダー]の設定が<インスタントリプレイヤー>のときは、常にインスタントリプレイヤーが動作しています。
- ・ インスタントリプレイヤーを動作させたくないときは、[リプレイヤー/レコーダー]の設定を<インスタントリプレイヤー>以外(<MIDIレコーダー>など)に切り替えてください。
なお[リプレイヤー/レコーダー]の設定を<MIDIレコーダー>に切り替える操作は、「[MIDIレコーダー使用前の準備](#)」をご参照ください。

簡単な使い方

1. 演奏をします。

- 録音が始まされ、「●(録音)」ボタンがゆっくり点滅して録音中であることを示します。

2. リプレイするには、演奏をやめて、「▶/■」ボタンをタッチします。

- 最後の演奏音の10秒前の演奏音からリプレイを開始します。最後までリプレイすると停止します。
- リプレイを途中で停止したいときは、「▶/■」ボタンにタッチします。停止後に「▶/■」ボタンをタッチすると、再度リプレイを開始します。
- 最後の演奏音から10秒以内に鳴っていた音でも、10秒以上前の押鍵で鳴っていた音は再生されません。

3. リプレイが済んだら、手順1に戻ります。

- 次の演奏を始めると録音が始まります。

参考

- リプレイの開始操作は、「▶/■」ボタンだけを押して10秒前を指定のほか、マーク位置を指定、戻る秒数を指定でも可能です。
詳しくは、「[マークを利用して聴き返す](#)」、「[戻す秒数を指定して聴き返す](#)」をご参照ください。
- 最大録音時間は270秒で、これを超えると古い演奏から順に上書き録音されるため、最新の270秒分の演奏だけを聴き返すことができます。
- インスタントリプレイヤーが録音中(「●(録音)」ボタンがゆっくり点滅)に「●(録音)」ボタンを長押し(2秒間)すると、270秒分の録音内容をすべて消去できます。

マークを利用して聴き返す

マークとは

演奏時に好きなタイミングで頭出し用のマークを付けると、リプレイするときにマークの位置から再生することができます。マークは最大36箇所(270秒以内)まで付けることができ、どのマーク位置からリプレイを開始するか指定できます。

演奏する

演奏をします。

- ・「●(録音)」ボタンがゆっくり点滅して録音中であることを示します。
- ・電源をオンにして最初のインスタントリプレイヤー使用時には、自動的にマークが付きます。

演奏時に好きなタイミングでマークを付ける

リプレイで頭出ししたいタイミングで「●(録音)」ボタンをタッチします。

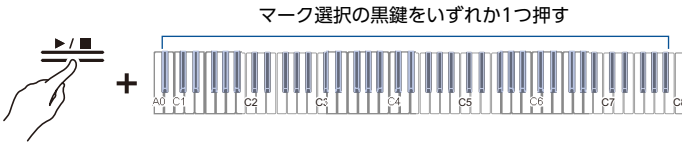
- ・「●(録音)」ボタンにタッチしたタイミングでマークが付きます。
- ・マークを付けると一旦録音が停止(「●(録音)」ボタンが消灯)して、次に演奏(押鍵またはペダル操作)を始めたところから録音(「●(録音)」ボタンがゆっくり点滅)を開始します。

マークからリプレイする

1. 演奏をやめて、「▶/■」ボタンを押さえたまま、マーク選択の黒鍵を押して、リプレイを開始したいマークを指定します。

設定値を直接選ぶ(操作タイプA)

- ・指定したマーク位置からリプレイを開始します。
- ・マーク選択に割り当てられた黒鍵は、「[インスタントリプレイヤー時の開始マークと開始秒数](#)」をご参照ください。



2. リプレイが済んだら、次の演奏をします。

- ・次の演奏を始めると、その位置にマークが自動的に付きます。

参考

- ・存在しないマークを指定すると、1番古いマークが指定されてリプレイを開始します。

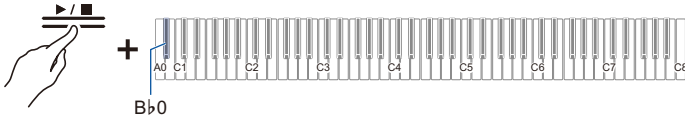
■マークの指定例

最新(最後に付けた)のマーク位置からリプレイを開始したい場合

「▶/■」ボタンを押さえたまま、B $\flat$ 0鍵盤(リプレイ開始マーク(最新))を押します。

[設定値を直接選ぶ\(操作タイプA\)](#)

- 最新のマーク位置に頭出しをしてリプレイを開始します。

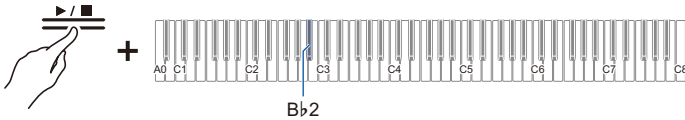


10回前に付けたマーク位置からリプレイを開始したい場合

「▶/■」ボタンを押さえたまま、B $\flat$ 2鍵盤(リプレイ開始マーク(10回前))を押します。

[設定値を直接選ぶ\(操作タイプA\)](#)

- 10回前のマーク位置に頭出しをしてリプレイを開始します。



戻す秒数を指定して聴き返す

リプレイ時に「▶/■」ボタンをタッチすると、最後の演奏音の10秒前からリプレイを開始しますが、10秒よりもさらに前からリプレイすることができます。10秒よりも前は、5秒単位でリプレイを開始する秒数の指定ができます。

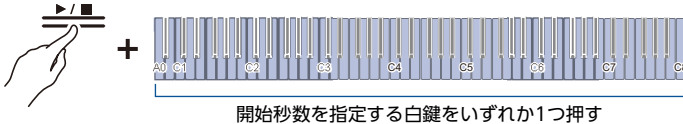
1. 演奏を始めます。

- 録音中は、「●(録音)」ボタンがゆっくり点滅します。

2. リプレイするには、演奏をやめて、「▶/■」ボタンを押さえたまま開始秒数を指定する白鍵を押して、リプレイを開始する秒数を指定します。

設定値を直接選ぶ(操作タイプA)

- 指定した秒数前の演奏音から最後の演奏音までをリプレイします。
- 開始秒数を指定する白鍵は、「[インスタントリプレイヤー時の開始マークと開始秒数](#)」をご参照ください。



3. リプレイが済んだら、次の演奏を始めます。



- 録音が270秒より短い場合、最も古い録音よりも前の秒数を指定したときは最も古い録音位置からリプレイを開始します。

■戻す秒数の指定例

60秒前からリプレイを開始したい場合

「▶/■」ボタンを押さえたまま、C2鍵盤(リプレイ開始秒数(60秒前))を押します。

設定値を直接選ぶ(操作タイプA)

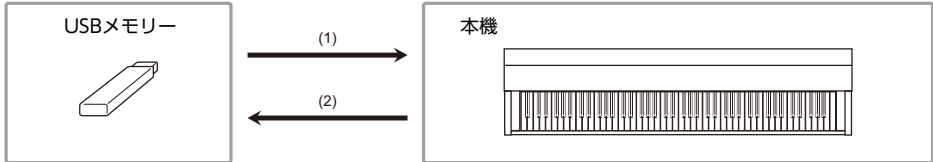
- 60秒前に頭出しをしてリプレイを開始します。



USBメモリーを使う

市販のUSBメモリーを使って本機でできること

本機では、市販のUSBメモリーを使用して下記のことができます。



(1) USBメモリーにあるファイルを、本機で使う

- USBメモリーのオーディオファイルを直接再生
詳しくは、「[オーディオデータ \(WAV、MP3\) を再生する](#)」をご参照ください。
- USBメモリーのMIDIファイルを直接再生
詳しくは、「[MIDIデータを再生する](#)」をご参照ください。
- 互換性のあるファイルをUSBメモリーから本機に読み込む
詳しくは、「[USBメモリーのファイルを本機に読み込む](#)」をご参照ください。
- USBメモリーのファイルを消去する
詳しくは、「[USBメモリーのファイルを消去する](#)」をご参照ください。

(2) 本機のデータを、USBメモリーに保存する

- オーディオレコーダー曲 (WAV) をUSBメモリーに直接録音
詳しくは、「[オーディオレコーダー曲 \(WAV\) をUSBメモリーに直接録音する](#)」をご参照ください。
- MIDIレコーダー曲をUSBメモリーに保存
詳しくは、「[MIDIレコーダー曲をUSBメモリーに保存する](#)」をご参照ください。

USBメモリーの準備

使用可能なUSBメモリー

FAT32またはexFATフォーマットのUSBメモリーをご使用ください。

- 容量が大きいUSBメモリーの場合、マウントやフォーマットに時間がかかることがあります。
- USBメモリーの性能・特性により、録音/再生等が正しくできない場合があります。

❗ 重要

- パソコン上で複数のドライブとして認識されるUSBメモリーは使用できないことがあります。
- パソコン上でCD-ROMとして認識されるUSBメモリーは使用できません。
- アンチウイルス機能やセキュリティー機能などの特殊機能付きUSBメモリーは使用できません。

本機で扱えるデータの種類

■オーディオデータ

WAV形式

主にWindowsで使われている標準音声ファイルフォーマットです。本機で扱うことができるのは、「リニアPCM、16bit、44.1kHz、ステレオ」のWAVファイルです（拡張子：.WAV）。

MP3形式

音楽配信などで広く使われている、一般的な音声ファイルフォーマットです。本機で扱うことができるのは、「44.1/48kHz、ビットレート32～320kbps、可変ビットレート（VBR）対応」のMP3ファイルです（拡張子：.MP3）。

■MIDIデータ

MRP形式（カシオオリジナルのファイル形式）

本機のMIDIレコーダーで録音したMIDIデータです（拡張子：.MRP）。

CMF形式（カシオオリジナルのファイル形式）

カシオ独自の演奏情報が加えられているMIDIデータです（拡張子：.CMF）。

SMF (Standard MIDI File) 形式 フォーマット0/1：

他社のMIDI機器と互換性がある標準MIDIファイル形式です（拡張子：.MID）。

データの種類		拡張子	保存 (内蔵メモリー → USBメモリー)	読み込み (USBメモリー → 内蔵メモリー)	USBメモリー に直接録音	USBメモリー から直接再生
オーディオ	オーディオレコーダー曲のファイル	.WAV	—	—	○	○
	一般のオーディオファイル	.WAV	—		—	
		.MP3				
MIDI	MIDIレコーダー曲のファイル	.MRF	○※1	○	—	—
	カシオMIDIファイル	.CMF	—	○※2	—	○
	標準MIDIファイル (SMF形式)	.MID				

※1 標準MIDIファイル (SMFフォーマット0、拡張子：.MID) に変換して保存することもできます。

・MRP形式で保存する場合

演奏情報だけでなく、本機固有機能の設定（アコースティックシミュレーターの設定など）も一緒に保存されます。この形式で保存したファイルを本機で再生すると、元通りの演奏が再現されます。ただし、MRPファイルは他の楽器では利用できません。

・SMF形式で保存する場合

演奏情報は保存されますが、本機固有機能の設定は保存されません。従って、この形式で保存したファイルを本機で再生しても、本機固有機能の設定については元通りに再現されません。しかし、この形式で保存したファイルは、他のSMFに対応した楽器でも利用が可能です。（他の楽器で、本機と同じ演奏が再現できるわけではありません。）

※2 ユーザー一曲（曲番号61～70）として読み込まれます。「[USBメモリーのファイルを本機に読み込む](#)」をご参照ください。

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者及び著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的に又は家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

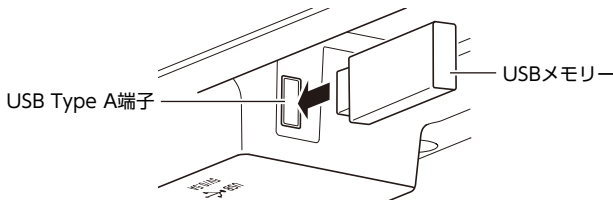
USBメモリーを本機に装着する/取り外す

- USBメモリーに付属している取扱説明書の注意事項をお守りください。
- 以下のような場所での保管や使用は避けてください。USBメモリー上のデータが壊れる場合があります。
高温多湿、または腐食性のある場所
強い静電気や電氣的ノイズの発生しやすい場所
- データを保存したり読み込んでいるときには、本機を操作したりUSBメモリーを取り外したりしないでください。USBメモリーのデータが壊れたり、USB Type A端子が故障したりする場合があります。
- USB Type A端子には、本書で指定されている機器以外は決して入れないでください。故障の原因となります。
- USBメモリーを本機に装着して最初にUSBメモリーを操作するとき、あるいは電源投入後に最初にUSBメモリーを操作するとき、本機のシステムがUSBメモリーとデータをやり取りする準備(マウント)を行うため、一時的に本機の操作ができなくなる場合があります。
- マウントは、本機にUSBメモリーを装着するたびに実行されます。
- マウント中は、「サウンドモード」ボタンと「▶/■」ボタンの上にあるインジケーターが順次点灯し、ビジュアルインフォメーションバーは進行中(左から順次点灯)であることを示します。マウント中は、本機を操作しないでください。
- 本機がマウントを完了し、操作が可能になるまで数十秒から数分かかることがあります。

■装着する

USBメモリーを本機のUSB Type A端子へ装着します。

- 確実に奥まで差し込んでください。また、無理な挿入はしないでください。



- USB Type A端子に、手やUSBメモリーから静電気が伝わると、本機が誤動作する場合があります。このような場合は、一度本機の電源を切ってから、再び電源を入れてください。

■取り外す

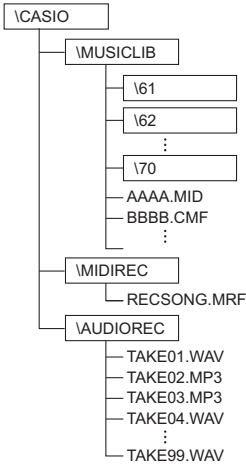
本機とUSBメモリーがデータのやり取り中でないことを確認して、USBメモリーを抜きます。

- 長時間使用すると、取り外したUSBメモリーが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

USBメモリーをフォーマットする

本機でUSBメモリーをフォーマットすると、ルートディレクトリに“CASIO”という名前のフォルダが作成されます。本機とUSBメモリーの間でデータをやりとりする際は、常にこのフォルダを使います。

USBメモリーのフォルダ構造図



❗ 重要

- 最初に、必ず本機でUSBメモリーをフォーマットしてください。
- USBメモリーをフォーマットすると、USBメモリー内のデータはすべて削除されます。フォーマットする前に、USBメモリーに大切なデータが保存されていないことをご確認ください。
- 本機でのフォーマットは、クイックフォーマットを実行します。データを完全に消去するには、本機でフォーマットする前にパソコンなどで通常のフォーマットを行ってください。
- exFATフォーマットの場合、長い名前のファイルがあると、読み込めるファイル数に制限がかかる場合があります。

1. フォーマットするUSBメモリーを、本機のUSB Type A端子に装着します。

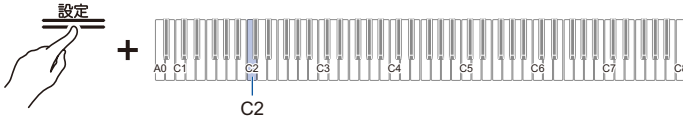
2. 「設定」ボタンを押さえたままにします。

待機状態してから、次の押鍵で実行する(操作タイプE)

- 手順4まで「設定」ボタンを離さないでください。

3. C2鍵盤(フォーマット)を押します。

- ビートインジケーターの右側が点滅し、フォーマット待機状態になります。



4. C1鍵盤(実行)を押します。

- フォーマットが実行されます。フォーマット中は、「サウンドモード」ボタンと「▶/■」ボタンの上にあるインジケーターが順次点灯し、ビジュアルインフォメーションバーは進行中(左から順次点灯)であることを示します。



5. フォーマットが開始されたら、「設定」ボタンを離します。

- フォーマットが終了すると、インジケーターが元に戻ります。

USBメモリーの各種操作

MIDIレコーダー曲をUSBメモリーに保存する

1. USBメモリーを本機のUSB Type A端子へ装着します。
2. SMFフォーマット(.MID)で保存する場合、次の操作を実行します。

(1) 本機を<MIDIレコーダー>に切り替えます。

[MIDIレコーダーに切り替える](#)

(2) 保存先フォルダ(61~70)に対応するユーザー曲の番号を選びます。

「▶/■」ボタンを押さえたまま、A0~F#1鍵盤を押します。

[0~9鍵盤で設定値を入力する\(操作タイプC\)](#)

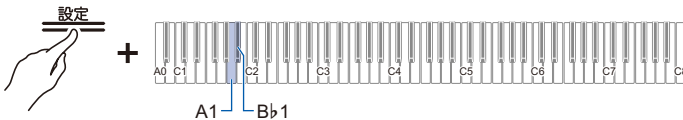
3. 「設定」ボタンを押さえたままにします。

[待機状態にしてから、次の押鍵で実行する\(操作タイプE\)](#)

- 手順5まで「設定」ボタンを離さないでください。

4. A1またはBb1鍵盤のどちらかを押します。

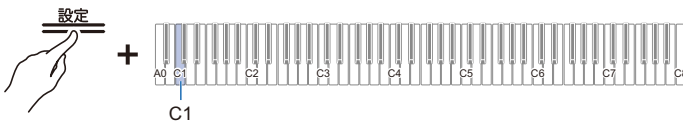
- ホールシミュレーター/リバーブインジケーターが点滅し、保存待機状態になります。



鍵盤	設定	保存場所
A1	SMFフォーマット(.MID)で保存	MUSICLIBフォルダ内の指定したフォルダ(61~70)
Bb1	カシオ専用フォーマットファイル(.MRF)で保存	MIDIRECフォルダ

5. C1鍵盤(実行)を押します。

- 保存が実行されます。処理中は、「サウンドモード」ボタンと「▶/■」ボタンの上にあるインジケーターが順次点灯し、ビジュアルインフォメーションバーは進行中(左から順次点灯)であることを示します。



6. 保存が開始されたら、「設定」ボタンを離します。

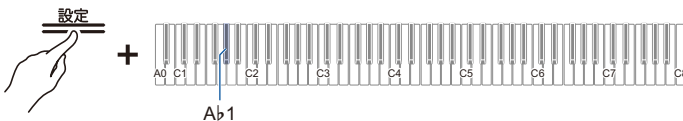
- 保存が終了すると、インジケーターが元に戻ります。

USBメモリーのファイルを本機に読み込む

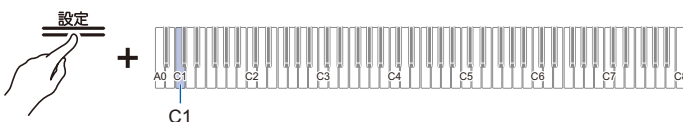
1. 本機に読み込むデータを、USBメモリーの各フォルダにコピーします。
 - 読み込みできるのは各フォルダの1曲のみです。複数ファイルがある場合は、ファイル名順の先頭ファイルが読み込まれます。

データの種類	フォルダ
ユーザー曲 (CMF、MID)	MUSICLIBフォルダ内の61～70
MIDIレコーダー曲 (MRF)	MIDIRECフォルダ

2. USBメモリーを本機のUSB Type A端子へ装着します。
3. 本機を<MIDIレコーダー>に切り替えます。
MIDIレコーダーに切り替える
4. 読み込むデータに対応するユーザー曲(曲番号61～70)またはMIDIレコーダー曲を選びます。
 - ユーザー曲を選ぶ場合、「▶/■」ボタンを押さえたまま、A0～F#1鍵盤を押します。
0～9鍵盤で設定値を入力する(操作タイプC)
 - MIDIレコーダー曲を選ぶ場合、「▶/■」ボタンを押さえたまま、A2鍵盤を押します。
設定値を直接選ぶ(操作タイプA)
5. 「設定」ボタンを押さえたままにします。
待機状態にしてから、次の押鍵で実行する(操作タイプE)
 - 手順8まで「設定」ボタンを離さないでください。
6. Ab1鍵盤(ロード SMF/MRF)を押します。
 - サウンドインジケーターが点滅し、読み込み待機状態になります。



7. C1鍵盤(実行)を押します。
 - 読み込みが実行されます。処理中は、「サウンドモード」ボタンと「▶/■」ボタンの上にあるインジケーターが順次点灯し、ビジュアルインフォメーションバーは進行中(左から順次点灯)であることを示します。



8. 読み込みが開始されたら、「設定」ボタンを離します。

- 読み込みが終了すると、インジケーターが元に戻ります。

USBメモリーのファイルを消去する

USBメモリーの以下のデータを削除します。

- MUSICLIBフォルダ内の61～70フォルダに保存している曲
- MIDIRECフォルダに保存しているRECSONG.MRF
- AUDIORECフォルダに保存しているTAKE**.WAV (**=01～99) または TAKE**.MP3 (**=01～99) のオーディオソングデータ

1. USBメモリーを本機のUSB Type A端子へ装着します。

2. 削除するデータを選びます。

- ユーザー曲またはMIDIレコーダー曲を削除する場合

(1) 本機を<MIDIレコーダー>に切り替えます。

MIDIレコーダーに切り替える

(2) 削除するデータに対応するユーザー曲の番号またはMIDIレコーダー曲を選びます。
ユーザー曲を選ぶ場合、「▶/■」ボタンを押さえたまま、A0～F#1鍵盤を押します。

0～9鍵盤で設定値を入力する (操作タイプC)

MIDIレコーダー曲を選ぶ場合、「▶/■」ボタンを押さえたまま、A2鍵盤を押します。

設定値を直接選ぶ (操作タイプA)

- オーディオデータを削除する場合

(1) 本機を<オーディオレコーダー>に切り替えます。

オーディオレコーダーに切り替える

(2) 削除するデータに対応するオーディオデータ、TAKE**.WAV/TAKE**.MP3 (** = 01～99) の番号を選択します。

「▶/■」ボタンを押さえたまま、A0～F#1鍵盤を押します。

0～9鍵盤で設定値を入力する (操作タイプC)

3. 「設定」ボタンを押さえたままにします。

待機状態にしてから、次の押鍵で実行する (操作タイプE)

- 手順5まで「設定」ボタンを離さないでください。

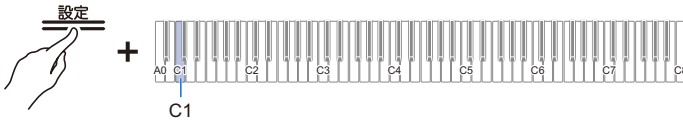
4. B1鍵盤 (デリート SMF/MRF/Audio) を押します。

- ビートインジケーターの左側が点滅し、削除待機状態になります。



5. C1鍵盤(実行)を押します。

- 削除が実行されます。処理中は、「サウンドモード」ボタンと「▶/■」ボタンの上にあるインジケーターが順次点灯し、ビジュアルインフォメーションバーは進行中(左から順次点灯)であることを示します。



6. 削除が開始されたら、「設定」ボタンを離します。

- 削除が終了すると、インジケーターが元に戻ります。

参考

- 同じ名前のWAVファイルとMP3ファイルがある場合、ファイル削除を実行すると、WAVファイルとMP3ファイル両方のファイルが削除されます。

MIDIの曲データをパソコンでUSBメモリーにコピーする

USBメモリーに作成されたCASIOフォルダ内のMUSICLIBフォルダに下記の形式のファイルを保存して、本機で再生することができます。

- 標準MIDIファイル(SMFフォーマット0/1)またはカシオMIDIファイル(CMF形式)

1. USBメモリーをパソコンにつなぎます。

2. USBメモリーのルートディレクトリにCASIOフォルダを作成し、CASIOフォルダ内にMUSICLIBという名前のフォルダを作成します。

- すでにMUSICLIBフォルダがある場合は、この手順は不要です。

3. 本機で再生したい曲データを、USBメモリー内のMUSICLIBフォルダにコピーします。

- 曲データの再生操作については、「[MIDIデータを再生する](#)」をご参照ください。

オーディオデータ(WAV、MP3)をパソコンでUSBメモリーにコピーする

本機のオーディオレコーダーで録音をすると、録音内容がWAVファイルの形式でUSBメモリーのCASIOフォルダ内のAUDIORECフォルダの下に“TAKE01.WAV”から“TAKE99.WAV”まで、録音をする度にファイル名末尾の数字を変えながら格納されていきます。

USBメモリーをパソコンにつなぎ、オーディオデータ(WAV、MP3ファイル)のファイル名を“TAKE**.WAV”(**は01～99)または、MP3ファイル名“TAKE**.MP3”(**は01～99)に変更して、AUDIORECフォルダに保存すると、本機で再生できます。

- WAVファイル(リニアPCM、16bit、44.1kHz、ステレオ、拡張子: .WAV)
- MP3ファイル(MPEG-1 Audio Layer3、44.1kHz/48kHz、ビットレート32～320kbps/可変ビットレート(VBR)対応、モノラル/ステレオ、拡張子: .MP3)

オーディオデータの再生操作については、「[オーディオデータ\(WAV、MP3\)を再生する](#)」をご参照ください。

ワイヤレス接続する

本機と外部機器をワイヤレスで接続する

付属のワイヤレスMIDI & AUDIOアダプターを使って、本機と外部機器をワイヤレスで接続することができます。この接続にはBluetooth無線技術を利用しており、下記2種類の接続が可能です。

- Bluetooth Low Energy MIDI接続
本機とスマートデバイスの間でMIDIデータを送受信します。
- Bluetoothオーディオ接続
外部機器の再生音を、本機で鳴らします。

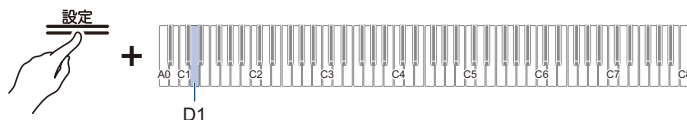
ワイヤレス (Bluetooth) 接続の設定

ワイヤレス機能のオン/オフ

本機の[ワイヤレス機能]は、初期設定で<オン>になっています。電波の発生を止めたい場合など必要なときは、[ワイヤレス機能]を<オフ>にすることができます。

1. ワイヤレスMIDI & AUDIOアダプターを、本機のUSB Type A端子に装着します。
2. 「設定」ボタンを押さえたまま、D1鍵盤(ワイヤレス機能)を押します。

1つの鍵盤でオン/オフの切り替えや、設定値を変更する(操作タイプD)



- 初期値: オン

設定値	設定内容
オフ	ワイヤレス機能をオフにします。
オン	ワイヤレス機能をオンにします。

ワイヤレス接続時・切断時の通知音の音量を調節する

ワイヤレス接続の状態が変わったときに鳴る通知音の音量を調節できます。

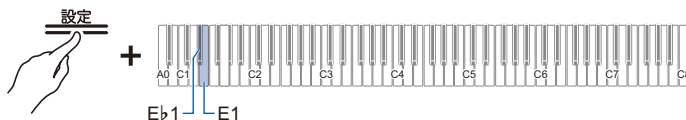
■通知音について

通知内容	通知音
Bluetoothオーディオ対応機器と接続した	メロディーが上がっていくピアノの音が鳴ります。
Bluetoothオーディオ対応機器との接続が切断した	メロディーが下がってくるピアノの音が鳴ります。
Bluetooth Low Energy MIDI対応機器と接続した	メロディーが上がっていくビブラフォンの音が鳴ります。
Bluetooth Low Energy MIDI対応機器との接続が切断した	メロディーが下がってくるビブラフォンの音が鳴ります。

■通知音の音量を調節する

「設定」ボタンを押さえたまま、Eb1またはE1鍵盤を押します。

+/- 鍵盤で、設定値を1ずつ上下させる (操作タイプB)



- 設定値: 0 (無音) ~ 10 (最大音量)
- 初期値: 5

鍵盤	設定
Eb1	接続通知音の音量を1レベル下げる (-)
E1	接続通知音の音量を1レベル上げる (+)
Eb1 + E1	接続通知音の音量を初期設定に戻す

Bluetooth Low Energy MIDI接続

本機とスマートデバイスをBluetooth Low Energy MIDI接続することで、専用アプリを使ったさまざまな操作が可能になります。Bluetooth Low Energy MIDI接続するには、スマートデバイスに専用アプリをインストールする必要があります。

専用アプリについて詳しくは、「[スマートデバイス用アプリ \(CASIO MUSIC SPACE\) をダウンロードする](#)」をご参照ください。

1. 本機の[ワイヤレス機能]をオフにしている場合は、オンに切り替えます。
 - 詳しくは、「[ワイヤレス機能のオン/オフ](#)」をご参照ください。
2. ワイヤレスMIDI & AUDIOアダプターを本機のUSB Type A端子に装着します。
3. スマートデバイスの設定画面を開き、Bluetooth機能がオフの場合はオンに切り替えます。
4. スマートデバイスにインストールした専用アプリの設定画面で、「WU-BT10 MIDI」を選び、本機と接続します。
 - 詳しくは、専用アプリの取扱説明書をご覧ください。
 - スマートデバイスとの接続待ちの間は、本機の操作をしないでください。
 - 接続すると、「 (電源)」ボタンの左側が青く点灯します。

参考

- Bluetooth Low Energy MIDI接続にて専用アプリを使うたびに、上記手順4の操作が必要です。
- 本機と外部機器のBluetooth Low Energy MIDIとBluetoothオーディオを同時に接続すると、外部機器やOSのバージョンによっては、MIDIの動作が不安定になることがあります。このような場合は、Bluetoothオーディオ接続を外部機器の操作で切断してください。

Bluetoothオーディオ接続

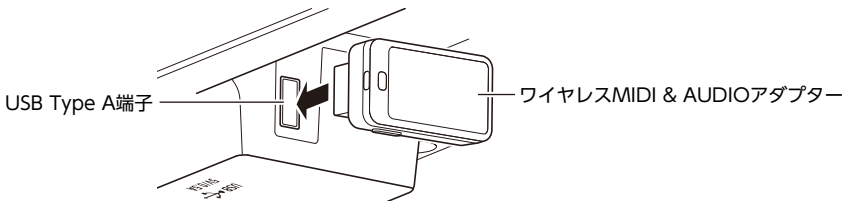
付属のワイヤレスMIDI & AUDIOアダプターを使い、本機とBluetoothオーディオ対応機器（スマートデバイス）をペアリングして、外部機器の再生音を本機のスピーカーから鳴らすことができます。

重要

- ペアリング操作のときは、本機と外部機器の音量を小さめに絞っておいてください。
- 本機で鳴らした外部機器の音が歪んだ音で聞こえる場合は、外部機器の音量を下げてください。
- Bluetoothの特性により、音が遅れて聞こえます。

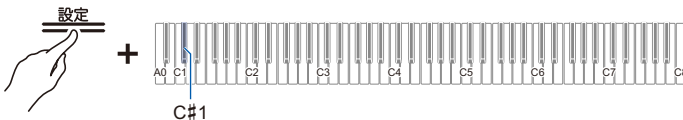
Bluetoothオーディオペアリング

1. ワイヤレスMIDI & AUDIOアダプターを本機のUSB Type A端子に装着します。



2. 外部機器の設定画面を開き、Bluetooth機能がオフの場合はオンに切り替えます。
3. 本機の「設定」ボタンを押さえたまま、C#1鍵盤（ワイヤレスオーディオペアリング）を押します。

設定値を直接選ぶ(操作タイプA)



- ペアリング待機状態となります。
 - ビジュアルインフォメーションバーは2つのバーが左右に動き、ペアリング待機状態であることを示します。
4. 外部機器のBluetooth設定画面で「WU-BT10 AUDIO」を選び、本機とペアリングします。
 - 接続すると、通知音が鳴り、「 (電源)」ボタンの右側が青く点灯します。

■Bluetoothオーディオ接続がうまくいかないときは

1. ペアリング登録を消去します。
 - 詳しくは、「[ペアリング登録の消去](#)」をご参照ください。
2. 外部機器に本機とのペアリング登録情報が残っている場合は、削除します。
 - 外部機器のBluetooth設定画面で、「WU-BT10 AUDIO」を削除します。操作については、外部機器の取扱説明書をご覧ください。
3. Bluetoothオーディオペアリングの操作をやり直します。
 - 詳しくは、「[Bluetoothオーディオペアリング](#)」をご参照ください。

参考

- 最後にBluetoothオーディオ接続した外部機器のペアリング情報は、ワイヤレスMIDI & AUDIOアダプターに登録されます。その後はBluetooth オーディオペアリング操作をしなくても、自動的にBluetoothオーディオ接続されます。

ペアリング登録の消去

本機とBluetoothオーディオ接続した外部機器とのペアリング登録を消去します。

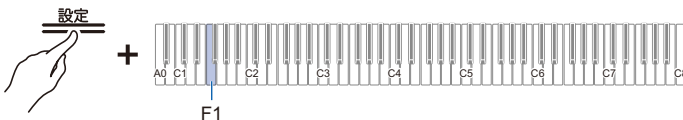
参考

- 下記操作の実行後は、本機とBluetoothオーディオ接続していた外部機器でも、本機とのペアリング登録情報を削除してください。外部機器のBluetooth設定画面で、「WU-BT10 AUDIO」を削除します。操作については、外部機器の取扱説明書をご覧ください。

1. ワイヤレスMIDI & AUDIOアダプターを本機のUSB Type A端子に装着します。
2. 「設定」ボタンを押さえたままにします。

待機状態にしてから、次の押鍵で実行する(操作タイプE)

 - 手順5まで「設定」ボタンを離さないでください。
3. F1 鍵盤 (接続履歴削除) を押します。

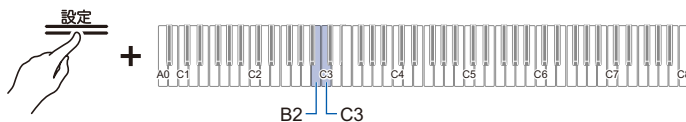


4. C1 鍵盤 (実行) を押して、ペアリング登録を消去します。
5. 「設定」ボタンを離します。

ワイヤレスオーディオ再生音量を調節する

「設定」ボタンを押さえたまま、B2またはC3鍵盤を押します。

+/- 鍵盤で、設定値を1ずつ上下させる (操作タイプB)



- 設定値: 0 (無音) ~ 42 (最大音量)
設定値が10の倍数になると区切り音が鳴ります。
- 初期値: 35

鍵盤	設定
B2	ワイヤレスオーディオの再生音量を1レベル下げる (-)
C3	ワイヤレスオーディオの再生音量を1レベル上げる (+)
B2+C3	ワイヤレスオーディオの再生音量を初期設定に戻す

専用アプリを使う

スマートデバイス用アプリ (CASIO MUSIC SPACE) をダウンロードする

専用アプリCASIO MUSIC SPACEを使うと、本機と連携するさまざまな機能が利用できます。

アプリの主な機能

- ピアノリモートコントローラー
- ピアノロールで練習する
- 曲に合わせて弾く

各機能についての詳細やその他の機能は、CASIO MUSIC SPACEの取扱説明書をご覧ください。

https://web.casio.com/app/ja/music_space/manual/

1. スマートデバイスにCASIO MUSIC SPACEをインストールする

- 下記ウェブサイトの「CASIO MUSIC SPACE ダウンロード」をご覧ください。

<https://support.casio.jp/eml/manual/AP-S5000GP/>



2. 本機とスマートデバイスを接続する

- 接続方法は、ワイヤレス接続とケーブル接続があります。接続方法により、使える機能が異なります。
- Bluetooth Low Energy MIDI接続とUSB MIDI接続は、同時に行わないでください。

アプリの主な機能	ワイヤレスで接続		ケーブルで接続
	Bluetooth Low Energy MIDI接続※2	Bluetoothオーディオ接続※3	USB MIDI接続※4
ピアノリモートコントローラー	○	×	○
ピアノロールで練習する※1	○	×	○
曲に合わせて弾く	×	○	×

CASIO MUSIC SPACEウェブサイト

https://web.casio.com/app/ja/music_space/

※1 この機能を使ってユーザー曲を本機に転送できます。

※2 Bluetooth Low Energy MIDI接続をご参照ください。

※3 Bluetoothオーディオ接続をご参照ください。

※4 スマートデバイスとUSB MIDI接続するをご参照ください。

外部機器とケーブル接続して使う

パソコンやスマートデバイスと接続してMIDIを使う

本機とパソコンまたはスマートデバイスを接続して、演奏情報 (MIDIデータ) の送受信ができます。パソコンの音楽ソフトやスマートデバイスアプリを使って本機の演奏を録音したり、パソコンやスマートデバイスから本機へデータを送って音を鳴らしたりすることができます。

参考

- 本機のMIDIデータ送受信の詳しい仕様や接続情報は、[「最新のサポート情報」](#)をご参照ください。
- MIDI関連の設定については、[「MIDI設定を変える」](#)をご参照ください。

パソコンの動作環境

MIDIデータを送受信するために必要な動作環境は下記のとおりです。お手持ちのパソコンの環境を、必ず事前にご確認ください。

- USB端子
- 対応OS
 - Windows 10※
 - Windows 11
 - macOS 10.15、11、12、13

※ Windows 10 (32bit版、64bit版)

参考

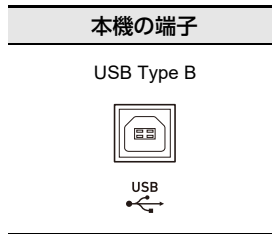
- 最新の対応OS情報は、[「最新のサポート情報」](#)をご参照ください。

パソコンとの接続方法

❗ 重要

- 正しい手順で接続しないとデータの送受信ができなくなる場合があります。必ず次の手順に従って接続してください。
- 接続後は、パソコンの音楽ソフトを起動させる前に、必ず本機の電源を入れておいてください。

1. 本機の電源を切り、パソコンを起動させておきます。
 - パソコンの音楽ソフトは起動させないでください。
2. 市販のUSBケーブルで、パソコンと本機のUSB Type B端子を接続します。
 - ケーブルは、本体側の端子がUSB Type B (USB1.1または2.0) のタイプを使用してください。



3. 本機の電源を入れます。
 - 初めての接続では、データを送受信するために必要なドライバーが自動でパソコンにインストールされます。
4. パソコンの音楽ソフト (市販品) を起動させます。
5. パソコンの音楽ソフト (市販品) の設定で、MIDIデバイスを選びます。
 - デバイス名は「CASIO AP-S5000GP USB」です。
 - MIDIデバイスの選択方法については、お使いの音楽ソフトのマニュアルをご覧ください。

📖 参考

- 1回接続に成功した後は、USBケーブルを接続したままでパソコンや本機の電源を入れなおすことができます。

スマートデバイスの動作環境

スマートデバイスと接続して、MIDI規格を利用したアプリを使用することができます。

動作確認端末は、「[最新のサポート情報](#)」をご参照ください。

- 「動作確認端末 (USB-MIDI接続)」に掲載されている端末での使用を推奨しております。
- 動作確認結果は、その端末での動作を保証するものではありません。
- お使いの環境によっては正しく接続できない場合があります。
- 動作確認済み端末であっても、端末やOSのバージョンアップなどにより正しく動作しなくなる場合があります。

スマートデバイスとUSB MIDI接続する

- データ通信に対応したケーブルを使用してください。
- 充電専用のケーブルはお使いいただけません。

1. 本機とスマートデバイスの電源を入れます。
2. 接続ケーブルで、スマートデバイスと本機のUSB Type B端子を接続します。
 - 接続ケーブルは、下記ウェブサイトの「ケーブル接続 (USBケーブル)」をご覧ください。
https://web.casio.com/app/ja/music_space/support/connect.html
3. スマートデバイスでMIDI対応アプリを起動します。
 - カシオ専用アプリをご使用の場合、正常に接続できると、スマートデバイスの画面に「接続中」と表示された後、「接続しました」というメッセージが表示されます。

本機の音をアンプやオーディオ機器に出力する

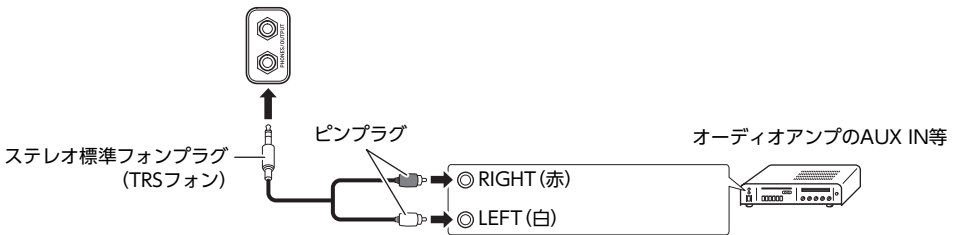
オーディオ機器や楽器用アンプと接続すれば、それらの機器のスピーカーの能力に応じた、より迫力のある音量や音質で、演奏を楽しめます。接続には、市販の接続コードを使用します。

❗ 重要

- 接続するときはすべての外部機器の電源を切ってください。また、電源のオンオフ操作のときは本機と外部機器の音量設定を最小に絞っておいてください。
- 接続した後は本機、外部機器の順番で電源を入れてください。
- 外部機器で鳴らした本機の音が歪んだ音で聞こえる場合は、本機の音量を下げてください。
- オーディオやアンプと接続するときは、ヘッドホンモードをオフに設定してください。

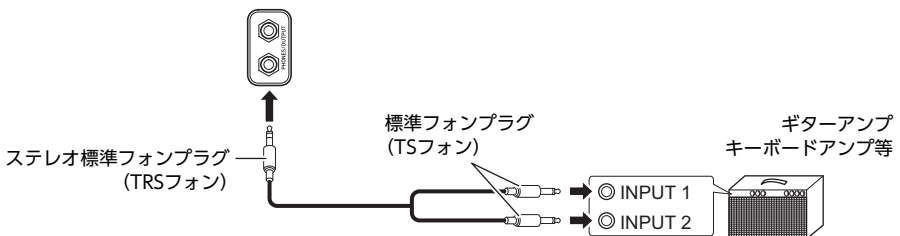
オーディオ機器と接続する

市販の接続コードで図のように接続してください。本機につなぐプラグは、ステレオ標準フォンプラグ (TRS フォン) のものをご利用ください。標準フォンプラグ (TS フォン) では、ステレオ出力の片側分の音しか出ません。通常はオーディオ機器のインプットセレクターを、接続した端子 (AUX IN 等) に切り替えます。



楽器用アンプと接続する

接続する機器に応じて、市販の接続コードで図のように接続してください。アンプにつなぐ側は、左右両チャンネルの信号が入るようにしてください。どちらが欠けても、ステレオ出力の片側分の音しか出ません。



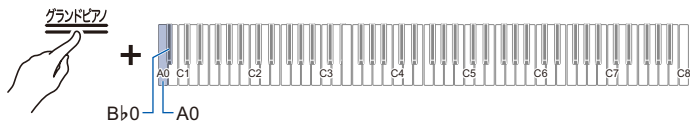
設定を変更する

アップパー1パートの設定を変える

アップパー1パートの音量を調節する

「グランドピアノ」ボタンを押さえたまま、A0またはB♭0鍵盤を押します。

+/- 鍵盤で、設定値を1ずつ上下させる (操作タイプB)



- 設定値: 0 (無音) ~ 42 (最大音量)
設定値が10の倍数になると区切り音が鳴ります。
- 初期値: 42

鍵盤	設定
A0	アップパー1パートの音量を1レベル下げる (-)
B♭0	アップパー1パートの音量を1レベル上げる (+)
A0+B♭0	アップパー1パートの音量を初期設定に戻す

アップパー2パートの設定を変える

アップパー2パートの音量を調節する

「グランドピアノ」ボタンを押さえたまま、C#7またはD7鍵盤を押します。

+/- 鍵盤で、設定値を1ずつ上下させる (操作タイプB)



- 設定値: 0 (無音) ~ 42 (最大音量)
設定値が10の倍数になると区切り音が鳴ります。
- 初期値: 26

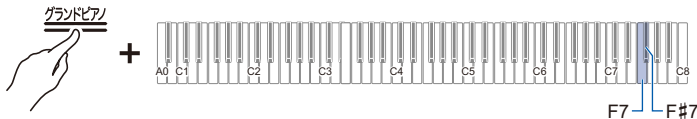
鍵盤	設定
C#7	アップパー2パートの音量を1レベル下げる (-)
D7	アップパー2パートの音量を1レベル上げる (+)
C#7+D7	アップパー2パートの音量を初期設定に戻す

アップパー2パートのチューニングを微調整する (アップパー2 デチューン)

アップパー1パートに対するアップパー2パートの相対的な音の高さを微調整します。

「グランドピアノ」ボタンを押さえたまま、F7またはF#7鍵盤を押します。

+/- 鍵盤で、設定値を1ずつ上下させる (操作タイプB)



- 設定値: -99セント ~ +99セント (100セント = 1半音)
設定値が10の倍数になると区切り音が鳴ります。
- 初期値: 0セント

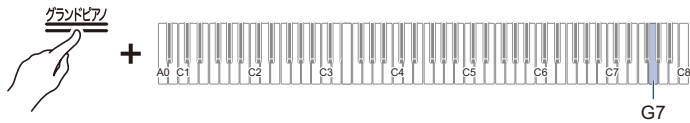
鍵盤	設定
F7	アップパー2パートの音の高さを1セント下げる (-)
F#7	アップパー2パートの音の高さを1セント上げる (+)
F7+F#7	アップパー2パートの音の高さをアップパー1パートと同じにする (初期設定)

アップー2パートのダンパーペダルの効果のオン/オフ

アップー2パートに対するダンパーペダルの効果をかけるか、かけないかを設定します。

「グランドピアノ」ボタンを押さえたまま、G7鍵盤（アップー2 ダンパー）を押します。

1つの鍵盤でオン/オフの切り替えや、設定値を変更する (操作タイプD)



• 初期値: オン

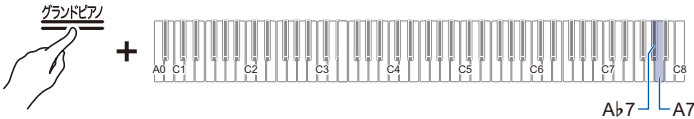
設定値	設定内容
オフ	ダンパーペダル効果をオフにします。
オン	ダンパーペダル効果をオンにします。

ロワーパートの設定を変える

ロワーパートの音量を調節する

「グランドピアノ」ボタンを押さえたまま、A♭7またはA7鍵盤を押します。

+/- 鍵盤で、設定値を1ずつ上下させる (操作タイプB)



- 設定値: 0 (無音) ~ 42 (最大音量)
設定値が10の倍数になると区切り音が鳴ります。
- 初期値: 42

鍵盤	設定
A♭7	ロワーパートの音量を1レベル下げる (-)
A7	ロワーパートの音量を1レベル上げる (+)
A♭7 + A7	ロワーパートの音量を初期設定に戻す

ロワーパートのチューニングを微調整する (ロワー デチューン)

アップパー1パートに対するロワーパートの相対的な音の高さを微調整します。

「グランドピアノ」ボタンを押さえたまま、B♭7またはB7鍵盤を押します。

+/- 鍵盤で、設定値を1ずつ上下させる (操作タイプB)



- 設定値: -99セント ~ +99セント (100セント = 1半音)
設定値が10の倍数になると区切り音が鳴ります。
- 初期値: 0セント

鍵盤	設定
B♭7	ロワーパートの音の高さを1セント下げる (-)
B7	ロワーパートの音の高さを1セント上げる (+)
B♭7 + B7	ロワーパートの音の高さをアップパー1パートと同じにする (初期設定)

ローパートのダンパーペダルの効果のオン/オフ

ローパートに対するダンパーペダルの効果をかけるか、かけないかを設定します。

「グランドピアノ」ボタンを押さえたまま、C8鍵盤（ロー ダンパー）を押します。

1つの鍵盤でオン/オフの切り替えや、設定値を変更する（操作タイプD）



・ 初期値: オフ

設定値	設定内容
オフ	ダンパーペダル効果をオフにします。
オン	ダンパーペダル効果をオンにします。

楽器の設定を保存する（オートレジューム）

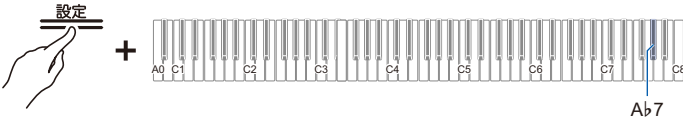
「オートレジューム」を<オン>に設定すると、本機の電源を切ってもほとんどの設定が保持されます。

・ 「オートレジューム」のオン/オフにかかわらず、保持される設定は以下です。

A音のチューニング設定、ビジュアルインフォメーションバーの明るさ/オフ設定、ワイヤレス接続通知音の音量、タッチボタン設定、通知音の設定、オートレジューム設定

「設定」ボタンを押さえたまま、Ab7鍵盤（オートレジューム）を押します。

1つの鍵盤でオン/オフの切り替えや、設定値を変更する（操作タイプD）



・ 初期値: オフ

設定値	設定内容
オフ	オートレジュームをオフにします。
オン	オートレジュームをオンにします。

工場出荷時の状態に戻す(ファクトリーリセット)

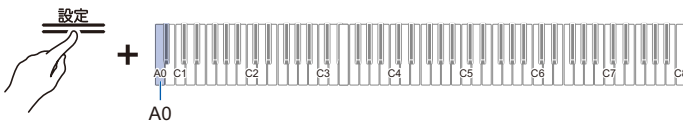
本機のデータや設定などシステムの内容をすべて初期化して、工場から出荷したときの状態に戻すことができます。

1. 「設定」ボタンを押さえたままにします。

待機状態にしてから、次の押鍵で実行する(操作タイプE)

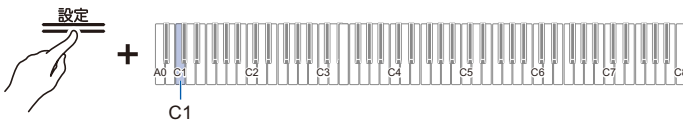
2. A0鍵盤(ファクトリーリセット)を押します。

- 初期化の待機状態になり、「設定」ボタンが点滅します。
- 次の操作で初期化が実行されます。初期化をやめるには、ここで「設定」ボタンを離してください。



3. 初期化を実行するには、C1鍵盤(実行)を押します。

- 初期化が開始されます。



4. 「設定」ボタンを離します。

- 初期化には、しばらく時間がかかることがあります。完了するまでお待ちください。初期化が完了すると、本機パネル部のすべてのタッチボタン(設定〜グランドピアノ)が点灯します。

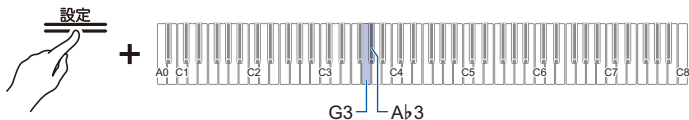
音量のバランスを調節する

全体の音量に対する、鍵盤演奏、MIDI曲の再生、オーディオ曲の再生、ワイヤレスオーディオ再生それぞれの音量を個別に調節できます。

鍵盤音の音量

「設定」ボタンを押さえたまま、G3またはA♭3鍵盤を押します。

+/- 鍵盤で、設定値を1ずつ上下させる (操作タイプB)



- 設定値: 0 (無音) ~ 42 (最大音量)
設定値が10の倍数になると区切り音が鳴ります。
- 初期値: 42

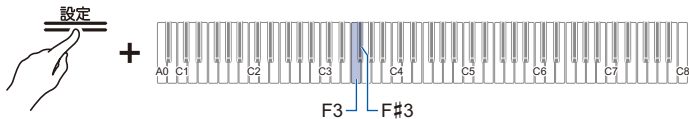
鍵盤	設定
G3	鍵盤音の音量を1レベル下げる (-)
A♭3	鍵盤音の音量を1レベル上げる (+)
G3 + A♭3	鍵盤音の音量を初期設定に戻す

MIDI曲の音量

内蔵曲、ユーザー曲、MIDIレコーダー曲、USBメモリー曲の再生音量を調節します。

「設定」ボタンを押さえたまま、F3またはF#3鍵盤を押します。

+/- 鍵盤で、設定値を1ずつ上下させる (操作タイプB)



- 設定値: 0 (無音) ~ 42 (最大音量)
設定値が10の倍数になると区切り音が鳴ります。
- 初期値: 42

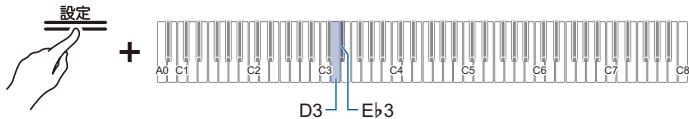
鍵盤	設定
F3	MIDI曲の再生音量を1レベル下げる (-)
F#3	MIDI曲の再生音量を1レベル上げる (+)
F3 + F#3	MIDI曲の再生音量を初期設定に戻す

オーディオ曲の再生音量

USBメモリーに保存されているオーディオデータ (WAVファイル、MP3ファイル) の再生音量を調節します。

「設定」ボタンを押さえたまま、D3またはE♭3鍵盤を押します。

+/- 鍵盤で、設定値を1ずつ上下させる (操作タイプB)



- 設定値:0 (無音) ~42 (最大音量)
設定値が10の倍数になると区切り音が鳴ります。
- 初期値:35

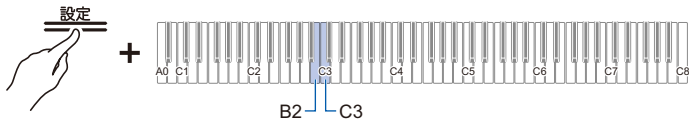
鍵盤	設定
D3	オーディオ曲の再生音量を1レベル下げる (-)
E♭3	オーディオ曲の再生音量を1レベル上げる (+)
D3+E♭3	オーディオ曲の再生音量を初期設定に戻す

ワイヤレスオーディオ再生音量

ワイヤレスオーディオの再生音量を調節します。

「設定」ボタンを押さえたまま、B2またはC3鍵盤を押します。

+/- 鍵盤で、設定値を1ずつ上下させる (操作タイプB)



- 設定値:0 (無音) ~42 (最大音量)
設定値が10の倍数になると区切り音が鳴ります。
- 初期値:35

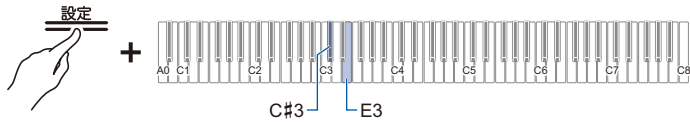
鍵盤	設定
B2	ワイヤレスオーディオの再生音量を1レベル下げる (-)
C3	ワイヤレスオーディオの再生音量を1レベル上げる (+)
B2+C3	ワイヤレスオーディオの再生音量を初期設定に戻す

センターキャンセル機能

[センターキャンセル]を<オン>にすると、再生音のボーカルがカット（消去、低減）されます。センター定位の音をキャンセルする機能なので、ボーカル以外の音もカットされることがあります。効果の度合いは、再生するオーディオデータによって異なります。

「設定」ボタンを押さえたまま、C#3またはE3鍵盤を押します。

1つの鍵盤でオン/オフの切り替えや、設定値を変更する（操作タイプD）



ワイヤレスオーディオセンターキャンセル (C#3鍵盤)

・ 初期値: オフ

設定値	設定内容
オフ	ワイヤレスオーディオセンターキャンセルをオフにします。
オン	ワイヤレスオーディオセンターキャンセルをオンにします。ワイヤレスオーディオのセンター定位の音をキャンセルします。

オーディオ曲センターキャンセル (E3鍵盤)

・ 初期値: オフ

設定値	設定内容
オフ	オーディオ曲センターキャンセルをオフにします。
オン	オーディオ曲センターキャンセルをオンにします。オーディオ曲のセンター定位の音をキャンセルします。

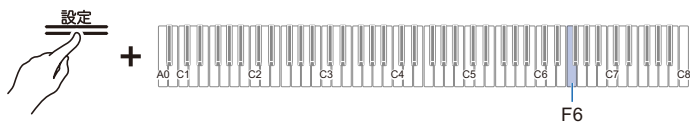
MIDI設定を変える

ローカルコントロール

[ローカルコントロール] を<オフ>にすると、本機による演奏情報 (MIDIデータ) は出力されますが、本機自体の音は出なくなります。MIDIデータを外部機器のみに送信するための設定です。

「設定」ボタンを押さえたまま、F6鍵盤 (ローカルコントロール) を押します。

1つの鍵盤でオン/オフの切り替えや、設定値を変更する (操作タイプD)



- 初期値: オン

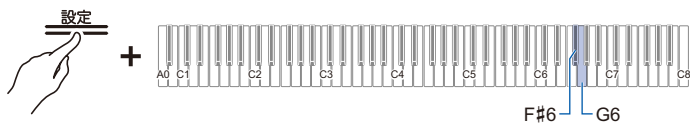
設定値	設定内容
オフ	ローカルコントロールをオフにします。
オン	ローカルコントロールをオンにします。

送信チャンネル

本機の鍵盤演奏情報を外部機器に送信するときを使うMIDIチャンネルを設定します。

「設定」ボタンを押さえたまま、F#6またはG6鍵盤を押します。

+/- 鍵盤で、設定値を1ずつ上下させる (操作タイプB)



- 設定値: 1ch~16ch
- 初期値: 1ch

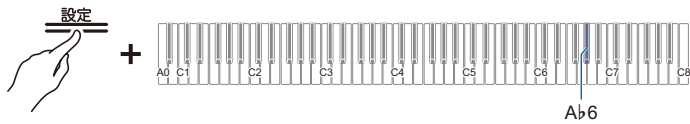
鍵盤	設定
F#6	送信チャンネルを1下げる (-)
G6	送信チャンネルを1上げる (+)
F#6 + G6	送信チャンネルを初期設定に戻す

ハイレゾベロシティのMIDI出力

鍵盤を弾いたときのタッチ強弱 (Velocity) を高分解能でMIDI出力するか<オン>、しないか<オフ>を設定します。

「設定」ボタンを押さえたまま、A♭6鍵盤 (ハイレゾベロシティのMIDI出力) を押します。

1つの鍵盤でオン/オフの切り替えや、設定値を変更する (操作タイプD)



• 初期値: オフ

設定値	設定内容
オフ	ハイレゾベロシティのMIDI出力をオフにします。
オン	ハイレゾベロシティのMIDI出力をオンにします。

ビジュアルインフォメーションバーの表示を設定する

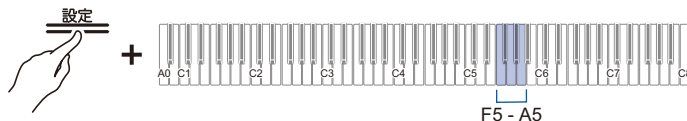
メトロノームの拍子や鍵盤を弾いたときのタッチ強弱（ペロシティ）、ダンパーペダルの踏み込む深さなどに合わせて、さまざまな点灯パターンを表示します。

表示設定を変更する

表示設定によってビジュアルインフォメーションバーの点灯パターンが変わります。

「設定」ボタンを押さえたまま、F5～A5鍵盤のいずれか1つを押します。

設定値を直接選ぶ(操作タイプA)



- 初期値：オート
- <オート>以外の表示設定にすると、選んだ設定の動作や操作をしたときだけ点灯します。

鍵盤	表示設定	設定内容
F5	オート	本機での演奏や操作に応じて、表示対象が自動で切り替わります。
F#5	メトロノーム	メトロノームの再生時のみ、拍子に合わせて点灯します。点灯パターンの切り替えができます。
G5	キーボード	鍵盤を弾いたときのタッチ強弱（ペロシティ）や、本機で再生している曲のペロシティに合わせて点灯します。
A♭5	ペダル	ダンパーペダルの踏み込む深さに合わせて点灯します。
A5	オーディオ	ワイヤレスオーディオの入力信号に合わせて点灯します。点灯パターンの切り替えができます。

以下の操作は表示設定にかかわらず、ビジュアルインフォメーションバーが点灯します。

- デモ曲再生時：曲のペロシティに合わせて点灯します。
- 鍵盤操作で各種設定中：設定した値や値の目安が点灯します。
- インスタントリプレイヤー再生時：現在の再生位置が、録音全体のどの辺りかの目安を点灯します。
- CASIO MUSIC SPACEと接続してライブ体験機能を動作中：アプリからのオーディオ入力に応じて点灯します。

参考

- 表示設定が<オート>の場合、ワイヤレスオーディオの入力信号に合わせてビジュアルインフォメーションバーは点滅しません。表示設定を<オーディオ>に設定してください。

■点灯パターンの切り替え

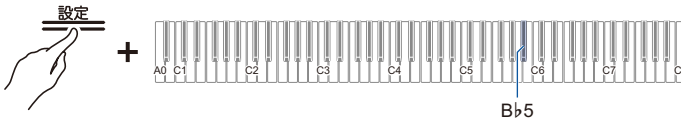
表示設定が<メトロノーム>と<オーディオ>のとき、点灯パターンの切り替えができます。

メトロノームタイプ

メトロノームの拍子に合わせてビジュアルインフォメーションバーが拍子を表示します。[メトロノームタイプ]設定で、拍子の表示を5つのタイプから選べます。

「設定」ボタンを押さえたまま、B $\flat$ 5鍵盤(メトロノームタイプ)を押します。

1つの鍵盤でオン/オフの切り替えや、設定値を変更する(操作タイプD)

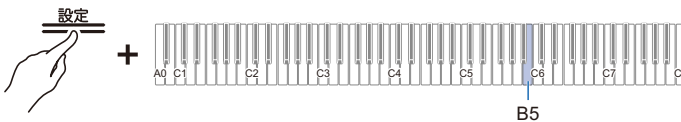


オーディオイルミネーションタイプ

ワイヤレスオーディオの入力信号に合わせてビジュアルインフォメーションバーが点滅して、イルミネーションの演出を楽しめます。[オーディオイルミネーションタイプ]設定で、イルミネーションの演出の表示を4つのタイプから選べます。

「設定」ボタンを押さえたまま、B5鍵盤(オーディオイルミネーションタイプ)を押します。

1つの鍵盤でオン/オフの切り替えや、設定値を変更する(操作タイプD)

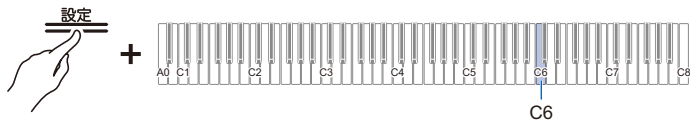


明るさの設定と消灯

ビジュアルインフォメーションバーの明るさが気になるときは、明るさを抑えたり、消灯したりすることができます。

「設定」ボタンを押さえたまま、C6鍵盤(明るさ/オフ)を押します。

1つの鍵盤でオン/オフの切り替えや、設定値を変更する(操作タイプD)



• 初期値:2

設定値	通知音	設定内容
オフ	オフ音	ビジュアルインフォメーションバーを消灯します。
1	番号通知音1回	ビジュアルインフォメーションバーの明るさを抑えて表示します。
2	番号通知音2回	ビジュアルインフォメーションバーを通常の明るさで表示します。

本体設定

電源切り忘れお知らせ機能

[電源切り忘れお知らせ機能]が働くか<オン>、働かないか<オフ>を設定します。

詳しくは、「[電源切り忘れお知らせ機能について](#)」をご参照ください。

「設定」ボタンを押さえたまま、F#7鍵盤(電源切り忘れお知らせ機能)を押します。

1つの鍵盤でオン/オフの切り替えや、設定値を変更する(操作タイプD)



・初期値: オン

設定値	設定内容
オフ	電源切り忘れお知らせ機能をオフにします。
オン	電源切り忘れお知らせ機能をオンにします。

オートパワーオフ機能

[オートパワーオフ機能]が働くか<オン>、働かないか<オフ>を設定します。

詳しくは、「[オートパワーオフ機能について](#)」をご参照ください。

「設定」ボタンを押さえたまま、Bb0鍵盤(オートパワーオフ機能)を押します。

1つの鍵盤でオン/オフの切り替えや、設定値を変更する(操作タイプD)



・初期値: オン

設定値	設定内容
オフ	オートパワーオフ機能をオフにします。
オン	オートパワーオフ機能をオンにします。

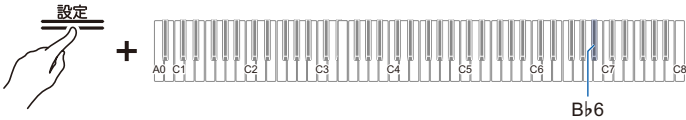
⚠ 警告

[オートパワーオフ機能]を<オフ>に設定すると自動で電源が切れなくなりますので電力を消費し続けます。

タッチボタンの明るさ

「設定」ボタンを押さえたまま、B♭6鍵盤（タッチボタンの明るさ）を押します。

1つの鍵盤でオン/オフの切り替えや、設定値を変更する（操作タイプD）



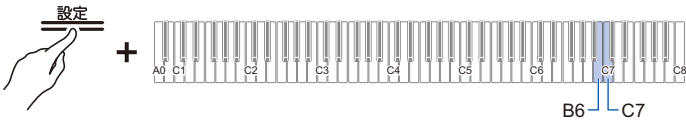
- 初期値: 2

設定値	設定内容
1	タッチボタンの明るさを控えめにします。
2	タッチボタンの明るさを明るめにします。

左パネルタッチボタンの感度

「設定」ボタンを押さえたまま、B6またはC7鍵盤を押します。

+/- 鍵盤で、設定値を1ずつ上下させる（操作タイプB）



- 設定値: -1 (低感度) ~ 0 (標準) ~ +1 (高感度)
- 初期値: 0

鍵盤	設定
B6	タッチボタン感度を1下げる (-)
C7	タッチボタン感度を1上げる (+)

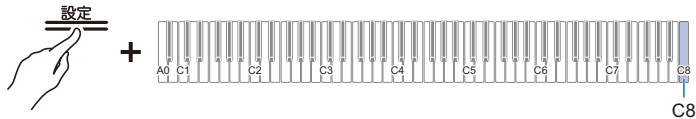
操作のロック

[操作のロック]を<オン>にすると、ボタン操作※を無効にします。<オート>にすると演奏中のみ自動的に操作をロックするので、演奏中の誤操作を防止できます。

※ 電源ボタンと操作のロックの解除は除きます。

「設定」ボタンを押さえたまま、C8鍵盤(操作のロック)を押します。

1つの鍵盤でオン/オフの切り替えや、設定値を変更する(操作タイプD)



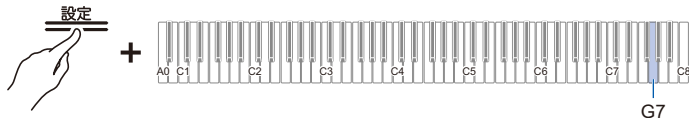
• 初期値: オフ

設定値	通知音	設定内容
オフ	オフ音	操作のロックを解除します。
オン	番号通知音1回	常に操作をロックします。
オート	番号通知音2回	演奏中のみ操作をロックします。

パネル消灯設定の切り替え

「設定」ボタンを押さえたまま、G7鍵盤(パネル消灯設定)を押します。

1つの鍵盤でオン/オフの切り替えや、設定値を変更する(操作タイプD)



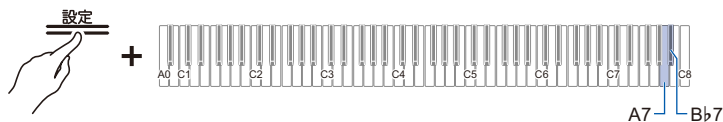
• 初期値: 15秒

設定値	通知音	設定内容
オフ	オフ音	タッチボタンが消灯しません。
5秒	番号通知音1回	左パネル操作をせずに設定時間が経過すると、すべてのタッチボタンが消灯します。
15秒	番号通知音2回	
30秒	番号通知音3回	
60秒	番号通知音4回	
120秒	番号通知音5回	

通知音の音量

「設定」ボタンを押さえたまま、A7またはB $\flat$ 7鍵盤を押します。

+/- 鍵盤で、設定値を1ずつ上下させる (操作タイプB)



- 設定値: 0 (無音) ~ 10 (最大音量)
- 初期値: 5

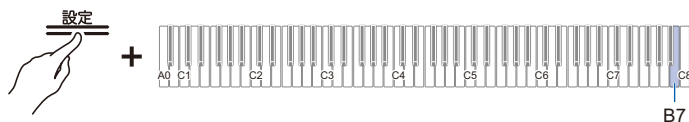
鍵盤	設定
A7	通知音の音量を1レベル下げる (-)
B $\flat$ 7	通知音の音量を1レベル上げる (+)
A7 + B $\flat$ 7	通知音の音量を初期設定に戻す

通知音セットの切り替え

3種類の異なる通知音セットから好みの通知音を選ぶことができます。

「設定」ボタンを押さえたまま、B7鍵盤 (通知音セットの切り替え) を押します。

1つの鍵盤でオン/オフの切り替えや、設定値を変更する (操作タイプD)

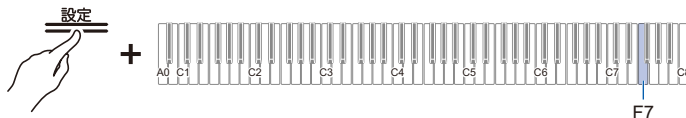


ボリュームシンクイコライザー

音量つまみの設定の大小に応じて、自動的に音質を補正します。小さい音量でも低音や高音がしっかりと聞こえるようになります。

「設定」ボタンを押さえたまま、F7鍵盤(ボリュームシンクイコライザー)を押します。

1つの鍵盤でオン/オフの切り替えや、設定値を変更する(操作タイプD)



• 初期値:中

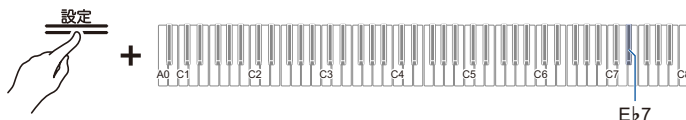
設定値	通知音	設定内容
オフ	オフ音	音質を補正しません。
弱	番号通知音1回	音質を弱めに補正します。
中	番号通知音2回	標準的な補正。
強	番号通知音3回	音質を強めに補正します。

スピーカーアウト

本機のスピーカーから音を出すか、出さないかを設定します。

「設定」ボタンを押さえたまま、Eb7鍵盤(スピーカーアウト)を押します。

1つの鍵盤でオン/オフの切り替えや、設定値を変更する(操作タイプD)



• 初期値:オート

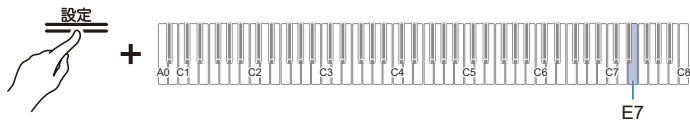
設定値	通知音	設定内容
オフ	オフ音	本機のスピーカーから音を出しません。
オン	番号通知音1回	本機のスピーカーから音を出します。
オート	番号通知音2回	PHONES/OUTPUT端子にプラグを挿入しているときは、本機のスピーカーから音を出しません。挿入していないときは、音を出します。

ヘッドホンモード

ヘッドホンを使用しているときに、アコースティックピアノを弾いているとき耳に届くような自然な音の広がり方を再現します。

「設定」ボタンを押さえたまま、E7鍵盤(ヘッドホンモード)を押します。

1つの鍵盤でオン/オフの切り替えや、設定値を変更する(操作タイプD)



• 初期値: オン

設定値	設定内容
オフ	ヘッドホンモードをオフにします。
オン	ヘッドホンモードをオンにします。

参考

• ヘッドホンモードの設定は、PHONES/OUTPUT端子にプラグが挿入されているときに有効になります。

困ったときは

インスタントリプレイヤーを無効にできない。

- 原因: [リプレイヤー/レコーダー]の設定が<インスタントリプレイヤー>になっている。
- 対処: [リプレイヤー/レコーダー]の設定を<インスタントリプレイヤー>以外(<MIDIレコーダー>など)に切り替える。
[リプレイヤー/レコーダー]の設定を<MIDIレコーダー>に切り替える操作は、「[MIDIレコーダー使用前の準備](#)」をご参照ください。

タッチボタンが反応しない。

- 原因: a. タッチボタンに手袋をした手でタッチしたり、爪やスタイラスなどでタッチした。
b. タッチボタン感度の設定が適正でない。
- 対処: a. 素手の指でしっかりとタッチボタンにタッチする。
b. タッチボタンの感度設定を変更する。詳しくは、「[タッチボタンが反応しないときは](#)」をご参照ください。

鍵盤を押しても音が出ない。

- 原因: a. 音量つまみで音量が絞られている。
b. ヘッドホンがつながっている。またはヘッドホンの変換プラグがPHONES/OUTPUT端子に残っている。
c. [ローカルコントロール]の設定が<オフ>になっている。
d. [スピーカーアウト]の設定が<オフ>になっている。
- 対処: a. 音量つまみを動かす。
b. ヘッドホンまたは変換プラグをPHONES/OUTPUT端子から抜く。
c. [ローカルコントロール]の設定を<オン>にする。詳しくは、「[ローカルコントロール](#)」をご参照ください。
d. [スピーカーアウト]の設定を<オート>または<オン>にする。詳しくは、「[スピーカーアウト](#)」をご参照ください。

ピッチがずれて聞こえる。

- 原因: a. 鍵盤の調(トランスポーズ)が初期設定から変更されている。
b. 音の高さの微調整(チューニング)の設定が440.0Hz以外になっている。
c. オクターブシフトが設定されている。
d. 音律が平均律以外に設定されている。
- 対処: a. [トランスポーズ]の設定を初期設定に戻す。または、電源を入れ直す。詳しくは、「[半音単位で変える\(トランスポーズ\)](#)」をご参照ください。
b. [チューニング]の設定を440.0Hzにする。アップパー2デチューン、ロワーデチューンを初期設定に戻す。詳しくは、「[微調整する\(A音のチューニング\)](#)」、「[アップパー2パートのチューニングを微調整する\(アップパー2デチューン\)](#)」、「[ロワーパートのチューニングを微調整する\(ロワーデチューン\)](#)」をご参照ください。
c. オクターブシフトの設定を0にする。詳しくは、「[オクターブ単位で変える\(オクターブシフト\)](#)」をご参照ください。
d. 音律の設定を平均律にする。

ペダルを踏んでも効果がからない。

原因:	PEDAL UNIT端子に、ペダルのコードが正しく接続されていない。または、プラグの差し込み方が不完全になっている。
対処:	ペダルのコードが正しく接続されているか、プラグがしっかりと端子に差し込まれているかを確認する。

弾き方(タッチ)を変えても音に強弱がつかない。

原因:	[タッチレスポンス]が<オフ>になっている。
対処:	[タッチレスポンス]をオフ以外の設定にする。詳しくは、 [鍵盤を押す強弱で音量を変える(タッチレスポンス)] をご参照ください。

電源を入れ直しても、音の鳴り方やエフェクトなどが変わらない(本機の初期設定に戻らない)。

原因:	[オートレジューム]が<オン>になっている。
対処:	[オートレジューム]を<オフ>にして、電源を入れ直す。詳しくは、 [楽器の設定を保存する(オートレジューム)] をご参照ください。

パソコンと接続したとき、MIDIの送受信ができない。

対処:	- 本機とパソコンがUSBケーブルで正しく接続されているか、あるいはパソコンの音楽ソフトの設定でデバイスが正しく選ばれているか確認する。 - 本機の電源を切ってパソコンの音楽ソフトを終了させてから、本機の電源を入れてパソコンの音楽ソフトを再起動させてみる。
-----	---

同じ音色で鍵盤の位置によって音質や音量が若干異なる音色がある。

原因:	デジタルサンプリングという電子処理※によって発生する音域の境目で、故障ではありません。
	※ 元になっている楽器音の音域ごとの音質を再現するために、低域・中域・高域など複数の音域ごとに元の楽器音を録音し、ひとつの音色に仕上げる処理。

ボタン操作をすると、鳴っている音が一時的に途切れたり、音質が若干変わったように聞こえたりする。

原因:	レイヤー機能、デュエット機能、内蔵曲の演奏、録音機能などを使用しているときは、複数のパートの音が同時に鳴っています。こうした場合にボタンを操作すると、音色固有の内部エフェクト設定が自動的に変更されて、パートによってはこのような現象が発生することがありますが、故障ではありません。
-----	---

ユーザー曲を削除する操作がわからない。

対処:	ユーザー曲の削除は、本機と接続したスマートデバイスから実行できます。詳しくは、専用アプリの説明書をご参照ください。 https://web.casio.com/app/ja/music_space/manual/
-----	--

USBメモリーに直接録音した曲がうまく再生できない。

対処:	USBメモリーを、パソコンでexFAT形式でフォーマットしてから、楽器でフォーマットしてみてください。詳しくは、 [USBメモリーをフォーマットする] をご参照ください。
-----	---

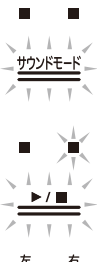
エラー表示一覧

エラーが発生した場合、ビジュアルインフォメーションバーは分割されたバーが交互に点滅（エラー表示）します。

タッチボタンとインジケーターは表示のイラストのように点滅します。

表示	原因	解決方法
	本機のUSB Type A端子にUSBメモリーが正しく挿入されていない。	USB Type A端子にUSBメモリーを正しく挿入する。
	操作の途中でUSBメモリーが抜き差しされた。	本機の操作中にはUSBメモリーを動かさない。
	USBメモリーがプロテクトされている。	USBメモリーのプロテクトを解除する。
	USBメモリーにウイルス対策ソフトが入っている。	ウイルス対策ソフトが入っていないUSBメモリーを使う。
	読み込み対象フォルダの中に読み込みや再生ができるファイルが無い。	読み込みや再生したいファイルを読み込み対象フォルダへ移動する。詳しくは、「MIDIの曲データをパソコンでUSBメモリーにコピーする」、「オーディオデータ(WAV、MP3)をパソコンでUSBメモリーにコピーする」をご参照ください。
	録音データが無いのにUSBメモリーに保存しようとした。	録音してから保存する。

表示	原因	解決方法
  左 右	USBメモリーに入っている読み込み専用ファイルと同じ名前で、別データを保存しようとしている。	• USBメモリーのファイルを別の名前に変えてから保存する。 • USBメモリーのファイルから読み込み専用属性を外して、上書き保存する。 • 別のUSBメモリーを使う。
  左 右	USBメモリーの空き領域が足りない。	• USBメモリーに保存しているファイルを消去して、空き領域を増やす。 • 別のUSBメモリーを使う。
  左 右	オーディオレコーダーの上限曲数(99曲)を超えて、録音を開始しようとした。USBメモリーのAUDIORECフォルダ内に、TAKE99.WAVまたはTAKE99.MP3がすでにある。	パソコンを使って、USBメモリーのAUDIORECフォルダ内にあるTAKE**.WAV(** = 01～99)またはTAKE**.MP3(** = 01～99)を別のフォルダやドライブに移動する。
  左 右	SMFフォーマット2のファイルを読み込もうとしたり、再生しようとした。	本機で読み込みや再生が可能なSMFのフォーマットは、“0”または“1”です。

表示	原因	解決方法
	USBメモリーのSMFファイルのサイズが大きすぎて本機で再生できない。	本機では最大で約320KBのSMFファイルまで再生できます。
	USBメモリーのデータが壊れている。	—
	MIDIレコーダー曲をSMFに変換してUSBメモリに保存するために必要な、本機のメモリー空き領域が不足している。	• 曲のデータサイズを小さくする。 • 削除できるトラックのデータを消去する。
	USBメモリーのファイルのバージョンが、本機で対応していないバージョンになっている。	本機が対応しているバージョンのファイルを用意する。

表示	原因	解決方法
 	USBメモリーのフォーマットが本機に適合していない。 USBメモリーが壊れている。	- パソコン等を使って、USBメモリーを本機に対応したフォーマットに変更する。詳しくは、「USBメモリーをフォーマットする」をご参照ください。 - 別のUSBメモリーを使う。 別のUSBメモリーを使う。
 	USB Type A端子にワイヤレスMIDI & AUDIOアダプターが装着されていない。	ワイヤレスMIDI & AUDIOアダプターをUSB Type A端子に装着する。

各種情報

製品仕様

型式	AP-S5000GP/AP-S5000GP-GB
鍵盤	88鍵
設定	ハンマーレスポンス、キーオフレスポンス
デュエット	音域変更可(−2〜+2オクターブ)
トランスポーズ	−12〜0〜+12半音
オクターブシフト	−2〜0〜+2オクターブ
音源	
音色数	26(全鍵盤用音色25+低域専用ベース音色1) レイヤー可(ベース音色を除く) スプリット可(低域はベース音色のみ)
同時発音数	最大256音
タッチレスポンス機能	感度設定5種類、オフ
チューニング	415.5Hz〜440.0Hz〜465.9Hz(0.1Hz単位)
音律	平均律+16種類
アコースティック シミュレーター	キーオフシミュレーター、ストリングレゾナンス、ダンパーレゾナンス、ダンパーノイズ、キーオンアクションノイズ、キーオフアクションノイズ
デジタルエフェクト	
サウンドモード	ホールシミュレーター(8種)、リバーブ(8種)、サラウンド(2種)
その他エフェクト	コーラス(4種)、プリリアンス(−12〜0〜+12)、ヘッドホンモード
デモ曲	4曲
ミュージックライブラリー	
内蔵曲	60曲
ユーザー曲	10曲(1曲あたり最大約320KB、10曲で約3.2MB)※ ※ 表記容量は、1KB=1024バイト、1MB=1024 ² バイト換算です。
曲の音量	調節可(録音機能と兼用)
パートのオン/オフ	左、右
MIDIレコーダー	
曲数	MIDIデータとしてリアルタイム録音、再生 1曲
録音トラック数	2トラック
容量	合計約30,000音符
録音内容の保持	内蔵フラッシュメモリー
曲の音量	調節可(ミュージックライブラリーと兼用)
インスタントリプレイヤー	
容量	リアルタイム録音、再生 270秒
録音内容の保持	内蔵フラッシュメモリー
コントローラー	戻り秒数指定/マーク指定再生、停止
曲の音量	調節可(ミュージックライブラリーと兼用)

オーディオレコーダー	オーディオデータとしてリアルタイム録音、再生
曲数	99曲(ファイル)
ファイル形式	録音・再生:WAV形式(リニアPCM、16bit、44.1kHz、ステレオ) 再生のみ:MP3形式(MPEG-1 Audio Layer3、32~320kbps/可変ビットレート(VBR)対応、44.1kHz/48kHz、モノラル/ステレオ)
最大録音時間	1ファイルあたり約25分
録音内容の保持	USBメモリー
メトロノーム	
拍子ベル音	オフ、1~9(拍子)
テンポ範囲	20~255
速度標語によるテンポ設定	9種類
音量	調節可
ペダル	ダンパー(連続可変)、ソステヌート(オフ、オン)、ソフト(オフ、オン)
その他の機能	・オートレジューム ・操作のロック ・通知音設定(セット1~セット3切り替え可、音量調節可)
MIDI	16chマルチティンバー受信
入出力端子	
PHONES/OUTPUT端子	ステレオ標準フォンジャック(TRSフォン)×2
電源端子	DC24V
USB端子	Type A、Type B
PEDAL UNIT端子	専用形状
音響	
アンプ出力	16W+16W(実用最大出力 20W+20W)
スピーカー	12cm×2+3.5cm×2
電源	ACアダプター AD-E24250LW使用
オートパワーオフ機能	約4時間、キャンセル可能
消費電力	24V --- 20W
サイズ	本体+スタンド: 幅139.3×奥行29.9×高さ86.6cm
質量	本体+スタンド+譜面立て: 約37.6kg
付属品	ACアダプター(AD-E24250LW)、電源コード、3本ペダル付きピアノスタンド、譜面立て、ワイヤレスMIDI & AUDIOアダプター、楽譜集、クイックスタートガイド、3本ペダル付きピアノスタンドの組み立て方、保証書、お客様へ

・改良のため、仕様およびデザインの一部を、予告なく変更することがあります。

■別売品のご案内

別売品の詳しい情報は、「[最新のサポート情報](#)」をご参照ください。

■楽譜集について

付属している楽譜集のPDFデータをお手持ちのスマートデバイスにダウンロードして楽譜を閲覧できます。PDFデータは、目次から楽譜ページに直接アクセスできる機能がついていたり、弾きたい曲だけをプリントアウトできて便利です。

楽譜集のPDFデータは、「[最新のサポート情報](#)」をご参照ください。

最新のサポート情報

<https://support.casio.jp/emi/manual/AP-S5000GP/>



本書の内容について

- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また個人としてご利用になる場合は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- 本書のイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。

商標、登録商標について

- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、カシオ計算機(株)はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- 本書に記載されている社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標および商標です。

ご使用上の注意

■設置環境について

- ・安定した水平な場所に設置してください。
- ・カビを予防するために、風通しに配慮して設置場所の温度・湿度を保ってください。
 - 推奨温度範囲: 15～25℃
 - 推奨湿度範囲: 40～60%RH
- ・極端な温・湿度変化の起きる場所には設置しないでください。
金属部分の錆び、塗装面の劣化、部品の反りや割れの原因になります。

■本機のお手入れについて

- ・乾いた柔らかい布で拭いてください。ティッシュは傷がつきやすいのでご使用にならないでください。
- ・汚れが気になるときは、薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し固く絞ってから軽く拭き取り、乾いた柔らかい布で軽く製品表面を拭いてください。
- ・変色、変質、塗装はがれ、ひび割れ等の恐れがありますので、ベンジン、有機溶剤、アルコール等が含まれるクリーナー剤、塩素系消毒液、アルコールタイプの除菌シート等はご使用にならないでください。

■除菌・消毒方法について

- ・ノンアルコールの除菌シートで2～3回拭き取りをした後、乾いた柔らかい布で軽く拭いて仕上げてください。
- ・乾拭きをしないで放置すると痕が残りますので、ご注意ください。
- ・複数の方が製品をご利用する場合は、ご利用前後に手を消毒していただくことをおすすめします。

■付属品・別売品

付属品や別売品は、本機指定のものをご使用ください。
指定以外のものを使用すると、火災・感電・けがの原因となることがあります。

■ウエルドライン

外観にスジのように見える箇所がありますが、これは、樹脂成形上の“ウエルドライン”と呼ばれるものであり、ヒビやキズではありません。ご使用にはまったく支障ありません。

■ACアダプターについて

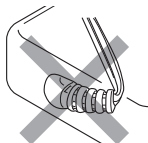
- ・本機指定のACアダプター (JEITA規格・極性統一形プラグ付き) は、本機にのみご使用ください。他の機器への接続は絶対に行わないでください。故障の原因となります。
- ・ACアダプターは、修理することができません。
破損・故障時は、修理に関するお問い合わせ先に連絡してください。
- ・ACアダプターの使用環境: 温度0～40℃
湿度10%～90%RH
- ・出力形式: 
- ・他のACアダプターを使用すると発煙や故障の原因になることがあります。

■パネルについて

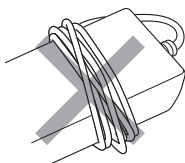
パネルにゴミやホコリが付着したまま操作すると、傷をつけることがあります。
きれいな柔らかい布で力を入れずに拭いて、ゴミやホコリを取り去ってから操作してください。
また、操作は指で行ってください。先の尖ったものや爪での操作は傷の原因になります。

■断線防止のための注意点

- (1) コードを強く引っ張らない
- (2) コードを繰り返して引っ張らない
- (3) コードの根元部分を折り曲げない



- (4) コードをACアダプター本体に巻き付けない



- (5) 楽器本体を移動させるときは、必ずACアダプターを家庭用コンセントから外す

■使用する場所について

- ACアダプターは、下記の場所でご使用ください。
 - 水滴のかからない場所
屋内専用なので、水滴のかかる場所に置いたり、水の入った花瓶などをACアダプターの上に乗せたりしないでください。
 - 湿気のない場所
 - 広々とした換気のよい場所
新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどで覆わないでください。
 - コンセントが本機の近くにある場所
不具合が生じたとき、コンセントから直に取り外せるようにしてください。
- ACアダプターは、ラベル貼り付け面が下向きになるように床に置いてご使用ください。逆向きに置くと電磁波が発生しやすくなる場合があります。

各種リスト

音色リスト

音色グループ	音色名	選択鍵盤 音名	入出力		入力専用	
			プログラム チェンジ	バンクセ レクトMSB	プログラム チェンジ	バンクセ レクトMSB
グランドピアノ	グランドピアノ1 コンサート	E3	0	16	0	0
	グランドピアノ1 ブライト	F3	1	16	1	0
	グランドピアノ1 メロウ	F#3	2	16	0	1
	グランドピアノ2 コンサート	G3	3	16	0	8
	グランドピアノ2 ブライト	A♭3	4	16	1	8
	グランドピアノ2 メロウ	A3	5	16	0	9
ピアノコレクション	コンサートエチュードグラ ランド	B♭3	6	16	0	20
	エチュードグラランド	B3	7	16	0	21
	ソナタグラランド	C4	8	16	0	22
	パルティータグラランド	C#4	9	16	0	23
	リトルピースアップライト	D4	10	16	0	24
	ロックピアノ	E♭4	11	16	1	1
	ジャズピアノ	E4	12	16	0	2
	バラードピアノ	F4	13	16	0	4
	ポップピアノ	F#4	14	16	1	2
	ダンスピアノ	G4	15	16	1	4
	ホンキートンクピアノ	A♭4	16	16	3	0
	ピアノパッド	A4	17	16	0	5
ライブラリー	エレクトリックピアノ	B♭4	18	16	4	0
	60'S エレクトリックピアノ	B4	19	16	4	1
	デジタルエレクトリックピ アノ	C5	20	16	5	0
	ハーブシコード	C#5	21	16	6	0
	ストリングス	D5	22	16	49	0
	パイプオルガン	E♭5	23	16	19	0
	ジャズオルガン	E5	24	16	17	0
	ベース(低音部)	F5	25	16	32	0

ベース(低音部) キーマップ	
キー	サウンド
C-1 - G#0	ゴーストノート
A0 - C5	ノーマルフィンガー オフノイズ付き
C#5 - G9	ハーモニクス

参考

- ・ベース(低音部)は低音部専用の音色で、単独で鳴らすことはできません。
- ・ベース(低音部)は、本機鍵盤で演奏できる範囲外のキー範囲を含んでいます。範囲外のキーは外部からのMIDI入力で鳴らすことができます。

デモ曲リスト

原曲(オリジナル)と曲の長さが異なる場合があります。

音色	曲名
グランドピアノ1 コンサート	軍隊ポロネーズ / ショパン
グランドピアノ2 コンサート	アヴェ・マリア / シューベルト=リスト
コンサートエチュードグランド	エチュード 作品10の1 / ショパン
ソナタグランド	ソナタ 作品53 <ワルトシュタイン> 第1楽章 / ベートーヴェン

ミュージックライブラリーリスト

番号	選択鍵盤 音名	曲名
1	C#3	ノクターン 作品9の2
2	D3	幻想即興曲 作品66
3	Eb3	エチュード 作品10の3 <別れの曲>
4	E3	エチュード 作品10の5 <黒鍵>
5	F3	エチュード 作品10の12 <革命>
6	F#3	エチュード 作品25の9 <蝶々>
7	G3	プレリュード 作品28の7
8	Ab3	ワルツ 作品64の1 <小犬のワルツ>
9	A3	ワルツ 作品64の2
10	Bb3	楽興の時 第3番
11	B3	即興曲 作品90の2
12	C4	軍隊行進曲 第1番(連弾)
13	C#4	春の歌「無言歌 第5集」より
14	D4	楽しき農夫「ユーゲント・アルバム」より
15	Eb4	見知らぬ国と人々について「子供の情景」より
16	E4	トロイメライ「子供の情景」より
17	F4	タンブラン
18	F#4	メヌエット BWV Anh.114 「アンナ・マグダレーナ・バッハのクラヴィーア小曲集」より
19	G4	インヴェンション 第1番 BWV 772

番号	選択鍵盤 音名	曲名
20	A♭4	インヴェンション 第8番 BWV 779
21	A4	インヴェンション 第13番 BWV 784
22	B♭4	プレリュード 第1番 BWV 846「平均律クラヴィーア曲集 第1巻」より
23	B4	かっこう
24	C5	ガボット
25	C♯5	ソナチネ 作品36の1 第1楽章
26	D5	ソナチネ 作品20の1 第1楽章
27	E♭5	ソナタ K.545 第1楽章
28	E5	ソナタ K.331 第3楽章 <トルコ行進曲>
29	F5	ロンド K.485
30	F♯5	エリーゼのために
31	G5	トルコ行進曲
32	A♭5	ソナタ 作品13 <悲愴> 第1楽章
33	A5	ソナタ 作品13 <悲愴> 第2楽章
34	B♭5	ソナタ 作品13 <悲愴> 第3楽章
35	B5	ソナタ 作品27の2 <月光> 第1楽章
36	C6	ラプソディ 第2番
37	C♯6	ワルツ 作品39の15 (連弾)
38	D6	愛の夢 第3番
39	E♭6	花の歌
40	E6	乙女の祈り
41	F6	クシコス・ポスト
42	F♯6	ユーモレスク 作品101の7
43	G6	メロディー「叙情小曲集 第2集」より
44	A♭6	シシリエンヌ 作品78
45	A6	子守唄「ドリー組曲」より (連弾)
46	B♭6	アラベスク 第1番
47	B6	亜麻色の髪の乙女「前奏曲集」より
48	C7	パスピエ「ベルガマスク組曲」より
49	C♯7	ジムノペディ 第1番
50	D7	ジュ・トゥ・ヴ
51	E♭7	愛の挨拶
52	E7	エンターテイナー
53	F7	メープル・リーフ・ラグ
54	F♯7	アラベスク「25の練習曲 作品100」より
55	G7	スティリアンヌ「25の練習曲 作品100」より
56	A♭7	アヴェ・マリア「25の練習曲 作品100」より
57	A7	帰途「25の練習曲 作品100」より
58	B♭7	貴婦人の乗馬「25の練習曲 作品100」より
59	B7	第13番「30番練習曲 作品849」より
60	C8	第26番「30番練習曲 作品849」より

鍵盤機能一覧

■チューニングなどの基本設定をする

「設定」ボタンを押しながら鍵盤を選びます。

	音名		割り当てられている機能	
A0	A0	ファクトリーリセット		
	Bb0	オートパワーオフ機能	オフ/オン	
	B0			
C1	C1	実行		
	C#1	ワイヤレスMIDI & AUDIOアダプター	ワイヤレスオーディオペアリング	
	D1		ワイヤレス機能	オフ/オン
	E1		接続通知音の音量	—
	F1		接続履歴削除	+
	F#1			
	G1			
	Ab1	USBメモリー	ロード SMF/MRF	
	A1		セーブ SMF	
	Bb1		セーブ MRF	
	B1		デリート SMF/MRF/Audio	
C2	フォーマット			
C2	C#2			
	D2			
	Eb2			
	E2			
	F2			
	F#2	モード切替	オフ/オン/パン	
	G2	左側鍵盤オクターブシフト	—	
	Ab2		+	
	A2	右側鍵盤オクターブシフト	+	
	Bb2		+	
C3	B2			
	C3			
	C#3	ワイヤレスオーディオの音量	—	
	D3	ワイヤレスオーディオセンターキャンセル	オフ/オン	
	Eb3	オーディオ曲の音量	—	
	E3	オーディオ曲センターキャンセル	オフ/オン	
	F3	MIDI曲の音量	—	
	F#3		+	
	G3		—	
	Ab3		+	
	A3			
	Bb3	リプレイヤー/レコーダー	インスタントリプレイヤー	
	B3		MIDIレコーダー	
C4	オーディオレコーダー			
C#4	MIDI再生しながらオーディオ録音			
C4	D4			
	Eb4			
	E4			
	F4			
	F#4			
	G4			
	Ab4	チューニング	音律(スケールチューニング)の選択	
	A4		音律(スケールチューニング)の幅	
	Bb4		ストレッチチューニング	オフ/オン
	A4音のチューニング		440.0Hz 442.0Hz -0.1Hz +0.1Hz	
C5	B4			
	C5			
	C#5			
	D5			
	Eb5			
	E5			
	F5			
	F#5	ビジュアルインフォメーションバー	表示	オート メトロノーム キーボード パダル オーディオ
	G5		メトロノームタイプ	1/2/3/4/5
	Ab5		オーディオイルミネーションタイプ	1/2/3/4
B5	明るさ/オフ		オフ/1/2	
C6				
C6	C#6			
	D6			
	Eb6			
	E6			
	F6			
	F#6	MIDI設定	ローカルコントロール	オフ/オン
	G6		送信チャンネル	+
	Ab6		ハイレゾベロシティのMIDI出力	オフ/オン
	A6			
	Bb6	タッチボタンの明るさ	1/2	
C7	B6		—	
	C7	左パネルタッチボタンの感度	+	
	C#7			
	D7			
	Eb7	スピーカーアウト	オフ/オン/オート	
	E7	ヘッドホンモード	オフ/オン	
	F7	ボリュームシンクイコライザー	オフ/弱/中/強	
	F#7	電源切り忘れお知らせ機能	オフ/オン	
	G7	パネル消灯設定	オフ/5秒/15秒/30秒/60秒/120秒	
	Ab7	オートレジューム	オフ/オン	
C8	A7		—	
	Bb7	通知音の音量	+	
	B7	通知音セットの切り替え	1/2/3	
	C8	操作のロック	オフ/オン/オート	

■サウンドモードなどの設定を変更する

「サウンドモード」ボタンを押しながら鍵盤を選びます。

	音名	割り当てられている機能	
A0	A0	サウンドモード	トーン
	B♭0		ニューヨーククラブ
	B0		オペラホール
C1	C1		ベルリンホール
	C#1		ブリティッシュスタジアム
	D1		サロシ
	E♭1		スコアリングステージ
	E1		ロイヤルホール
	F1		L.A. ホール
	F#1		ルーム 1
	G1		ルーム 2
	A♭1		ルーム 3
	A1		ラージルーム
	B♭1	ホールシミュレーター/リバーブタイプ	ホール 1
	B1		ホール 2
C2	C2		ホール 3
	C#2		スタジアム
	D2		—
	E♭2		ホールシミュレーター/リバーブデプス
	E2		+
	F2		ワイヤレス・オーディオホールシミュレーター/ リバーブデプス
	F#2		+
	G2		1
	A♭2		2
	A2		—
	B♭2		—
	B2	プリリアンス	—
C3	C3		+
	C#3		—
	D3	ストリングレゾナンス	トーン
	E♭3		オフ
	E3		1
	F3		2
	F#3	ダンパーレゾナンス	3
	G3		4
	A♭3		トーン
	A3		オフ
	B♭3	ダンパーノイズ	1
	B3		2
C4	C4		3
	C#4		4
	D4	アコースティックシミュレーター	トーン
	E♭4		オフ
	E4		1
	F4		2
	F#4		3
	G4		4
	A♭4		トーン
	A4		オフ
	B♭4		1
	B4		2
C5	C5		3
	C#5		4
	D5	キーオンアクションノイズ	トーン
	E♭5		オフ
	E5		1
	F5		2
	F#5		3
	G5		4
	A♭5	キーオフアクションノイズ	トーン
	A5		オフ
	B♭5		1
	B5		2
C6	C6		3
	C#6		4
	D6	コーラス	トーン
	E♭6		ライトコーラス
	E6		コーラス
	F6		ディープコーラス
	F#6		フランジャー
	G6		—
	A♭6		—
	A6		—
	B♭6		—
	B6		—
C7	C7		—
	C#7		—
	D7		—
	E♭7	コーラス	—
	E7		—
	F7		—
	F#7		—
	G7		—
	A♭7		—
	A7		—
	B♭7		—
	B7		—
C8	C8		—
	—		—

■メトロノームやテンポの設定を変更する

「メトロノーム」ボタンを押しながら鍵盤を選びます。

音名		割り当てられている機能	
A0	A0	テンポ設定 (数値指定)	0
	B♭0		1
	B0		2
C1	C1		3
	C♯1		4
	D1		5
	E♭1		6
	E1		7
	F1		8
	F♯1		9
	G1	メトロノームの音量	
	A♭1		
	A1		－
	B♭1		＋
	B1		
C2	C2	テンポ設定 (速度標語指定)	ラルゴ
	C♯2		レント
	D2		アダージョ
	E♭2		アンダンテ
	E2		モデラート
	F2		アレグレット
	F♯2		アレグロ
	G2		ビバーチェ
	A♭2		プレスト
	A2		
	B♭2	タップテンポ	
	B2	テンポ変更	－
C3	C3		＋
	C♯3		オフ
	D3		1拍子
	E♭3		2拍子
	E3		3拍子
	F3		4拍子
	F♯3		5拍子
	G3		6拍子
	A♭3		7拍子
	A3		8拍子
	B♭3		9拍子
	B3		
	C4		
C4	C♯4		
	D4		
	E♭4		
	E4		
	F4		
	F♯4		
	G4		
	A♭4		
	A4		
	B♭4		
	B4		
C5	C5		
	C♯5		
	D5		
	E♭5		
	E5		
	F5		
	F♯5		
	G5		
	A♭5		
	A5		
	B♭5		
	B5		
C6	C6		
	C♯6		
	D6		
	E♭6		
	E6		
	F6		
	F♯6		
	G6		
	A♭6		
	A6		
	B♭6		
	B6		
C7	C7		
	C♯7		
	D7		
	E♭7		
	E7		
	F7		
	F♯7		
	G7		
	A♭7		
	A7		
	B♭7		
	B7		
C8	C8		

■曲を選択する

「▶/■」ボタンを押しながら鍵盤を選びます。

	音名	割り当てられている機能
A0	A0	曲番号で曲選択
	B♭0	
	B0	
C1	C1	
	C#1	
	D1	
	E1	
	F1	
	F#1	
	G1	再生パート選択
	A♭1	
	A1	
	B♭1	
	B1	
C2	C2	
	C#2	
	D2	
	E♭2	ミュージックライブラリー(ユーザー曲)
	E2	
	F2	
	F#2	
	G2	
	A♭2	
	A2	
	B♭2	
	B2	
	C3	曲選択
C3	C#3	
	D3	
	E♭3	
	E3	
	F3	
	F#3	
	G3	
	A♭3	
	A3	
	B♭3	ミュージックライブラリー(内蔵曲)
	B3	
C4	C4	
	C#4	
	D4	
	E♭4	
	E4	
	F4	
	F#4	
	G4	
	A♭4	
	A4	
	B♭4	
	B4	
C5	C5	
	C#5	
	D5	
	E♭5	
	E5	
	F5	
	F#5	
	G5	
	A♭5	
	A5	
	B♭5	
	B5	
C6	C6	
	C#6	
	D6	
	E♭6	
	E6	
	F6	
	F#6	
	G6	
	A♭6	
	A6	
	B♭6	
	B6	
C7	C7	
	C#7	
	D7	
	E♭7	
	E7	
	F7	
	F#7	
	G7	
	A♭7	
	A7	
	B♭7	
	B7	
C8	C8	

■デモ再生時に曲を選択する

「▶/■」ボタンを押しながら鍵盤を選びます。

音名		割り当てられている機能
A0	A0	1
	B♭0	2
	B0	3
	C1	4
C1	C#1	
	D1	
	E♭1	
	E1	
	F1	
	F#1	
	G1	
	A♭1	
	A1	
	B♭1	
	B1	
	C2	
C2	C#2	
	D2	
	E♭2	
	E2	
	F2	
	F#2	
	G2	
	A♭2	
	A2	
	B♭2	
	B2	
C3	C3	曲選択
	C#3	—
	D3	+
	E♭3	1 フグターン 作品9の2
	E3	2 名器即興曲 作品6 6
	F3	3 エチュード 作品1 0の3 <別れの曲>
	F#3	4 エチュード 作品1 0の5 <哀曲>
	G3	5 エチュード 作品1 0の1 2 <革命>
	A♭3	6 エチュード 作品2 5の9 <寝ぐ>
	A3	7 プレリユード 作品2 8の7
	B♭3	8 ワルツ 作品6 4の1 <小犬のワルツ>
	B3	9 ワルツ 作品6 4の2
C4	C4	10 楽興の時 第3番
	C#4	11 即興曲 作品9 0の2
	D4	12 軍隊行進曲 第1番(連弾)
	E♭4	13 春の歌(無伴奏 第5集)より
	E4	14 楽しい農夫(「ユークラント・アルバム」より)
	F4	15 哀知らぬ国と人々について(「子供の情景」より)
	F#4	16 トロイメライ(「子供の情景」より)
	G4	17 タンブラン
	A♭4	18 メヌエット BWV Anh. 1 1 4(「アンナ・マグダレーナ・バッハのクラヴィエア小曲集」より)
	A4	19 インヴェンション 第1番 BWV 772
	B♭4	20 インヴェンション 第8番 BWV 779
	B4	21 インヴェンション 第13番 BWV 784
C5	C5	22 プレリユード 第1番 BWV 8 4 6(「平均律クラヴィエア曲集 第1巻」より)
	C#5	23 かっこう
	D5	24 ガボット
	E♭5	25 ソナチネ 作品3 6の1 第1楽章
	E5	26 ソナチネ 作品2 0の1 第1楽章
	F5	27 ソナタ K. 5 4 5 第1楽章
	F#5	28 ソナタ K. 3 3 1 第3楽章 <トルコ行進曲>
	G5	29 ロンド K. 4 8 5
	A♭5	30 エリーゼのために
	A5	31 トルコ行進曲
	B♭5	32 ソナタ 作品1 3 <熱情> 第1楽章
	B5	33 ソナタ 作品1 3 <熱情> 第2楽章
C6	C6	34 ソナタ 作品1 3 <熱情> 第3楽章
	C#6	35 ソナタ 作品2 7の2 <月光> 第1楽章
	D6	36 ラプソディ 第2番
	E♭6	37 ワルツ 作品3 9の1 5(連弾)
	E6	38 家の事 第3番
	F6	39 花の歌
	F#6	40 乙女の祈り
	G6	41 グシコス・ポスト
	A♭6	42 ユーモレスク 作品1 0 1の7
	A6	43 メロディエ「敬儀小曲集 第2集」より
	B♭6	44 シシリエンヌ 作品7 8
	B6	45 子守唄(「ドレー・組曲」より(連弾))
C7	C7	46 アラベスク 第1番
	C#7	47 鹿角色の髪(乙女「前奏曲集」より)
	D7	48 バスビエ(ベルガマスケ組曲)より
	E♭7	49 ジム・ノベディ 第1番
	E7	50 ジュ・トゥ・ヴ
	F7	51 愛の挨拶
	F#7	52 エンターティナー
	G7	53 メーブル・リーフ・ラヴ
	A♭7	54 アラベスク(2 5の練習曲 作品1 0 0)より
	A7	55 スティリアン(2 5の練習曲 作品1 0 0)より
	B♭7	56 アヴェ・マリア(2 5の練習曲 作品1 0 0)より
	B7	57 舞臺(2 5の練習曲 作品1 0 0)より
C8	C8	58 貴婦人の東馬(2 5の練習曲 作品1 0 0)より
		59 第13番(3 0番練習曲 作品8 4 9)より
		60 第26番(3 0番練習曲 作品8 4 9)より

■インスタントリプレイヤー時の開始マークと開始秒数

「▶/■」ボタンを押しながら鍵盤を選びます。

	音名	割り当てられている機能	
		リプレイ開始秒数	リプレイ開始マーク
A0	A0	15秒前	
	B♭0		最初
	B0	20秒前	
	C1	25秒前	
C1	C#1		1回前
	D1	30秒前	
	E♭1		2回前
	E1	35秒前	
	F1	40秒前	
	F#1		3回前
	G1	45秒前	
	A♭1		4回前
C2	A1	50秒前	
	B♭1		5回前
	B1	55秒前	
	C2	60秒前	
	C#2		6回前
	D2	65秒前	
	E♭2		7回前
	E2	70秒前	
	F2	75秒前	
	F#2		8回前
	G2	80秒前	
	A♭2		9回前
C3	A2	85秒前	
	B♭2		10回前
	B2	90秒前	
	C3	95秒前	
	C#3		11回前
	D3	100秒前	
	E♭3		12回前
	E3	105秒前	
	F3	110秒前	
	F#3		13回前
	G3	115秒前	
	A♭3		14回前
	A3	120秒前	
	B♭3		15回前
	B3	125秒前	
	C4	130秒前	
C4	C#4		16回前
	D4	135秒前	
	E♭4		17回前
	E4	140秒前	
	F4	145秒前	
	F#4		18回前
	G4	150秒前	
	A♭4		19回前
	A4	155秒前	
	B♭4		20回前
	B4	160秒前	
	C5	165秒前	
	C#5		21回前
	D5	170秒前	
	E♭5		22回前
	E5	175秒前	
C5	F5	180秒前	
	F#5		23回前
	G5	185秒前	
	A♭5		24回前
	A5	190秒前	
	B♭5		25回前
	B5	195秒前	
	C6	200秒前	
	C#6		26回前
	D6	205秒前	
	E♭6		27回前
	E6	210秒前	
	F6	215秒前	
	F#6		28回前
	G6	220秒前	
	A♭6		29回前
C6	A6	225秒前	
	B♭6		30回前
	B6	230秒前	
	C7	235秒前	
	C#7		31回前
	D7	240秒前	
	E♭7		32回前
	E7	245秒前	
	F7	250秒前	
	F#7		33回前
	G7	255秒前	
	A♭7		34回前
	A7	260秒前	
	B♭7		35回前
	B7	265秒前	
	C8	270秒前	

■音色などの設定を変更する

「グランドピアノ」ボタンを押しながら鍵盤を選びます。

音名		割り当てられている機能	
A0	A0	アッパー1設定	アッパー1 音量
	Bb0		—
	B0		—
C1	C1	アッパー1 オクターブシフト	+
	C#1		—
	D1		+
	Eb1	トランスポーズ	—
	E1		オフ
	F1		軽い
	F#1		やや軽い
	G1		普通
	Ab1		やや重い
	A1		重い
	Bb1		トーン
	B1		オフ
	C2		早い
C2	C#2	ハンマーレスポンス	やや早い
	D2		やや遅い
	Eb2		遅い
	E2	キーオフレスポンス	トーン
	F2		早い
	F#2		普通
	G2		遅い
	Ab2		—
	A2		—
	Bb2		—
	B2		—
	C3		+
	C#3		—
C3	D3	音色選択	—
	Eb3		+
	E3		—
	F3	音色選択	グランドピアノ1 コンサート
	F#3		グランドピアノ1 ブライト
	G3		グランドピアノ1 メロウ
	Ab3		グランドピアノ2 コンサート
	A3		グランドピアノ2 ブライト
	Bb3		グランドピアノ2 メロウ
	B3		コンサートエチュードグランド
	C4		エチュードグランド
	C#4		ソナタブライト
	D4		バルトークタグランド
	Eb4	音色選択	リトルピースアップライト
	E4		ロックピアノ
	F4		ジャズピアノ
	F#4		バラードピアノ
	G4		ポップピアノ
	Ab4		ダンスピアノ
	A4		ホンキートンクピアノ
	Bb4		ピアノパッド
	B4		エレクトリックピアノ
	C5		60% エレクトリックピアノ
	C#5	音色選択	デジタルエレクトリックピアノ
	D5		ハープシコード
	Eb5		ストリングス
	E5		パイプオルガン
	F5		ジャズオルガン
	F#5		ベース (低音部)
	G5		—
	Ab5		—
	A5		—
	Bb5		—
	B5	音色選択	—
	C6		—
	C#6		—
	D6		—
	Eb6		—
	E6		—
	F6		—
	F#6		—
	G6		—
	Ab6		—
	A6	音色選択	—
	Bb6		—
	B6		—
	C7		—
	C#7	レイヤー設定	レイヤー
	D7		アッパー2 音量
	Eb7		—
	E7		+
	F7		アッパー2 オクターブシフト
	F#7		—
	G7		+
	Ab7		アッパー2 デチューン
	A7		—
	Bb7		アッパー2 ダンパー
C7	B7	スプリット設定	オフ/オン
	C8		ロー 音量
			+
C8		スプリット設定	ロー デチューン
			—
			+
		スプリット設定	ロー ダンパー
			—
			オフ/オン

MIDIインプリメンテーション・チャート

Model: AP-S5000GP

Version : 1.0

ファンクション		送 信	受 信	備 考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1 1 ~ 16	1 ~ 16 1 ~ 16	
モード	電源ON時 メッセージ 代 用	モード3 × *****	モード3 × *****	
ノート ナンバー	音 域	0 ~ 127 *****	0 ~ 127 0 ~ 127 *1	
ベロシティ	ノート・オン ノート・オフ	○ 9nH v = 1 ~ 127 ○ 8nH v = 0 ~ 127	○ 9nH v = 1 ~ 127 ○ 9nH v = 0, 8nH v = 0 ~ 127	
アフター・ タッチ	キー別 チャンネル別	× ×	× ○	
ピッチ・ベンド		×	○	
コントロール・ チェンジ	0, 32 1 5 6, 38 7 10 11 64 65 66 67 71 72 73 74 76 77 78 84 88 91 93 94 100, 101	○ × × ○ *2 ○ × ○ × ○ × ○ × × × × × × × × × × × × ○ × × × ○ *2	○ ○ ○ *2 ○ *2	バンク・セレクトLSB/MSB モジュレーション ポルタメント・タイム データ・エントリLSB/MSB チャンネル・ポリューム パン エクスプレッション ダンパーペダル(サステイン) ポルタメント・オン/オフ ソステヌート ソフトペダル フィルタ・レジナンス リリース・タイム アタック・タイム フィルタ・カットオフ・フリークエンシー ビブラート・レート ビブラート・デプス ビブラート・ディレイ ポルタメント・コントロール ハイ・レゾリューション・ベロシティ・プリフィクス リバーブ・センド・レベル コーラス・センド・レベル ディレイ・センド・レベル RPN LSB/MSB
プログラム・チェンジ	設定可能範囲	○ *****	○ 0 ~ 127	
エクスクルーシブ		○ *2	○ *2	
コモン	ソング・ポジション ソング・セレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアル タイム	クロック コマンド	× ×	× ×	
その他	オール・サウンド・オフ リセットオール・コントローラー ローカルON/OFF オール・ノート・オフ アクティブ・センシング システム・リセット	× × × × × ×	○ ○ × ○ ○ ×	
備 考	*1: 音色による *2: 送受信対応RPN、システム・エクスクルーシブ・メッセージの詳細はMIDIインプリメンテーション参照 https://support.casio.jp/emi/manual/AP-S5000GP/ ・一部の操作に付随して「送信:×」のメッセージが出力されることがあります			

 モード1 : オムニ・オン、ポリ
 モード3 : オムニ・オフ、ポリ

 モード2 : オムニ・オン、モノ
 モード4 : オムニ・オフ、モノ

 ○ : あり
 × : なし

CASIO®

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

2024年11月作成

MA2411-C

© 2024 CASIO COMPUTER CO., LTD.